

注3

**大学番号：私073**

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

**認可**

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人跡見学園  
平成27年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局 庶務課

職名・氏名 カチヨフ 課長 ミヤタ 宮田 シンイチ 伸一

電話番号 048-478-3333

（夜間） 048-478-3333

F A X 048-478-3111

e-mail d-shomu@atomi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 目次

## 観光コミュニティ学部

<観光デザイン学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	5
2. 授業科目の概要	9
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. 既設大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	25
6. 留意事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

<コミュニティデザイン学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	55
2. 授業科目の概要	59
3. 施設・設備の整備状況、経費	72
4. 既設大学等の状況	73
5. 教員組織の状況	75
6. 留意事項等に対する履行状況等	98
7. その他全般的事項	99

## 別紙資料

資料1. 跡見学園女子大学の位置及び校地、校舎の配置図の概要	105
資料2. 跡見学園女子大学校舎施設配置図（菊坂跡見塾）	107
資料3. 菊坂跡見塾1階平面図	109
資料4. 菊坂跡見塾2階平面図	111
資料5. 菊坂跡見塾面積表	113
資料6. 新座図書館1階平面図	115
資料7. 新座図書館面積表	117
資料8. 跡見学園女子大学学則	119
資料9. 跡見学園女子大学大学評議会規程	135
資料10. 跡見学園女子大学教授会規程	139
資料11. 跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程	143
資料12. 跡見学園女子大学教授会各種委員会規程	145
資料13. 跡見学園女子大学自己点検・評価委員会規程	147



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人跡見学園

## (2) 大学名

跡見学園女子大学

## (3) 大学の位置

文京キャンパス（本部） 3・4年次 〒112-8687 東京都文京区大塚一丁目5番2号  
新座キャンパス 1・2年次 〒352-8501 埼玉県新座市中野一丁目9番6号  
菊坂跡見塾 〒113-0033 東京都文京区本郷五丁目9番4号(27)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤマザキ カズヒデ) 山崎 一穎 (平成21年4月)		
学長	(ヤマダ テツオ) 山田 徹雄 (平成22年4月)		
学部長	(オガワ イサオ) 小川 功 (平成27年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
観光コミュニティ学部 観光デザイン学科  学士(観光学)	4年	120人	— 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	1.23倍	— 倍	
志願者数	323 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
受験者数	299 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
合格者数	260 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
B 入学者数	148 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.23										

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[148] (一)	[-] (一) -	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次					/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	148 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	148 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者数のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他



## 2 授業科目の概要

＜観光コミュニティ学部 観光デザイン学科＞

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 員	助 手			
外 国 語 科 目	英語 A I a	1前		2							兼 4	本人都合による就任辞退（帰国）により、担当教員を変更（27） ブシュナー（兼任）→トマクデル（兼任）	
	英語 A I b	1前		2							兼 2		
	英語 A II a	1後		2							兼 3		
	英語 A II b	1後		2							兼 2		
	英語 A III a	2前		2							兼 3		
	英語 A III b	2前		2							兼 2		
	英語 A IV a	2後		2							兼 2		
	英語 A IV b	2後		2							兼 2		
	英語 B I a	1前		2							兼 1		
	英語 B I b	1前		2							兼 1		
	英語 B II a	1後		2							兼 1		
	英語 B II b	1後		2							兼 1		
	英語 B III a	2前		2							兼 1		
	英語 B III b	2前		2							兼 1		
	英語 B IV a	2後		2							兼 1		
	英語 B IV b	2後		2							兼 1		
	英語 I	1前		2									兼 5
	英語 II	1後		2									兼 4
	英語 III	2前		2									兼 3
	英語 IV	2後		2									兼 5
	フランス語 I	1前		2									兼 2
	フランス語 II	1後		2									兼 2
	フランス語 III	2前		2									兼 3
	フランス語 IV	2後		2									兼 3
	ドイツ語 I	1前		2									兼 2
	ドイツ語 II	1後		2									兼 2
	ドイツ語 III	2前		2									兼 4
	ドイツ語 IV	2後		2									兼 4
	中国語 I	1前		2									兼 2
	中国語 II	1後		2									兼 2
	中国語 III	2前		2									兼 4
	中国語 IV	2後		2									兼 4
	朝鮮・韓国語 I	1前		2									兼 2
	朝鮮・韓国語 II	1後		2									兼 2
	朝鮮・韓国語 III	2前		2									兼 2
	朝鮮・韓国語 IV	2後		2									兼 1
英語マルチメディアレッスン	1・2前・後		1								兼 1		
英語再入門 A	1後・2前後		1								兼 2		
英語再入門 B	1後・2前後		1								兼 2		
英語リーディング	2前		1								兼 1		
英語ライティング	2後		1								兼 1		
フランス語リーディング・ライティング	2後		1								兼 1		
ドイツ語リーディング・ライティング	2後		1								兼 1		
中国語リーディング・ライティング	2後		1								兼 1		
朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後		1								兼 1		
テーマで学ぶ英語（文化） I	3・4前		1								兼 1		

	テーマで学ぶ英語 (文化) II	3・4後	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (ビジネス) I	3・4前	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (ビジネス) II	3・4後	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (観光) I	3・4前	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (観光) II	3・4後	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (社会問題) I	3・4前	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (社会問題) II	3・4後	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (メディア) I	3・4前	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (メディア) II	3・4後	1						兼1	
	フランス語上級 I	3・4前	1						兼1	
	フランス語上級 II	3・4後	1						兼1	
	ドイツ語上級 I	3・4前	1						兼1	
	ドイツ語上級 II	3・4後	1						兼1	
	中国語上級 I	3・4前	1						兼1	
	中国語上級 II	3・4後	1						兼1	
	朝鮮・韓国語上級 I	3・4前	1						兼1	本務校都合による就任辞退により、担当教員を変更 (27) 平成29年3月までに後任を決定予定。新井保裕 (兼任) →担当教員未定
	朝鮮・韓国語上級 II	3・4後	1						兼1	本務校都合による就任辞退により、担当教員を変更 (27) 平成29年3月までに後任を決定予定。新井保裕 (兼任) →担当教員未定
情報処理科目	情報リテラシー I	1前	1						兼4	
	情報リテラシー II	1後	1						兼4	
	画像処理基礎演習	1・2前	1						兼1	
	Web制作	1・2前・後	1						兼3	
	マルチメディア基礎演習 (映像制作)	1・2前	1						兼2	履修機会を増やすため、担当教員を追加 (27) 黒田涼 (兼任)
	マルチメディア基礎演習 (音楽制作)	1・2後	1						兼1	
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1・2前・後	1						兼3	
	コンピュータ・グラフィックス	3・4前	1						兼2	春学期分担当教員の留学のため、担当教員を2名から3名に変更 (27) 倉橋節也 (兼任)・黒田涼 (兼任) →伊藤稜 (兼任)・倉橋節也 (兼任)・黒田涼 (兼任)
	デジタル・アニメーション	3・4後	1						兼1	
	デジタル編集	3・4前	1						兼1	
アプリケーション・プログラミング	3・4後	1						兼1		
Microsoft Office Specialist 演習	3・4前・後	1						兼1		
導入科目	プロゼミ I	1前	1		5					
	プロゼミ II	1後	1		2	3				
全	文芸理論	1・2前・後	2						兼3	本人都合による就任辞退により、担当教員を変更 (27) 鈴木泰恵 (兼任) →稲垣智花 (兼任)
	歴史理論	1・2前・後	2						兼3	
	言語科学	1・2前・後	2						兼1	
	記号論	1・2後	2						兼1	
	日本現代史	1・2後	2						兼1	
	アジア現代史	1・2後 1・2前	2						兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更 (27)
	ヨーロッパ現代史	1・2前・後	2						兼1	
	日本文学	1・2前・後 1・2前・後	2						兼2	
	中国文学	1・2後	2						兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更 (27)
	英文学	1・2前	2						兼1	
	ドイツ文学	1・2前・後	2						兼1	
	フランス文学	1・2前・後	2						兼1	
	ロシア文学	1・2前・後	2						兼1	
	西洋古典文学	1・2前・後	2						兼1	
	百人一首	1・2前・後	2						兼2	
	異文化理解	1・2前・後 1・2前	2						兼2	履修機会を増やすため、担当教員を追加し、開講期を変更 (27) 小池知之 (兼任)

子 共 通 科 目 教 養 科 目	地理学	1・2前 1→2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更(27)
	社会学	1・2前・後	2					兼1	
	国際関係論	1・2前	2					兼1	
	ボランティア論	1・2前・後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講形態を集中講義に変更(27)
	法学	1・2後	2					兼1	
	日本国憲法	1・2前・後	2					兼1	
	政治学	1・2後	2					兼1	
	経済学	1・2前・後	2					兼1	
	家政学	1・2後	2					兼1	
	哲学	1・2前	2					兼1	
	倫理学	1・2後	2					兼1	
	論理学	1・2前・後 1→2前	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	認識論	1・2前・後	2					兼1	
	心理学	1・2前・後	2					兼2	
	教育学	1・2前・後	2					兼1	
	保育学	1・2前・後	2					兼1	
	統計学	1・2前・後 1→2後	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	科学史	1・2前・後 1→2後	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	情報科学	1・2前・後	2					兼1	
	数学	1・2前	2					兼1	
	物理学	1・2後	2					兼1	
	地球科学	1・2前 1→2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更(27)
	生物学	1・2前	2					兼1	
	化学	1・2後	2					兼1	
	自然保護論	1・2前	2					兼1	
	生理学	1・2後	2					兼1	
	健康科学	1・2後	2					兼1	
	日本宗教論	3・4前	2					兼1	
	聖書学	3・4前・後	2					兼1	
	ヨーロッパ中世文学	3・4前・後	2					兼1	
	ミステリー文学	3・4前・後	2					兼1	
	児童文学	3・4前・後	2					兼1	
	ギリシア語とギリシア文化	3・4前	2					兼1	
	ラテン語とローマ文化	3・4後	2					兼1	
	イタリア語とイタリア文化	3・4前	2					兼1	
	スペイン語とスペイン文化	3・4後	2					兼1	
	ロシア語とロシア文化	3・4前	2					兼1	
	ファッション論	3・4前・後	2					兼1	
	ジェンダー論	3・4前・後	2					兼1	
	刑事法	3・4前	2					兼1	
	民事法	3・4前	2					兼1	
労働法	3・4前	2					兼1		
国際法	3・4後	2					兼1		
国際社会論	3・4前	2					兼1		
国際経済	3・4前・後	2					兼1		
深層心理学	3・4前・後	2					兼1		
精神病理学	3・4前・後	2					兼1		
天文学	3・4前	2					兼1		
建築環境論	3・4前・後	2					兼1		
水産学	3・4前・後	2					兼1		
河川海洋学	3・4前	2					兼1		
農林科学	3・4後	2					兼1		
公衆衛生論	3・4後	2					兼1		
ネットワーク論	3・4前	2					兼1		
環境心理学	1・2後	2					兼1	本人都合による就任辞退により、担当教員を変更(27) 平成27年9月までに後任を決定予定。古賀誉章(兼任)→担当未定	
コミュニティ心理学	1・2前	2					兼1		
教育原理	1・2前・後	2					兼1		
生涯学習概論	1・2前・後	2					兼1		
教育社会学	1・2前	2					兼1		
人間関係論	1・2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講形態を集中講義に変更(27)	
社会調査法	1・2後	2					兼1		
フィールドワーク方法論	1・2前	2					兼1		
現代ジャーナリズム論	1・2前・後	2					兼1		
イベント論	1・2前	2					兼1		
家族心理学	3・4前	2					兼1		
マーケティング心理学	3・4前	2					兼1		
教育学概論	3・4前・後	2					兼1		

	近代家族論	3・4前・後		2					兼2	
	男性学	3・4後		2					兼1	
	マーケティングコミュニケーション	3・4後		2					兼1	
	メディア環境論	3・4後		2					兼1	
	プロダクトデザイン論	3・4後		2					兼1	
社会人形成科目	花嫁の教育とライフプラン・キャリアプラン	1前	2						兼2	オムニバス
	パーソナリティを考える	1・2前		2					兼1	
	「自分らしさ」を探る	1・2後		2					兼1	
	対人関係のスキル	1・2前		2					兼1	
	ストレス・マネジメント	1・2前		2					兼1	
	職業人のルールとモラル	1・2後		2					兼1	
	産業と職業	1・2前		2					兼1	
	マスコミとの付き合い方	1・2前		2					兼1	
	ソーシャルマナー	1後	1						兼8	
	ビジネス文章表現演習	1・2前・後		1					兼1	
	ディベート演習	1・2前		1					兼1	
	自己表現演習	1・2前・後		1					兼1	
	プレゼンテーション演習	1・2前・後		1					兼1	
	キャリア基礎演習（グループワーク）	2前・後		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・数的処理）Ⅰ	1・2前		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・数的処理）Ⅱ	1・2後		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・法律）Ⅰ	1・2前		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・法律）Ⅱ	1・2後		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・政治経済）Ⅰ	1・2前		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・政治経済）Ⅱ	1・2後		1					兼1	
	秘書技能演習	1・2前・後		1					兼1	
	簿記会計基礎演習Ⅰ	1・2前		2					兼1	
	簿記会計基礎演習Ⅱ	1・2後		2					兼1	
	TOEIC特別演習Ⅰ	1・2前・後		1					兼3	
	ボランティア実践A	1・2前・後		2					兼1	
	日本語演習	3前・後		1					兼4	
	キャリア演習（公務員・数的処理）Ⅰ	3・4前		1					兼1	
	キャリア演習（公務員・数的処理）Ⅱ	3・4後		1					兼1	
	キャリア演習（公務員・法律）Ⅰ	3・4前		1					兼1	
	キャリア演習（公務員・法律）Ⅱ	3・4後		1					兼1	
	キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅰ	3・4前		1					兼1	
	キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅱ	3・4後		1					兼1	
	簿記会計演習Ⅰ	3・4前		2					兼1	
簿記会計演習Ⅱ	3・4後		2					兼1		
ITパスポート演習Ⅰ	3・4前		1					兼1		
ITパスポート演習Ⅱ	3・4後		1					兼1		
TOEIC特別演習Ⅱ	3・4前・後		1					兼1		
イベント検定演習	3・4前・後		1					兼1		
ビジネス実務法務検定演習	3・4前・後		1					兼1		
色彩検定演習	3・4前・後		1					兼2		
ボランティア実践B	3・4前・後		2					兼1		
体育実技科目	体育実技A	1・2前・後 1→2前		1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技B	1・2前・後 1→2前		1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技C	1・2前・後 1→2前		1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技D	1・2前・後 1→2前		1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技E（水泳）	1・2前		1					兼1	集中
	体育実技F（水泳）	1・2前		1					兼1	集中
	体育実技G	1・2前		1					兼1	
	体育実技H	1・2後		1					兼1	
総合科目	総合科目（地域文化）	3・4後		2		1			兼1	
	総合科目（地域社会）	3・4後		2					兼2	
	総合科目（日本とアジア）	3・4前		2					兼2	
	総合科目（国際政治）	3・4前		2					兼2	
	総合科目（国際経済）	3・4前		2					兼2	
	総合科目（現代社会）	3・4前		2					兼2	
	総合科目（観光）	3・4後		2		1	1		兼2	
	総合科目（芸術と社会）	3・4後		2					兼2	
	総合科目（人間と自然）	3・4後		2					兼2	
観光科目	むさしの学	1・2後		2		1			兼1	履修者が0名のため、未開講(27)
	人口学	1・2前		2					兼1	
	社会調査入門	1・2前		2					兼1	



卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通年	2			6	3						

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 15	科目 273	科目 0	科目 288	科目 15	科目 273	科目 0	科目 288	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

## <観光コミュニティ学部 観光デザイン学科>

### (1) 授業科目表

新座キャンパス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教		助手	
外国語	英語A I a	1前		2							兼4		
	英語A I b	1前		2							兼2		
	英語A II a	1後		2							兼3		
	英語A II b	1後		2							兼2		
	英語A III a	2前		2							兼3		
	英語A III b	2前		2							兼2		
	英語A IV a	2後		2							兼2		
	英語A IV b	2後		2							兼2		
	英語B I a	1前		2							兼1		
	英語B I b	1前		2							兼1		
													本人都合による就任辞退(帰国)により、担当教員を変更(27)ブシュナー(兼任)→トマクデル(兼任)
	英語B II a	1後		2							兼1		
	英語B II b	1後		2							兼1		
													本人都合による就任辞退(帰国)により、担当教員を変更(27)ブシュナー(兼任)→トマクデル(兼任)
	英語B III a	2前		2							兼1		
	英語B III b	2前		2							兼1		
													本人都合による就任辞退(帰国)により、担当教員を変更(27)平成28年3月までに後任を決定予定。ブシュナー(兼任)→担当教員未定
	英語B IV a	2後		2							兼1		
	英語B IV b	2後		2							兼1		
													本人都合による就任辞退(帰国)により、担当教員を変更(27)平成28年3月までに後任を決定予定。ブシュナー(兼任)→担当教員未定
	英語 I	1前		2							兼5		
	英語 II	1後		2							兼4		
	英語 III	2前		2							兼3		
	英語 IV	2後		2							兼5		
	フランス語 I	1前		2							兼2		
	フランス語 II	1後		2							兼2		
	フランス語 III	2前		2							兼3		
	フランス語 IV	2後		2							兼3		

科 目	ドイツ語Ⅰ	1前	2						兼2	
	ドイツ語Ⅱ	1後	2						兼2	
	ドイツ語Ⅲ	2前	2						兼4	
	ドイツ語Ⅳ	2後	2						兼4	
	中国語Ⅰ	1前	2						兼2	
	中国語Ⅱ	1後	2						兼2	
	中国語Ⅲ	2前	2						兼4	
	中国語Ⅳ	2後	2						兼4	
	朝鮮・韓国語Ⅰ	1前	2						兼2	本務校都合による就任辞退により、 担当教員を変更(27) 新井保裕(兼任)→魏聖銓(兼任)
	朝鮮・韓国語Ⅱ	1後	2						兼2	本務校都合による就任辞退により、 担当教員を変更(27) 新井保裕(兼任)→魏聖銓(兼任)
	朝鮮・韓国語Ⅲ	2前	2						兼2	本務校都合による就任辞退により、 担当教員を変更(27) 平成28年3月までに後任を決定予 定。新井保裕(兼任)→担当教員未 定
	朝鮮・韓国語Ⅳ	2後	2						兼1	本務校都合による就任辞退により、 担当教員を変更(27) 平成28年3月までに後任を決定予 定。新井保裕(兼任)→担当教員未 定
	英語マルチメディアレッスン	1・2前・後	1						兼1	
	英語再入門A	1後・2前後	1						兼2	
	英語再入門B	1後・2前後	1						兼2	
	英語リーディング	2前	1						兼1	
	英語ライティング	2後	1						兼1	
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1						兼1	
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1						兼1	
	中国語リーディング・ライティング	2後	1						兼1	
朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1						兼1		
情報 処理 科目	情報リテラシーⅠ	1前	1						兼4	
	情報リテラシーⅡ	1後	1						兼4	
	画像処理基礎演習	1・2前	1						兼1	
	Web制作	1・2前・後	1						兼3	履修機会を増やすため、担当教員を 追加(27) 黒田涼(兼任)
	マルチメディア基礎演習(映像制作)	1・2前	1						兼1	
	マルチメディア基礎演習(音楽制作)	1・2後	1						兼1	
Microsoft Office Specialist 基礎演習	1・2前・後	1						兼3		
導 入 科 目	プロゼミⅠ	1前	1		5					
	プロゼミⅡ	1後	1		2	3				
全 学 共 通 科 目	文芸理論	1・2前・後	2						兼3	本人都合による就任辞退により、担 当教員を変更(27) 鈴木泰恵(兼任)→稲垣智花(兼 任)
	歴史理論	1・2前・後	2						兼3	
	言語科学	1・2前・後	2						兼1	
	記号論	1・2後	2						兼1	
	日本現代史	1・2後	2						兼1	
	アジア現代史	1・2後 <del>1→2前</del>	2						兼1	時間割編成の都合により、開講期を 変更(27)
	ヨーロッパ現代史	1・2前・後	2						兼1	石田信一兼任の役職就任に伴う減コ マにより、担当教員を2名から1名に 変更(27) 石田信一(兼任)・香坂直樹(兼 任)→香坂直樹(兼任)
	日本文学	1・2前・後	2						兼2	
	中国文学	1・2前・後 <del>1→2後</del>	2						兼1	履修機会を増やすため、開講期を変 更(27)
	英文学	1・2前	2						兼1	
	ドイツ文学	1・2前・後	2						兼1	
	フランス文学	1・2前・後	2						兼1	
	ロシア文学	1・2前・後	2						兼1	
西洋古典文学	1・2前・後	2						兼1		
百人一首	1・2前・後	2						兼2		

	異文化理解	1・2前・後 1→2前	2					2 兼+	履修機会を増やすため、担当教員を追加し、開講期を変更(27) 小池知之(兼任)
	地理学	1・2前 1→2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更(27)
	社会学	1・2前・後	2					兼1	
	国際関係論	1・2前	2					兼1	
	ボランティア論	1・2前・後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講形態を集中講義に変更(27)
	法学	1・2後	2					兼1	
	日本国憲法	1・2前・後	2					兼1	
	政治学	1・2後	2					兼1	
	経済学	1・2前・後	2					兼1	
	家政学	1・2後	2					兼1	
	哲学	1・2前	2					兼1	
	倫理学	1・2後	2					兼1	
	論理学	1・2前・後 1→2前	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	認識論	1・2前・後	2					兼1	
	心理学	1・2前・後	2					兼2	
	教育学	1・2前・後	2					兼1	
	保育学	1・2前・後	2					兼1	
	統計学	1・2前・後 1→2後	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	科学史	1・2前・後 1→2後	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	情報科学	1・2前・後	2					兼1	
	数学	1・2前	2					兼1	
	物理学	1・2後	2					兼1	
	地球科学	1・2前 1→2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更(27)
	生物学	1・2前	2					兼1	
	化学	1・2後	2					兼1	
	自然保護論	1・2前	2					兼1	
	生理学	1・2後	2					兼1	
	健康科学	1・2後	2					兼1	
共通	環境心理学	1・2後	2					兼1	本人都合による就任辞退により、担当教員を変更(27) 平成27年9月までに後任を決定予定。古賀啓章(兼任)→担当未定
専門	コミュニティ心理学	1・2前	2					兼1	
科目	教育原理	1・2前・後	2					兼1	
	生涯学習概論	1・2前・後	2					兼1	
	教育社会学	1・2前	2					兼1	
	人間関係論	1・2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講形態を集中講義に変更(27)
目	社会調査法	1・2後	2					兼1	
	フィールドワーク方法論	1・2前	2					兼1	
	現代ジャーナリズム論	1・2前・後	2					兼1	
	イベント論	1・2前	2					兼1	
社会	花嫁の教育とライフプラン・キャリアプラン	1前	2					兼2	ホムエース
人	パーソナリティを考える	1・2前	2					兼1	
形	「自分らしさ」を探る	1・2後	2					兼1	
成	対人関係のスキル	1・2前	2					兼1	
科	ストレス・マネジメント	1・2前	2					兼1	
	職業人のルールとモラル	1・2後	2					兼1	
	産業と職業	1・2前	2					兼1	
	マスコミとの付き合い方	1・2前	2					兼1	
	ソーシャルマナー	1後	1					兼8	
	ビジネス文章表現演習	1・2前・後	1					兼1	
	ディベート演習	1・2前	1					兼1	
	自己表現演習	1・2前・後	1					兼1	
	プレゼンテーション演習	1・2前・後	1					兼1	
	キャリア基礎演習(グループワーク)	2前・後	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・数的処理)Ⅰ	1・2前	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・数的処理)Ⅱ	1・2後	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅰ	1・2前	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅱ	1・2後	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅰ	1・2前	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅱ	1・2後	1					兼1	
	秘書技能演習	1・2前・後	1					兼1	
	簿記会計基礎演習Ⅰ	1・2前	2					兼1	
	簿記会計基礎演習Ⅱ	1・2後	2					兼1	



	TOEIC特別演習 I	1・2前・後		1						3 兼 4	履修機会を増やすため、担当教員を追加 (27) ワークマン (兼任)、スピバック (兼任)
	ボランティア実践A	1・2前・後		2						兼 1	
体育実技科目	体育実技A	1・2前・後 1・2前		1						兼 1	履修機会を増やすため、開講期を変更 (27)
	体育実技B	1・2前・後 1・2前		1						兼 1	履修機会を増やすため、開講期を変更 (27)
	体育実技C	1・2前・後 1・2前		1						兼 1	履修機会を増やすため、開講期を変更 (27)
	体育実技D	1・2前・後 1・2前		1						兼 1	履修機会を増やすため、開講期を変更 (27)
	体育実技E (水泳)	1・2前		1						兼 1	集中
	体育実技F (水泳)	1・2前		1						兼 1	集中
	体育実技G	1・2前		1						兼 1	
	体育実技H	1・2後		1						兼 1	
観光コミュニケーション学部共通専門科目	講義										
	むさしの学	1・2後		2		1					
	人口学	1・2前		2						兼 1	履修者が0名のため、未開講 (27)
	社会調査入門	1・2前		2						兼 1	
	社会をデザインする女性たち	1・2後		2						兼 1	
特殊演習	観光国家資格取得特殊演習 A	1・2前		1						兼 1	
観光デザイン学科専門科目	基幹科目										
	観光学入門	1前	2			1					
	観光デザイン入門	1前	2			1					
	経営学入門	1後	2								
	観光社会学	1・2前		2						兼 1	担当教員未定 (専任補充) であった「観光社会学」は、平成27年10月に「設置計画変更書」を提出予定。(27)
	観光人類学	1・2後	2		1						
	観光地理学	1・2後	2		1						
	観光経済学	1・2後	2								
	観光ランドデザイン	1・2前	2			1					
	観光経営論	1・2後	2		1						
	比較観光産業論	1・2後	2		1						
	観光交通論	1・2後	2		1						
	宿泊産業論	1・2前	2		1						
観光と情報社会	1・2前	2							兼 1	担当教員未定 (兼任可) であった「観光と情報社会」を兼任教員濱地徹氏が担当。(27)	
演習	基礎ゼミナール(観光)	2前	2		7	3					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

新座キャンパス

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	149	0	159	10	149	0	159	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)  
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

<観光コミュニティ学部 観光デザイン学科>

(1) 授業科目表

文京キャンパス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
外国語科目	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅰ	3・4前		1								兼1	本務校都合による就任辞退により、担当教員を変更(27) 平成29年3月までに後任を決定予定。新井保裕(兼任)→担当教員未定  本務校都合による就任辞退により、担当教員を変更(27) 平成29年3月までに後任を決定予定。新井保裕(兼任)→担当教員未定
	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ	3・4後		1								兼1	
	テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅰ	3・4前		1								兼1	
	テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅱ	3・4後		1								兼1	
	テーマで学ぶ英語(観光)Ⅰ	3・4前		1								兼1	
	テーマで学ぶ英語(観光)Ⅱ	3・4後		1								兼1	
	テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅰ	3・4前		1								兼1	
	テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅱ	3・4後		1								兼1	
	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅰ	3・4前		1								兼1	
	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ	3・4後		1								兼1	
	フランス語上級Ⅰ	3・4前		1								兼1	
	フランス語上級Ⅱ	3・4後		1								兼1	
	ドイツ語上級Ⅰ	3・4前		1								兼1	
	ドイツ語上級Ⅱ	3・4後		1								兼1	
	中国語上級Ⅰ	3・4前		1								兼1	
中国語上級Ⅱ	3・4後		1								兼1		
朝鮮・韓国語上級Ⅰ	3・4前		1								兼1		
朝鮮・韓国語上級Ⅱ	3・4後		1								兼1		
情報処理科目	コンピュータ・グラフィックス	3・4前		1								兼1	
	デジタル・アニメーション	3・4後		1								兼1	
	デジタル編集	3・4前		1								兼1	
	アプリケーション・プログラミング	3・4後		1								兼1	
	Microsoft Office Specialist 演習	3・4前・後		1								兼1	
全学共通科目	日本宗教論	3・4前		2								兼1	
	聖書学	3・4前・後		2								兼1	
	ヨーロッパ中世文学	3・4前・後		2								兼1	
	ミステリー文学	3・4前・後		2								兼1	
	児童文学	3・4前・後		2								兼1	
	ギリシア語とギリシア文化	3・4前		2								兼1	
	ラテン語とローマ文化	3・4後		2								兼1	
	イタリア語とイタリア文化	3・4前		2								兼1	
	スペイン語とスペイン文化	3・4後		2								兼1	
	ロシア語とロシア文化	3・4前		2								兼1	
	ファッション論	3・4前・後		2								兼1	
	ジェンダー論	3・4前・後		2								兼1	
	刑事法	3・4前		2								兼1	
	民事法	3・4前		2								兼1	
	労働法	3・4前		2								兼1	
	国際法	3・4後		2								兼1	
	国際社会論	3・4前		2								兼1	
	国際経済	3・4前・後		2								兼1	
	深層心理学	3・4前・後		2								兼1	
	精神病理学	3・4前・後		2								兼1	
	天文学	3・4前		2								兼1	
建築環境論	3・4前・後		2								兼1		
水産学	3・4前・後		2								兼1		
河川海洋学	3・4前		2								兼1		
農林科学	3・4後		2								兼1		
公衆衛生論	3・4後		2								兼1		
ネットワーク論	3・4前		2								兼1		
共通専門科目	家族心理学	3・4前		2								兼1	
	マーケティング心理学	3・4前		2								兼1	
	教育学概論	3・4前・後		2								兼1	
	近代家族論	3・4前・後		2								兼2	
	男性学	3・4後		2								兼1	
	マーケティングコミュニケーション	3・4後		2								兼1	
	メディア環境論	3・4後		2								兼1	
プロダクトデザイン論	3・4後		2								兼1		
共通専修科目	日本語演習	3前・後		1								兼4	
	キャリア演習(公務員・数的処理)Ⅰ	3・4前		1								兼1	
	キャリア演習(公務員・数的処理)Ⅱ	3・4後		1								兼1	

社会人形成科目	キャリア演習（公務員・法律）Ⅰ	3・4前	1							兼1	
	キャリア演習（公務員・法律）Ⅱ	3・4後	1							兼1	
	キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅰ	3・4前	1							兼1	
	キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅱ	3・4後	1							兼1	
	簿記会計演習Ⅰ	3・4前	2							兼1	
	簿記会計演習Ⅱ	3・4後	2							兼1	
	ITパスポート演習Ⅰ	3・4前	1							兼1	
	ITパスポート演習Ⅱ	3・4後	1							兼1	
	TOEIC特別演習Ⅱ	3・4前・後	1							兼1	
	イベント検定演習	3・4前・後	1							兼1	
	ビジネス実務法務検定演習	3・4前・後	1							兼1	
	色彩検定演習	3・4前・後	1							兼2	
	ボランティア実践B	3・4前・後	2							兼1	
	総合科目	総合科目（地域文化）	3・4後	2		1					兼1
総合科目（地域社会）		3・4後	2							兼2	
総合科目（日本とアジア）		3・4前	2							兼2	
総合科目（国際政治）		3・4前	2							兼2	
総合科目（国際経済）		3・4前	2							兼2	
総合科目（現代社会）		3・4前	2							兼2	
総合科目（観光）		3・4後	2		1	1				兼2	
総合科目（芸術と社会）		3・4後	2							兼2	
総合科目（人間と自然）		3・4後	2							兼2	
総合科目（生活と環境）		3・4後	2							兼2	
総合科目（キャリア）	3・4前	2							兼2		
観光コミュニケーション学部共通専門科目	講義	ぶんきょう学	3・4前	2							兼1
		NPO・NGO論	3・4後	2							兼1
		取材学	3・4前	2							兼1
		イベント・コンベンション論	3・4後	2							兼1
	特殊演習	ブライダル・コーディネート特殊演習	3・4後	1							兼1
実習	観光コミュニティデザイン実践	3・4前	2		1						
観光デザイン学科専門科目	展開科目	グローバルツーリズム	3・4前	2			1				
		各国観光事情	3・4後	2							兼1
		観光メディア論	3・4前	2							兼1
		ホスピタリティデザイン	3・4後	2		1					
		グローバル観光デザイン	3・4前	2		1					
		航空産業論	3・4前	2			1				
		旅行産業論	3・4前	2			1				
		コンベンション管理(MICE)	3・4後	2			1				
		観光法規・倫理	3・4後	2			1				
		観光とミナト	3・4後	2			1				
		経営財務論	3・4前	2							兼1
		事業構想論	3・4後	2							兼1
		観光財務論	3・4前	2							兼1
		観光マーケティング	3・4後	2		1					
		観光とリスク	3・4前	2		1					
		交通経営論	3・4後	2		1					
		観光調査論	3・4前	2		1					
		観光デザイナー論	3・4後	2		1					
		ホテルマネジメント	3・4前	2		1					
		リゾート経営論	3・4後	2		1					
	観光コンテンツ	3・4前	2		1						
	祭りと文化	3・4後	2		1						
	ニューツーリズム	3・4後	2							兼1	
	温泉と保養	3・4後	2							兼1	
	観光と鉄道	3・4前	2		1						
	テーマパーク	3・4前	2		1						
	世界遺産研究	3・4前	2							兼1	
ヘリテイジツーリズム	3・4後	2		1							
東京観光デザイン	3・4後	2			1						
特殊演習	観光デザイナー特殊演習	3・4前・後	1							兼1	
	観光国家資格取得特殊演習B	3・4前	1							兼1	
実習	キャビンアテンダント(CA)実習	3・4前・後	1							兼1	
	ホテルマネジャー・女将実習	3・4前・後	1							兼1	
演習	観光デザイン演習ⅠA	3前	1		7	3					
	観光デザイン演習ⅠB	3後	1		7	3					
	観光デザイン演習ⅡA	4前	1		7	3					
	観光デザイン演習ⅡB	4後	1		7	3					

卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通年	2			6	3						

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

文京キャンパス

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	124	0	129	5	124	0	129	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注)
- ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
  - ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

該当なし

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  菊坂跡見塾（旧伊勢屋 質店）取得のため (27)			
	校舎敷地	14,006.97㎡ 13,850.63㎡	0㎡	0㎡	14,006.97㎡ 13,850.63㎡				
	運動場用地	48,783.25㎡	0㎡	0㎡	48,783.25㎡				
	小 計	62,790.22㎡ 62,633.88㎡	0㎡	0㎡	62,790.22㎡ 62,633.88㎡				
	そ の 他	3,385.45㎡	0㎡	0㎡	3,385.45㎡				
	合 計	66,175.67㎡ 66,019.33㎡	0㎡	0㎡	66,175.67㎡ 66,019.33㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  菊坂跡見塾（旧伊勢屋 質店）取得のため (27)			
		51,595.89㎡ 51,445.51㎡ ( ㎡)	0㎡ ( ㎡)	0㎡ ( ㎡)	51,595.89㎡ 51,445.51㎡ ( ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体  菊坂跡見塾（旧伊勢屋 質店）取得のため (27)			
	88室	30室 27室	15室 14室	14室 (補助職員 7人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	観光コミュニティ学部観光デザイン学科			10 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書] 種					
		観光コミュニ ティ学部 観光デザイン学	840 [160] ( 280 [40])	5 [ 0] ( 5 [ 0])				0 [0] ( 0 [0])	0 ( 0 )
計	840 [160] ( 280 [40])	5 [ 0] ( 5 [ 0])	0 [0] ( 0 [0])	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	6,747.46㎡		728 席		603,100				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	3,934.20㎡		テ ニ ス コ ー ト 3 面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当たりの研究 費等、共同研究費等及 び設備購入費（開設前 年度を除く）は大学全 体  当初予算枠に対し、申 請数が少なかったこと による研究費等の減額 (27)
		教員1人当り研究費等	414千円 444千円	444千円	図書購入費	988千円	503千円	503千円	
	共 同 研 究 費 等	2,000千円 16,750千円	16,750千円	設備購入費	16,532千円	0千円	0千円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
	1,202千円	1,022千円	1,042千円	1,062千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、寄付金収入、資産運用収入から調達した財源をもって学校経営に 要する費用に充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学 名称	跡見学園女子大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文科学研究科								(人文科学研究科) 埼玉県新座市中野一丁目9番6号	
日本文化専攻	2	8	-	16	修士 (人文学)	0.18	平成17年度		
臨床心理学専攻	2	12	-	24	修士 (臨床心理学)	1.20	平成17年度		
マネジメント研究科								(マネジメント研究科) 東京都文京区大塚一丁目5番2号	マネジメント研究科入学定員変更あり。届出済。 26年15名 27年10名
マネジメント専攻	2	10	-	25	修士 (マネジメント学)	0.18	平成18年度		
大学 名称	跡見学園女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									学部設置に伴う入学定員変更あり。届出済。 文学部 人文学科 24年～26年180名 27年160名 現代文化表現学科 24年～26年90名 27年120名 コミュニケーション文化学科 24年～26年120名 27年110名
人文学科	4	160	-	700	学士 (人文学)	1.10	平成14年度		
現代文化表現学科	4	120	-	390	学士 (現代文化表現学)	1.22	平成22年度		
コミュニケーション文化学科	4	110	-	470	学士(コミュニケーション文化学)	0.98	平成18年度		
臨床心理学科	4	120	-	480	学士 (臨床心理学)	1.09	平成14年度	(1・2年次) 埼玉県新座市中野一丁目9番6号	マネジメント学部 マネジメント学科 24年～26年210名 27年180名 生活環境マネジメント学科 24年～26年60名 27年80名
マネジメント学部									
マネジメント学科	4	180	-	810	学士 (マネジメント学)	1.12	平成14年度	(3・4年次) 東京都文京区大塚一丁目5番2号	
生活環境マネジメント学科	4	80	-	260	学士 (マネジメント学)	1.11	平成18年度		
観光マネジメント学科	4	-	-	-	学士 (マネジメント学)	-	平成22年度		平成27年より学生募集停止(観光マネジメント学科)
観光コミュニティ学部									
観光デザイン学科	4	120	-	120	学士 (観光学)	1.23	平成27年度		
コミュニティデザイン学科	4	80	-	80	学士 (社会学)	0.25	平成27年度		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



## 5 教員組織の状況

<観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 >

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学部長)	小川 功 (69)	平成27年4月	プロゼミⅠ 観光経営論 基礎ゼミナール(観光) 観光とリスク 観光デザイナー論 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	教授	磯貝 政弘 (60)	平成27年4月	プロゼミⅡ 基礎ゼミナール(観光) 観光マーケティング 観光調査論 テーマパーク 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB						
専	教授	老川 慶喜 (65)	平成27年4月	プロゼミⅠ むさしの学 観光交通論 基礎ゼミナール(観光) 交通経営論 観光と鉄道 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	教授	種田 明 (66)	平成27年4月	プロゼミⅠ 比較観光産業論 基礎ゼミナール(観光) 観光コンテンツ ヘリテージツーリズム 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	教授	塩月(佐藤) 亮子 (49)	平成27年4月	プロゼミⅠ 総合科目(地域文化) 観光人類学 基礎ゼミナール(観光) 祭りと文化 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	教授	松坂 健	平成27年4月	プロゼミⅡ						

		(66)		総合科目（観光） 宿泊産業論 基礎ゼミナール（観光） ホスピタリティデザイン ホテルマネジメント 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究					
専	教授	安島 博幸 (64)	平成27年4月	プロゼミⅠ 観光コミュニティデザイン実践 観光地理学 基礎ゼミナール（観光） グローバル観光デザイン リゾート経営論 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究					
専	准教授	篠原 靖 (56)	平成27年4月	プロゼミⅡ 観光デザイン入門 基礎ゼミナール（観光） 旅行産業論 東京観光デザイン 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究					
専	准教授	鶴田 雅昭 (60)	平成27年4月	プロゼミⅡ 総合科目（観光） 観光学入門 基礎ゼミナール（観光） 航空産業論 観光とミナト 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究					
専	准教授	村上 雅巳 (55)	平成27年4月	プロゼミⅡ 観光ランドデザイン 基礎ゼミナール（観光） グローバルツーリズム コンベンション管理(MICE) 観光法規・倫理 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究					
兼任	講師	赤尾 充哉 (35)	平成27年4月	経営学入門					
兼任	講師	伊藤 尚伸 (57)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ 観光メディア論					
兼任	講師	糸川 正晃 (42)	平成29年4月	ニューツーリズム					

兼任	講師	今井 真貴子 (58)	平成29年4月	イベント・コンベンション論							
兼任	講師	大藤 ひとみ (51)	平成29年4月	フライダル・コーディネート特殊演習							
兼任	講師	笠井 玲子 (63)	平成29年4月	キャビンアテンダント(CA)実習							
兼任	講師	佐藤 龍三郎 (63)	平成27年4月	人口学							
兼任	講師	志田 哲之 (43)	平成27年4月	社会学 社会調査入門							
兼任	講師	丁野 朗 (66)	平成29年4月	観光デザイナー特殊演習							
兼任	講師	塚越 公明 (66)	平成27年4月	観光国家資格取得特殊演習A 各国観光事情 観光国家資格取得特殊演習B							
兼任	講師	中岡 春人 (64)	平成29年4月	ホテルマネジャー・女将実習							
兼任	講師	成澤 廣修 (51)	平成29年4月	ぶんきょう学							
兼任	講師	濱地 徹 (34)	平成29年4月	取材学	兼任	講師	濱地 徹 (34)	平成27年4月	取材学 観光と情報社会	担任教員未定(兼任可)であった「観光と情報社会」を担当。(27)	
兼任可				観光と情報社会							
兼任	講師	松澤 孝紀 (45)	平成29年4月	経営財務論 観光財務論							
兼任	講師	政所 利子 (65)	平成27年4月	社会をデザインする女性たち							
兼任	講師	宮澤 光 (42)	平成29年4月	世界遺産研究							
兼任	講師	山崎 まゆみ (46)	平成29年4月	温泉と保養							
兼任	講師	渡辺 一浩 (56)	平成29年4月	事業構想論							
兼任	講師	渡邊 徹 (32)	平成27年4月	観光経済学							
専任補充				観光社会学	専		後任未定		観光社会学	平成27年度は兼任教員にて開講予定。 専任補充については、H27年10月変更書提出予定(27)	

<共通>

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月			
兼任	教授	石田 信一 (50)	平成27年4月	ヨーロッパ現代史	兼任	講師	香坂 直樹 (41)	平成27年4月	ヨーロッパ現代史	平成26年4月 石田信一教授役職に伴う減コマにより、担当者の変更(27)
兼任	教授	石塚 正敏 (62)	平成29年4月	生理学 公衆衛生論						
兼任	教授	石渡 尚子 (49)	平成27年4月	化学						
兼任	教授	岩田 秀行 (66)	平成27年4月	百人一首						
兼任	教授	奥田 洋子 (66)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ						
兼任	教授	鍵屋 一 (60)	平成29年4月	ボランティア実践B						
兼任	教授	笠原 清志 (68)	平成29年4月	総合科目(キャリア)						



兼任	准教授	南里 隆宏 (44)	平成27年4月	ボランティア実践A NPO・NGO論							
兼任	准教授	福田 博同 (67)	平成27年4月	マルチメディア 基礎演習（音楽							
兼任	准教授	マック、カレン (52)	平成27年4月	英語マルチメディアレッ スン 英語リーディング							
兼任	准教授	宮崎 圭子 (59)	平成27年4月	対人関係のスキル							
兼任	准教授	森 まり子 (47)	平成29年4月	総合科目（国際政治）							
兼任	准教授	山崎 妙 (43)	平成27年4月	英語再入門B 英語ライティング 異文化理解 TOEIC特別演習Ⅱ							
兼任	准教授	吉田 信夫 (53)	平成27年4月	英語AⅠa テーマで学ぶ英語（メ ディア）Ⅰ							
兼任	講師	高橋 聖子 (41)	平成27年4月	法学							
兼任	助教	寺本 敬子 (37)	平成29年4月	フランス語上級Ⅰ フランス語上級Ⅱ							
兼任	講師	青山 豊 (41)	平成27年4月	日本国憲法							
兼任	講師	赤松 瑞枝 (35)	平成29年4月	家政学							
兼任	講師	阿部 陽子 (45)	平成27年4月	英語AⅠa 英語AⅡa 英語AⅢb 英語AⅣa							
兼任	講師	荒井 志野 (45)	平成27年4月	ソーシャルマナー							
兼任	講師	新井 保裕 (31)	平成27年4月	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ 朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ 朝鮮・韓国語上級Ⅰ 朝鮮・韓国語上級Ⅱ	兼任 講師 魏 聖銓 (47)	平成27年4月	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ 朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ 朝鮮・韓国語上級Ⅰ 朝鮮・韓国語上級Ⅱ	平成26年12月 新井保裕講師本務校都合に より就任辞退のため担当 者の変更（27） 平成26年12月 新井保裕講師本務校都合に より就任辞退のため平成28 年3月までに後任を決定予定 （27） 平成26年12月 新井保裕講師本務校都合に より就任辞退のため平成29 年3月までに後任を決定予定 （27）			
兼任	講師	飯高 晶子 (45)	平成27年4月	心理学							
兼任	講師	池上 純一 (66)	平成28年4月	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ							
兼任	講師	池田 光義 (63)	平成27年4月	認識論							
兼任	講師	石井 正己 (57)	平成27年4月	百人一首							
兼任	講師	石黒 ひさ子 (48)	平成28年4月	中国語Ⅳ 中国語上級Ⅰ 中国語上級Ⅱ							
兼任	講師	一ノ瀬 俊和 (64)	平成29年4月	イタリア語とイタリア文化							
兼任	講師	伊東 絹子 (60)	平成27年4月	ソーシャルマナー							
兼任	講師	伊藤 健生 (45)	平成27年4月	キャリア基礎演習（公務 員・数的処理）Ⅰ キャリア基礎演習（公務 員・数的処理）Ⅱ キャリア演習（公務員・ 数的処理）Ⅰ キャリア演習（公務員・ 数的処理）Ⅱ							

兼任	講師	伊藤 直子 (61)	平成27年4月	ドイツ語リーディング・ ライティング ドイツ文学 ドイツ語上級 I ドイツ語上級 II						
兼任	講師	伊東 裕貴 (50)	平成29年4月	マーケティング心理学						
兼任	講師	岩熊 麻由美 (53)	平成27年4月	パーソナリティを考える 「自分らしさ」を探る						
兼任	講師	岩永 祥恵 (53)	平成27年4月	英文学						
兼任	講師	上野 祐紀子 (42)	平成27年4月	体育実技 A						
兼任	講師	梅沢 範子 (55)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	梅宮 創造 (67)	平成29年4月	ミステリー文学						
兼任	講師	江口 和美 (37)	平成27年4月	体育実技 C 体育実技 G						
兼任	講師	大久保 博樹 (54)	平成29年4月	デジタル編集						
兼任	講師	大西 正人 (57)	平成27年4月	哲学 倫理学 論理学						
兼任	講師	大橋 幸泰 (52)	平成29年4月	日本宗教論						
兼任	講師	岡崎 友典 (69)	平成27年4月	教育社会学						
兼任	講師	岡野 宣勝ベリー (49)	平成27年4月	フィールドワーク方法論 総合科目 (地域文化)						
兼任	講師	岡山 麻子 (40)	平成27年4月	歴史理論 日本現代史 総合科目 (日本とアジア)						
兼任	講師	小口 峰樹 (35)	平成27年4月	科学史						
兼任	講師	小平 昌子 (51)	平成27年4月	英語 A I a 英語 A II a						
兼任	講師	小田部 英勝 (66)	平成29年4月	イベント検定演習						
兼任	講師	越智 方美 (54)	平成27年4月	ボランティア論						
兼任	講師	笠島 美江子 (65)	平成27年4月	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習						
兼任	講師	柏原 麻美 (53)	平成27年4月	秘書技能演習						
兼任	講師	和富 弥生 (59)	平成28年4月	中国語 III						
兼任	講師	加藤 百合 (52)	平成29年4月	ロシア語とロシア文化						
兼任	講師	兼利 琢也 (57)	平成27年4月	英語 I 英語再入門 A						
兼任	講師	可部 繁三郎 (56)	平成29年4月	国際経済 総合科目 (国際経済)						
兼任	講師	川嶋 均 (55)	平成29年4月	ヨーロッパ中世文学						
兼任	講師	北久保 茂 (52)	平成27年4月	情報リテラシー I 情報リテラシー II						
兼任	講師	木下 ひろみ (56)	平成27年4月	英語 II 英語 IV						

兼任	講師	金 順任 (46)	平成27年4月	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ 朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語リーディング・ライティング						
兼任	講師	木村 敦夫 (59)	平成27年4月	ロシア文学						
兼任	講師	木村 文勝 (67)	平成27年4月	産業と職業						
兼任	講師	喜山 朝彦 (62)	平成29年4月	ジェンダー論						
兼任	講師	國司 眞 (62)	平成29年4月	天文学						
兼任	講師	熊本 史雄 (46)	平成29年4月	総合科目（日本とアジア）						
兼任	講師	倉橋 節也 (56)	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 基礎演習 Microsoft Office Specialist 演習						
兼任	講師	栗山 保之 (46)	平成27年4月	歴史理論						
兼任	講師	黒田 涼 (39)	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 基礎演習	兼任	講師	黒田 涼 (39)	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 基礎演習 web制作	履修機会を増やすため、担当科目を追加（27）
兼任	講師	ケヴィン・スコット (50)	平成27年4月	英語AⅠa 英語AⅡa 英語AⅢa						
兼任	講師	ゲーリー・ライサナン (49)	平成27年4月	英語BⅠa 英語BⅡa 英語BⅢa 英語BⅣa						
兼任	講師	小池 知之 (51)	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅳ	兼任	講師	小池 知之 (51)	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅳ 異文化理解	履修機会を増やすため、担当科目を追加（27）
兼任	講師	香坂 直樹 (41)	平成27年4月	歴史理論 ヨーロッパ現代史						
兼任	講師	江田 優子 (64)	平成27年4月	英語AⅠb 英語AⅡb 英語AⅣb						
兼任	講師	神武 布左子 (52)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	古賀 誉章 (46)	平成27年4月	環境心理学	兼任		後任未定		環境心理学	平成27年4月古賀誉章講師就任辞退のため、平成27年9月までに後任を決定予定（27）
兼任	講師	小久保 秀之 (56)	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	古城 慶子 (66)	平成29年4月	精神病理学						
兼任	講師	古田島 綾子 (43)	平成28年4月	英語Ⅲ						
兼任	講師	小巻 泰之 (52)	平成27年4月	統計学						
兼任	講師	是澤 克哉 (38)	平成27年4月	ディベート演習						
兼任	講師	近喰 晴子 (67)	平成27年4月	保育学						
兼任	講師	近藤 佐保子 (54)	平成29年4月	刑事法						
兼任	講師	坂本 秀夫 (61)	平成28年4月	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランス語リーディング・ライティング						
兼任	講師	坂本 有希 (47)	平成27年4月	自然保護論 総合科目（人間と自然）						

兼任	講師	佐々木 亮 (30)	平成29年4月	国際法						
兼任	講師	篠原 洋治 (56)	平成28年4月	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ						
兼任	講師	柴田 徹 (52)	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	島田 顕 (52)	平成29年4月	国際社会論						
兼任	講師	嶋田 英誠 (69)	平成27年4月	花嫁の教育とラフアラン・キ 1777年※						
兼任	講師	志村 聡 (52)	平成27年4月	地理学						
兼任	講師	ジョン・オリファント (66)	平成27年4月	英語AⅠb 英語AⅡb						
兼任	講師	菅沼 文子 (48)	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ						
兼任	講師	菅原 ゆり子 (53)	平成29年4月	健康科学						
兼任	講師	杉森 賢司 (59)	平成27年4月	生物学						
兼任	講師	鈴木 明子 (48)	平成29年4月	近代家族論						
兼任	講師	鈴木 邦夫 (66)	平成27年4月	経済学						
兼任	講師	鈴木 泰恵 (56)	平成27年4月	文芸理論	兼任	講師	稲垣 智花 (54)	平成27年4月	文芸理論	平成26年12月 鈴木泰恵講師就任辞退のため 担当者の変更(27)
兼任	講師	住谷 孝之 (42)	平成27年4月	中国文学						
兼任	講師	高尾 歩 (58)	平成27年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						
兼任	講師	高崎 彰 (67)	平成27年4月	教育学 教育学概論						
兼任	講師	高橋 克也 (52)	平成29年4月	農林科学						
兼任	講師	高橋 善隆 (50)	平成27年4月	国際関係論 政治学						
兼任	講師	武田 和久 (39)	平成29年4月	スペイン語とスペイン文化						
兼任	講師	田中 究 (42)	平成29年4月	深層心理学						
兼任	講師	田辺 公一郎 (56)	平成27年4月	画像処理基礎演習 コンピュータ・グラフィックス						
兼任	講師	築 雅之 (51)	平成27年4月	Web制作 マルチメディア基礎演習 (映像制作) デジタル・アニメーション						
兼任	講師	張 国璐 (52)	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅳ						
兼任	講師	塚島 真実 (35)	平成27年4月	フランス文学						
兼任	講師	辻 のぞみ (59)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(観 光)Ⅰ テーマで学ぶ英語(観 光)Ⅱ						
兼任	講師	トーマス・グラント (65)	平成28年4月	英語AⅢb 英語AⅣb						
兼任	講師	中川 理恵子 (54)	平成29年4月	児童文学						
兼任	講師	中島 輝賢 (48)	平成27年4月	日本文学 日本語演習						



兼任	講師	中原 暁彦 (58)	平成28年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ						
兼任	講師	中平 千彦 (49)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語（ビジネス）Ⅰ テーマで学ぶ英語（ビジネス）Ⅱ						
兼任	講師	西尾 治子 (67)	平成27年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						
兼任	講師	西牧 操代 (51)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	野口 博一 (66)	平成27年4月	英語Ⅱ 英語Ⅳ						
兼任	講師	野崎 将俊 (46)	平成28年4月	英語Ⅳ						
兼任	講師	野村 光義 (45)	平成27年4月	西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化						
兼任	講師	萩原 智子 (34)	平成27年4月	体育実技E（水泳） 体育実技F（水泳）						
兼任	講師	橋本 憲一郎 (49)	平成29年4月	建築環境論						
兼任	講師	橋本 秀美 (61)	平成27年4月	人間関係論						
兼任	講師	橋本 実千代 (49)	平成29年4月	色彩検定演習						
兼任	講師	長谷川 悦朗 (48)	平成27年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ						
兼任	講師	浜田 勝義 (62)	平成27年4月	簿記会計基礎演習Ⅰ 簿記会計基礎演習Ⅱ 簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ						
兼任	講師	早崎 えりな (58)	平成28年4月	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ						
兼任	講師	原 稚佳子 (41)	平成29年4月	色彩検定演習						
兼任	講師	原 正人 (42)	平成27年4月	アジア現代史						
兼任	講師	ビーゲル・ケネス (60)	平成28年4月	英語AⅢa 英語AⅣa						
兼任	講師	藤崎 和子 (56)	平成29年4月	ITパスポート演習Ⅰ ITパスポート演習Ⅱ						
兼任	講師	二又 淳 (47)	平成29年4月	日本語演習						
兼任	講師	淵元 哲 (48)	平成29年4月	キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅰ キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅱ						
兼任	講師	船本 美香 (37)	平成27年4月	自己表現演習						
兼任	講師	ブライアン・ブシュナー (32)	平成27年4月	英語BⅠb 英語BⅡb 英語BⅢb 英語BⅣb	兼任 講師 ラフンツェル・トマクデル (27)	平成27年4月	英語BⅠb 英語BⅡb	平成27年3月 ブシュナー講師就任辞退のため担当者の変更（27）		
					兼任	後任未定	英語BⅢb 英語BⅣb	平成27年3月 ブシュナー講師就任辞退のため平成28年3月までに後任を決定予定（27）		
兼任	講師	ヘニング・ルディ (55)	平成27年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ						
兼任	講師	本間 俊一 (65)	平成28年4月	英語Ⅳ						

兼任	講師	松崎 かおり (52)	平成29年4月	近代家族論						
兼任	講師	松田 洋 (49)	平成27年4月	数学						
兼任	講師	三浦 和彦 (59)	平成27年4月	物理学 地球科学						
兼任	講師	箕口 雅博 (64)	平成27年4月	コミュニティ心理学						
兼任	講師	水野 圭子 (48)	平成29年4月	労働法 ビジネス実務法務検定演習						
兼任	講師	南 明恵美 (58)	平成27年4月	体育実技B 体育実技D 体育実技H						
兼任	講師	三村 友希 (40)	平成27年4月	日本文学 日本語演習						
兼任	講師	三宅 登之 (51)	平成28年4月	中国語Ⅲ						
兼任	講師	宮崎 修二 (52)	平成29年4月	聖書学						
兼任	講師	宮島 琴美 (40)	平成28年4月	中国語Ⅳ						
兼任	講師	宮地 克昌 (57)	平成27年4月	イベント論						
兼任	講師	室田 康子 (60)	平成29年4月	現代ジャーナリズム論						
兼任	講師	靱井 まり (46)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(社会 問題)Ⅱ						
兼任	講師	百瀬 亮司 (41)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(社会 問題)Ⅰ						
兼任	講師	師尾 友紀子 (49)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	山里 盛文 (37)	平成29年4月	民事法						
兼任	講師	山田 満 (68)	平成29年4月	マーケティングコミュニ ケーション	兼任	教授	山田 満 (68)	平成29年4月	マーケティングコミュニ ケーション	平成27年4月 マネジメント学部専任教員 採用に伴い身分変更(27)
兼任	講師	山本 武秀 (40)	平成27年4月	キャリア基礎演習(公務 員・政治経済)Ⅰ キャリア基礎演習(公務 員・政治経済)Ⅱ						
兼任	講師	山本 泰夫 (68)	平成27年4月	現代ジャーナリズム論						
兼任	講師	山本 雄一郎 (59)	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	山谷 茂 (67)	平成27年4月	情報科学 ネットワーク論						
兼任	講師	湯原 かの子 (66)	平成27年4月	文芸理論						
兼任	講師	横井 由利 (64)	平成29年4月	ファッション論 総合科目(生活と環境)						
兼任	講師	横川 澄枝 (65)	平成28年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ						
兼任	講師	横山 美嘉子 (51)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	吉田 次郎 (64)	平成29年4月	水産学 河川海洋学						
兼任	講師	吉野 隆 (48)	平成27年4月	Web制作 アプリケーション・プロ グラミング						
兼任	講師	吉原 誠 (55)	平成27年4月	キャリア基礎演習(公務 員・法律)Ⅰ キャリア基礎演習(公務 員・法律)Ⅱ キャリア演習(公務員・ 法律)Ⅰ キャリア演習(公務員・ 法律)Ⅱ						

兼任	講師	李 振溪 (51)	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語リーディング・ライティング						
兼任	講師	林 淑美 (65)	平成27年4月	文芸理論						
兼任	講師	レイツ・パトリック (45)	平成27年4月	TOEIC特別演習Ⅰ						
兼任	講師	若狭 基道 (44)	平成27年4月	言語科学 記号論						
兼任	講師	渡瀬 恵津子 (55)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	渡辺 玲子 (63)	平成28年4月	英語Ⅲ 英語再入門B						
					兼任 講師	ロバート・スピバック (50)	平成27年4月	TOEIC特別演習Ⅰ	履修機会を増やすため、担当者の追加(27)	
					兼任 講師	マーガレット・ワークマン (62)	平成27年4月	TOEIC特別演習Ⅰ	履修機会を増やすため、担当者の追加(27)	

<観光コミュニティ学部 観光デザイン学科>

(1) 担当教員表

新座キャンパス

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学部長)	小川 功 (69)	平成27年4月	プロゼミⅠ 観光経営論 基礎ゼミナール(観光)						
専	教授	磯貝 政弘 (60)	平成27年4月	プロゼミⅡ 基礎ゼミナール(観光)						
専	教授	老川 慶喜 (65)	平成27年4月	プロゼミⅠ むさしの学 観光交通論 基礎ゼミナール(観光)						
専	教授	種田 明 (66)	平成27年4月	プロゼミⅠ 比較観光産業論 基礎ゼミナール(観光)						
専	教授	塩月(佐藤) 亮子 (49)	平成27年4月	プロゼミⅠ 観光人類学 基礎ゼミナール(観光)						
専	教授	松坂 健 (66)	平成27年4月	プロゼミⅡ 宿泊産業論 基礎ゼミナール(観光)						
専	教授	安島 博幸 (64)	平成27年4月	プロゼミⅠ 観光地理学 基礎ゼミナール(観光)						
専	准教授	篠原 靖 (56)	平成27年4月	プロゼミⅡ 観光デザイン入門 基礎ゼミナール(観光)						
専	准教授	鶴田 雅昭 (60)	平成27年4月	プロゼミⅡ 観光学入門 基礎ゼミナール(観光)						
専	准教授	村上 雅巳 (55)	平成27年4月	プロゼミⅡ 観光ランドデザイン 基礎ゼミナール(観光)						
兼任	講師	赤尾 充哉 (35)	平成27年4月	経営学入門						

兼任	講師	佐藤 龍三郎 (63)	平成27年4月	人口学					
兼任	講師	志田 哲之 (43)	平成27年4月	社会学 社会調査入門					
兼任	講師	塚越 公明 (66)	平成27年4月	観光国家資格取得特殊演習A					
兼任	講師	政所 利子 (65)	平成27年4月	社会をデザインする女性たち					
兼任	講師	渡邊 徹 (32)	平成27年4月	観光経済学					
専任補充				観光社会学	専		後任未定		観光社会学 平成27年度は兼任教員にて開講予定。 専任補充については、H27年10月変更書提出予定(27)
兼任可				観光と情報社会	兼任 講師	濱地 徹 (34)	平成27年4月	観光と情報社会	担当教員未定(兼任可)であった「観光と情報社会」を担当。(27)

< 共通 >

新座キャンパス

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	石田 信一 (50)	平成27年4月	ヨーロッパ現代史	兼任 講師	香坂 直樹 (41)	平成27年4月	ヨーロッパ現代史	平成26年4月 石田信一教授役職に伴う減コマにより、担当者の変更(27)	
兼任	教授	石塚 正敏 (62)	平成29年4月	生理学						
兼任	教授	石渡 尚子 (49)	平成27年4月	化学						
兼任	教授	岩田 秀行 (66)	平成27年4月	百人一首						
兼任	教授	佐藤 敦 (57)	平成27年4月	花嫁の教育と「アブラハム・キアラ」 職業人のルールとモラル キャリア基礎演習(グループワーク)						
兼任	教授	佐藤 富雄 (58)	平成27年4月	生涯学習概論 教育社会学						
兼任	教授	杉本 昌裕 (60)	平成27年4月	教育原理						
兼任	教授	轟(吹野) 理恵子 (52)	平成27年4月	社会調査法						
兼任	教授	道本 千衣子 (68)	平成27年4月	家政学 生理学 健康科学						
兼任	教授	中野 敬子 (66)	平成27年4月	ストレス・マネジメント						
兼任	教授	福田 優二 (66)	平成27年4月	マスコミとの付き合い方						
兼任	教授	藤澤 伸介 (67)	平成27年4月	心理学						
兼任	准教授	伊藤 穂 (45)	平成27年4月	情報リテラシー I 情報リテラシー II マルチメディア基礎演習(音楽制作)	兼任 准教授	伊藤 穂 (45)	平成27年4月	情報リテラシー I 情報リテラシー II マルチメディア基礎演習(音楽制作)	平成26年12月 倉橋節也講師留学のため、 担当者を2名から3名に変更 演習(27)	
兼任	准教授	香山 はるの (49)	平成27年4月	英語 I						
兼任	准教授	土居 洋介 (42)	平成27年4月	社会調査入門						
兼任	准教授	中村 聡 (49)	平成28年4月	英語 A III a 英語再入門 A						

兼任	准教授	南里 隆宏 (44)	平成27年4月	ボランティア実践A						
兼任	准教授	福田 博同 (67)	平成27年4月	マルチメディア基礎演習 (音楽制作)						
兼任	准教授	マック, カレン (52)	平成27年4月	英語マルチメディアレッス ン 英語リーディング						
兼任	准教授	宮崎 圭子 (59)	平成27年4月	対人関係のスキル						
兼任	准教授	山崎 妙 (43)	平成27年4月	英語再入門B 英語ライティング 異文化理解						
兼任	准教授	吉田 信夫 (53)	平成27年4月	英語A I a						
兼任	講師	高橋 聖子 (41)	平成27年4月	法学						
兼任	講師	青山 豊 (41)	平成27年4月	日本国憲法						
兼任	講師	赤松 瑞枝 (35)	平成29年4月	家政学						
兼任	講師	阿部 陽子 (45)	平成27年4月	英語A I a 英語A II a 英語A III b 英語A IV a						
兼任	講師	荒井 志野 (45)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	新井 保裕 (31)	平成27年4月	朝鮮・韓国語 I 朝鮮・韓国語 II 朝鮮・韓国語 III 朝鮮・韓国語 IV	兼任	講師	魏 聖銓 (47)	平成27年4月	朝鮮・韓国語 I 朝鮮・韓国語 II	平成26年12月 新井保裕講師就任辞退のため 担当者の変更 (27)
					兼任		後任未定		朝鮮・韓国語 III 朝鮮・韓国語 IV	平成26年12月 新井保裕講師就任辞退のため 平成28年3月までに後任を 決定予定 (27)
兼任	講師	飯高 晶子 (45)	平成27年4月	心理学						
兼任	講師	池上 純一 (66)	平成28年4月	ドイツ語III ドイツ語IV						
兼任	講師	池田 光義 (63)	平成27年4月	認識論						
兼任	講師	石井 正己 (57)	平成27年4月	百人一首						
兼任	講師	石黒 ひさ子 (48)	平成28年4月	中国語IV						
兼任	講師	伊東 絹子 (60)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	伊藤 健生 (45)	平成27年4月	キャリア基礎演習(公務 員・教の処理) I キャリア基礎演習(公務 員・教の処理) II						
兼任	講師	伊藤 直子 (61)	平成27年4月	ドイツ語リーディング・ ライティング ドイツ文学						
兼任	講師	岩熊 麻由美 (53)	平成27年4月	パーソナリティを考える 「自分らしさ」を探る						
兼任	講師	岩永 祥恵 (53)	平成27年4月	英文学						
兼任	講師	上野 祐紀子 (42)	平成27年4月	体育実技A						
兼任	講師	梅沢 範子 (55)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	江口 和美 (37)	平成27年4月	体育実技C 体育実技G						
兼任	講師	大西 正人 (57)	平成27年4月	哲学 倫理学 論理学						
兼任	講師	岡崎 友典 (69)	平成27年4月	教育社会学						

兼任	講師	岡野 宣勝ベリ (49)	平成27年4月	フィールドワーク方法論						
兼任	講師	岡山 麻子 (40)	平成27年4月	歴史理論 日本現代史						
兼任	講師	小口 峰樹 (35)	平成27年4月	科学史						
兼任	講師	小平 昌子 (51)	平成27年4月	英語AⅠa 英語AⅡa						
兼任	講師	越智 方美 (54)	平成27年4月	ボランティア論						
兼任	講師	笠島 美江子 (65)	平成27年4月	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習						
兼任	講師	柏原 麻美 (53)	平成27年4月	秘書技能演習						
兼任	講師	和富 弥生 (59)	平成28年4月	中国語Ⅲ						
兼任	講師	兼利 琢也 (57)	平成27年4月	英語Ⅰ 英語再入門A						
兼任	講師	北久保 茂 (52)	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	木下 ひろみ (56)	平成27年4月	英語Ⅱ 英語Ⅳ						
兼任	講師	金 順任 (46)	平成27年4月	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ 朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語リーディング ライティング						
兼任	講師	木村 敦夫 (59)	平成27年4月	ロシア文学						
兼任	講師	木村 文勝 (67)	平成27年4月	産業と職業						
兼任	講師	倉橋 節也 (56)	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 基礎演習						
兼任	講師	栗山 保之 (46)	平成27年4月	歴史理論						
兼任	講師	黒田 涼 (39)	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 基礎演習	兼任	講師	黒田 涼 (39)	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 基礎演習 web制作	履修機会を増やすため、担 当科目を追加 (27)
兼任	講師	ケヴィン・スコット (50)	平成27年4月	英語AⅠa 英語AⅡa 英語AⅢa						
兼任	講師	ゲーリー・ライサナン (49)	平成27年4月	英語BⅠa 英語BⅡa 英語BⅢa 英語BⅣa						
兼任	講師	小池 知之 (51)	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅳ	兼任	講師	小池 知之 (51)	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅳ 異文化理解	履修機会を増やすため、担 当科目を追加 (27)
兼任	講師	香坂 直樹 (41)	平成27年4月	歴史理論 ヨーロッパ現代史						
兼任	講師	江田 優子 (64)	平成27年4月	英語AⅠb 英語AⅡb 英語AⅣb						
兼任	講師	神武 布左子 (52)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	古賀 誉章 (46)	平成27年4月	環境心理学	兼任		後任未定		環境心理学	平成27年4月 古賀誉章講師就任辞退のた め、平成27年9月までに後任 を決定予定 (27)
兼任	講師	小久保 秀之 (56)	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ						
兼任	講師	古田島 綾子 (43)	平成28年4月	英語Ⅲ						
兼任	講師	小巻 泰之	平成27年4月	統計学						



		(66)		英語Ⅳ									
兼任	講師	野崎 将俊 (46)	平成28年4月	英語Ⅳ									
兼任	講師	野村 光義 (45)	平成27年4月	西洋古典文学									
兼任	講師	萩原 智子 (34)	平成27年4月	体育実技 E (水泳) 体育実技 F (水泳)									
兼任	講師	橋本 秀美 (61)	平成27年4月	人間関係論									
兼任	講師	長谷川 悦朗 (48)	平成27年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ									
兼任	講師	浜田 勝義 (62)	平成27年4月	簿記会計基礎演習Ⅰ 簿記会計基礎演習Ⅱ									
兼任	講師	早崎 えりな (58)	平成28年4月	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ									
兼任	講師	原 正人 (42)	平成27年4月	アジア現代史									
兼任	講師	ピーゲル・ケネス (60)	平成28年4月	英語 AⅢ a 英語 AⅣ a									
兼任	講師	船本 美香 (37)	平成27年4月	自己表現演習									
兼任	講師	ブライアン・ブシュナー (32)	平成27年4月	英語 BⅠ b 英語 BⅡ b 英語 BⅢ b 英語 BⅣ b	兼任	講師	ラフツェル・トマクデル (27)	平成27年4月	英語 BⅠ b 英語 BⅡ b	平成27年3月 ブシュナー講師就任辞退の ため担当者の変更 (27)			
					兼任		後任未定		英語 BⅢ b 英語 BⅣ b	平成27年3月 ブシュナー講師就任辞退の ため平成28年3月までに後任 を決定予定 (27)			
兼任	講師	ヘニング・ルディ (55)	平成27年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ									
兼任	講師	本間 俊一 (65)	平成28年4月	英語Ⅳ									
兼任	講師	松田 洋 (49)	平成27年4月	数学									
兼任	講師	三浦 和彦 (59)	平成27年4月	物理学 地球科学									
兼任	講師	箕口 雅博 (64)	平成27年4月	コミュニティ心理学									
兼任	講師	南 明恵美 (58)	平成27年4月	体育実技 B 体育実技 D 体育実技 H									
兼任	講師	三村 友希 (40)	平成27年4月	日本文学									
兼任	講師	三宅 登之 (51)	平成28年4月	中国語Ⅲ									
兼任	講師	宮島 琴美 (40)	平成28年4月	中国語Ⅳ									
兼任	講師	宮地 克昌 (57)	平成27年4月	イベント論									
兼任	講師	室田 康子 (60)	平成29年4月	現代ジャーナリズム論									
兼任	講師	師尾 友紀子 (49)	平成27年4月	ソーシャルマナー									
兼任	講師	山本 武秀 (40)	平成27年4月	キャリア基礎演習 (公務員・政治経済)Ⅰ キャリア基礎演習 (公務員・政治経済)Ⅱ									
兼任	講師	山本 泰夫 (68)	平成27年4月	現代ジャーナリズム論									



兼任	講師	山本 雄一郎 (59)	平成27年4月	英語 I 英語 II					
兼任	講師	山谷 茂 (67)	平成27年4月	情報科学					
兼任	講師	湯原 かの子 (66)	平成27年4月	文芸理論					
兼任	講師	横川 澄枝 (65)	平成28年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ					
兼任	講師	横山 美嘉子 (51)	平成27年4月	ソーシャルマナー					
兼任	講師	吉野 隆 (48)	平成27年4月	Web制作					
兼任	講師	吉原 誠 (55)	平成27年4月	キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅱ					
兼任	講師	李 振溪 (51)	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語リーディング・ライティング					
兼任	講師	林 淑美 (65)	平成27年4月	文芸理論					
兼任	講師	レイツ・パトリック (45)	平成27年4月	TOEIC特別演習Ⅰ					
兼任	講師	若狭 基道 (44)	平成27年4月	言語科学 記号論					
兼任	講師	渡瀬 恵津子 (55)	平成27年4月	ソーシャルマナー					
兼任	講師	渡辺 玲子 (63)	平成28年4月	英語Ⅲ 英語再入門B					
					兼任 講師	ロバート・スピバック (50)	平成27年4月	TOEIC特別演習Ⅰ	履修機会を増やすため、担当者の追加(27)
					兼任 講師	マーガレット・ワークマン (62)	平成27年4月	TOEIC特別演習Ⅰ	履修機会を増やすため、担当者の追加(27)

<観光コミュニティ学部 観光デザイン学科>

(1) 担当教員表

文京キャンパス

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授 (学部長)	小川 功 (69)	平成27年4月	観光とリスク 観光デザイナー論 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	教授	磯貝 政弘 (60)	平成27年4月	観光マーケティング 観光調査論 テーマパーク 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB						

専	教授	老川 慶喜 (65)	平成27年4月	交通経営論 観光と鉄道 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	教授	種田 明 (66)	平成27年4月	観光コンテンツ ヘリテージツーリズム 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	教授	塩月(佐藤) 亮子 (49)	平成27年4月	総合科目(地域文化) 祭りと文化 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	教授	松坂 健 (66)	平成27年4月	総合科目(観光) ホスピタリティデザイン ホテルマネジメント 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	教授	安島 博幸 (64)	平成27年4月	観光コミュニティデザイン実践 グローバル観光デザイン リゾート経営論 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	准教授	篠原 靖 (56)	平成27年4月	旅行産業論 東京観光デザイン 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
専	准教授	鶴田 雅昭 (60)	平成27年4月	総合科目(観光) 航空産業論 観光とミナト 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						

専	准教授	村上 雅巳 (55)	平成27年4月	グローバルツーリズム コンベンション管理(MIG) 観光法規・倫理 観光デザイン演習ⅠA 観光デザイン演習ⅠB 観光デザイン演習ⅡA 観光デザイン演習ⅡB 卒業論文・卒業研究						
兼任	講師	伊藤 尚伸 (57)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ 観光メディア論						
兼任	講師	糸川 正晃 (42)	平成29年4月	ニューツーリズム						
兼任	講師	今井 真貴子 (58)	平成29年4月	イベント・コンベンション論						
兼任	講師	大藤 ひとみ (51)	平成29年4月	プライダル・コーディネート特殊演習						
兼任	講師	笠井 玲子 (63)	平成29年4月	キャビンアテンダント(GA)実習						
兼任	講師	丁野 朗 (66)	平成29年4月	観光デザイナー特殊演習						
兼任	講師	塚越 公明 (66)	平成27年4月	各国観光事情 観光国家資格取得特殊演習B						
兼任	講師	中岡 春人 (64)	平成29年4月	ホテルマネジャー・女将実習						
兼任	講師	成澤 廣修 (51)	平成29年4月	ぶんきょう学						
兼任	講師	濱地 徹 (34)	平成29年4月	取材学						
兼任	講師	松澤 孝紀 (45)	平成29年4月	経営財務論 観光財務論						
兼任	講師	宮澤 光 (42)	平成29年4月	世界遺産研究						
兼任	講師	山崎 まゆみ (46)	平成29年4月	温泉と保養						
兼任	講師	渡辺 一浩 (56)	平成29年4月	事業構想論						

< 共通 >

文京キャンパス

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	石塚 正敏 (62)	平成29年4月	公衆衛生論						
兼任	教授	奥田 洋子 (66)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ						
兼任	教授	鍵屋 一 (60)	平成29年4月	ボランティア実践B						
兼任	教授	笠原 清志 (68)	平成29年4月	総合科目(キャリア)						
兼任	教授	神山 伸弘 (57)	平成29年4月	総合科目(国際政治)						
兼任	教授	小仲 信孝 (64)	平成29年4月	日本語演習						
兼任	教授	篠塚 二三男 (68)	平成29年4月	総合科目(芸術と社会)						
兼任	教授	副島 善道 (60)	平成29年4月	メディア環境論						
兼任	教授	曾田 修司	平成29年4月	総合科目(現代社会)						



兼任	講師	可部 繁三郎 (56)	平成29年4月	国際経済 総合科目(国際経済)					
兼任	講師	川嶋 均 (55)	平成29年4月	ヨーロッパ中世文学					
兼任	講師	喜山 朝彦 (62)	平成29年4月	ジェンダー論					
兼任	講師	國司 眞 (62)	平成29年4月	天文学					
兼任	講師	熊本 史雄 (46)	平成29年4月	総合科目(日本とアジア)					
兼任	講師	倉橋 節也 (56)	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 演習					
兼任	講師	古城 慶子 (66)	平成29年4月	精神病理学					
兼任	講師	近藤 佐保子 (54)	平成29年4月	刑事法					
兼任	講師	坂本 有希 (47)	平成27年4月	総合科目(人間と自然)					
兼任	講師	佐々木 亮 (30)	平成29年4月	国際法					
兼任	講師	島田 顕 (52)	平成29年4月	国際社会論					
兼任	講師	鈴木 明子 (48)	平成29年4月	近代家族論					
兼任	講師	高崎 彰 (67)	平成27年4月	教育学概論					
兼任	講師	高橋 克也 (52)	平成29年4月	農林科学					
兼任	講師	武田 和久 (39)	平成29年4月	スペイン語とスペイン文化					
兼任	講師	田中 究 (42)	平成29年4月	深層心理学					
兼任	講師	田辺 公一郎 (56)	平成27年4月	コンピュータ・グラフィックス					
兼任	講師	築 雅之 (51)	平成27年4月	デジタル・アニメーション					
兼任	講師	辻 のぞみ (59)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(観光)Ⅰ テーマで学ぶ英語(観光)Ⅱ					
兼任	講師	中川 理恵子 (54)	平成29年4月	児童文学					
兼任	講師	中島 輝賢 (48)	平成27年4月	日本語演習					
兼任	講師	中平 千彦 (49)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅰ テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅱ					
兼任	講師	野村 光義 (45)	平成27年4月	ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化					
兼任	講師	橋本 憲一郎 (49)	平成29年4月	建築環境論					
兼任	講師	橋本 実千代 (49)	平成29年4月	色彩検定演習					
兼任	講師	浜田 勝義 (62)	平成27年4月	簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ					
兼任	講師	原 稚佳子 (41)	平成29年4月	色彩検定演習					
兼任	講師	藤崎 和子 (56)	平成29年4月	ITパスポート演習Ⅰ ITパスポート演習Ⅱ					
兼任	講師	二又 淳 (47)	平成29年4月	日本語演習					

兼任	講師	淵元 哲 (48)	平成29年4月	キャリア演習(公務員・政治経済) I キャリア演習(公務員・政治経済) II									
兼任	講師	松崎 かおり (52)	平成29年4月	近代家族論									
兼任	講師	水野 圭子 (48)	平成29年4月	労働法 ビジネス実務法務検定演習									
兼任	講師	三村 友希 (40)	平成27年4月	日本語演習									
兼任	講師	宮崎 修二 (52)	平成29年4月	聖書学									
兼任	講師	靱井 まり (46)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(社会問題) II									
兼任	講師	百瀬 亮司 (41)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(社会問題) I									
兼任	講師	山里 盛文 (37)	平成29年4月	民事法									
兼任	講師	山田 満 (68)	平成29年4月	マーケティングコミュニケーション	兼任	教授	山田 満 (68)	平成29年4月	マーケティングコミュニケーション				平成27年4月 マネジメント学部専任教員採用に伴い身分変更(27)
兼任	講師	山谷 茂 (67)	平成27年4月	ネットワーク論									
兼任	講師	横井 由利 (64)	平成29年4月	ファッション論 総合科目(生活と環境)									
兼任	講師	吉田 次郎 (64)	平成29年4月	水産学 河川海洋学									
兼任	講師	吉野 隆 (48)	平成27年4月	アプリケーション・プログラミング									
兼任	講師	吉原 誠 (55)	平成27年4月	キャリア演習(公務員・法律) I キャリア演習(公務員・法律) II									

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

## (2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	3	0	0	10	7	3	0	0	10	70	0	-	-
( 7 )	( 3 )	( 0 )	( 0 )	( 10 )	[ 7 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 10 ]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
  - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区分	留意事項等	履行状況	未履行事項についての実施計画
<p>設置時 (H26年10月)</p>	<p>・社会学としての体系的な教育課程編成として「観光社会学」は必要であるが、授業科目の内容が名称と一致しておらず、シラバスで提示された観光社会学の参考書においても、観光社会学とは異なる図書が記載されており、観光社会学を体系的に教授する科目となっていない。観光社会学として適切な内容に修正するとともに、適切な教員を配置すること。 (観光デザイン学科)</p> <p>・教員の補充を必要とされた2授業科目については、開設時又は科目開講時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。 (観光デザイン学科)</p>	<p>留意事項</p> <p>教員補充とされていた科目のうち、「観光と情報社会」については、授業概要を満たすに十分な兼任講師を採用し予定通り4月より開講している。</p> <p>「観光社会学」については、申請では春学期（前期）としていたが、秋学期（後期）開講に変更した。当該授業科目担当者については、専任教員を充てるべきところであるが、AC教員審査（平成27年1月審査）において科目担当不可となったことを受け、平成27年度は兼任教員を担当者として充てることとした。現在、担当予定者の学内審査手続き中である。開講期を変更したが、学生にとっての履修上の問題はないと判断される。(27)</p>	<p>「観光社会学」の担当者を定めるとともに、開講時までに、観光社会学として適切な内容に修正したシラバス作成する。 平成27年度は兼任教員担当。平成28年度より専任教員が担当する。(27)</p> <p>「観光社会学」を担当する専任教員については、新規採用とし、選考を行う。AC教員審査は、平成27年10月に書類を提出し、11月審査を予定している。 新規専任教員の採用に伴い、教員研究室等の整備を平成27年度中に行う。(27)</p>

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

### <観光コミュニティ学部 観光デザイン学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>「設置の趣旨を記載した書類」に関する事項</p> <p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色            (5) 必修科目・選択科目・自由科目の構成とその理由            「特殊演習」と「実習」は両科目区分あわせて2科目(2単位)以上の修得</p> <p>5. 教員組織の編成の考え方及び特色            (1) 教員組織の基本的考え方            観光デザイン学科            教員組織は、観光学分野2名、社会学・文化人類学、観光デザイン、観光経営、観光政策、宿泊産業、産業観光、観光交通、観光情報の各分野1名ずつ、合計10名で構成する。</p> <p>6. 教育の方法、履修指導方法及び卒業要件            (3) 進級要件・卒業要件            「特殊演習」と「実習」の区分から2単位以上修得。</p> <p>7. 施設、設備等の整備計画            (1) 校地、運動場の整備計画            (2) 校舎等施設の整備計画</p> <p>申請・認可時は未定であったため、記載していない事項。</p> <p>8. 入学者選抜の概要            (2) 一般入学試験                募集定員55名            (3) 推薦入学試験                募集定員40名            (4) AO入学試験                募集定員25名</p> <p>9. 企業実習や海外語学研修など学外実習の具体的計画</p>	<p>学則別表の規定に基づく、記載事項の修正。            「特殊演習」1単位以上、「実習」1単位以上の修得</p> <p>授業科目「観光社会学」を担当する社会学分野の専任教員を採用する。AC教員審査(10月書類提出)を予定している。</p> <p>学則別表の規定に基づく、記載事項の修正。            「特殊演習」1単位以上、「実習」1単位以上</p> <p>平成27年5月、校地校舎の変更届を提出。            平成27年3月、文京区本郷五丁目9番4号に直接教育に供する校地・校舎を取得した。            旧伊勢屋質店という歴史的建造物(国登録有形文化財)を文京区と連携して保存・活用していくことになり、本学園では歴史的資料として文学部が研究用に、観光コミュニティ学部の地域振興の実践のコアとなる場として使用活用するために土地建物を取得した。            別紙資料1~5            ・演習室3室            ・実習室1室</p> <p>図書館            別紙資料6、7            アクティブラーニングエリア(LALA2)と隣接した108室の仕切りを取り除き、LALA2を拡張した。            LALA2 32㎡ → 64㎡</p> <p>一般入試の割合を多くするため、平成28年度入試より各入試の募集定員を以下のとおり変更する。            (2) 一般入学試験                募集定員65名(10名増員)            (3) 推薦入学試験                募集定員35名(5名減員)            (4) AO入学試験                募集定員20名(5名減員)</p>

(2) 海外語学研修  
研修先の確保の状況  
イギリスのスターリング大学  
カナダのロイヤルローズ大学  
中国の北京語言大学  
台湾の国立政治大学

#### 1.1. 管理運営

大学における意思決定は、全学的基本方針を決定する大学評議会、および学部に関わる事項の決定機関である学部教授会において行われる。  
観光コミュニティ学部も教授会を組織し、学部・学科の運営にあたる。  
大学評議会、学部教授会ともに毎月2回の開催を標準としている。

#### 大学評議会

大学評議会は、学長、副学長、学部長、全学共通科目運営センター長、図書館長および学部から選出される評議員、学長が指名する評議員によって組織される。大学評議会の議長は学長が務め、大学の管理運営について学長のリーダーシップが発揮される。

審議事項は以下の通りである（学則第五条の三）。

1. 本学の教育研究上の目的を達成するための基本的な計画及び適正な実施に関する事項
2. 学則その他重要な規則の制定又は改廃に関する事項
3. 本学の研究活動適正化の推進に関する事項
4. 本学の予算の見積りの方針に関する事項
5. 学部、学科及び研究科、専攻その他の重要な組織の設置又は廃止並びに学生の定員に関する事項
6. 教員人事の方針に関する事項
7. 本学の教育課程の編成に関する方針に係る事項
8. 学生の厚生及び補導に関する事項
9. 学生の入学、卒業又は修了その他その在籍に関する方針及び学位の授与に関する方針に係る事項
10. 本学の教育内容及び教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に関する事項
11. 本学の教育研究活動等の状況について行う自己点検・評価に関する事項
12. その他本学の運営に関する重要事項

#### 学部教授会

学部教授会は、学部所属する専任の教授、准教授、講師、助教によって組織される。

審議事項は以下の通りである（学則第六条）。

1. 学部の教育研究上の目的を達成するための方針に関する事項
2. 学部に固有な規則の制定又は改廃に関する事項
3. 学部の予算の執行に関する事項
4. 学部の教員組織の構成及び連絡調整に関する事項
5. 学部の教員人事の選考に関する事項
6. 学部の教育課程の編成に関する事項
7. 学生の入学、卒業その他その在籍に関する事項及び学位の授与に関する事項
8. 学部の教育内容及び教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に関する事項
9. その他学部の教育又は研究に関する重要事項

学生の語学学修の機会拡大のため、研修先を増やした。

フランス語研修

フランスの西部カトリック大学

英語研修とコミュニティ研修

アメリカのローワーコロンビアカレッジ

（ワシントン州ロングビュー市姉妹都市委員会、ローワーコロンビアカレッジ、本学の三者協定に基づく研修）

平成26年6月27日に「学校教育法」の改正、同年8月29日に「学校教育法施行規則」の改正が公布され、いずれも平成27年4月1日から施行されることとなった。この改正は、学長のリーダーシップの下で戦略的に大学を運営できるガバナンス体制を構築することが重要であるとし、大学の組織及び運営体制を整備するため、副学長の職務内容を改めるとともに、教授会の役割を明確化するなどの趣旨により行われたものである。

これにより、本学においても、学長のガバナンス体制の強化、教授会、大学評議会の役割の明確化等のため、学則の改正を行った。

併せて、「跡見学園女子大学大学評議会規程」、「跡見学園女子大学教授会規程」、「跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程」及び「跡見学園女子大学教授会各種委員会規程」を改正した。

（別紙資料8～12、下記資料参照）

「跡見学園女子大学学則」

「跡見学園女子大学大学評議会規程」

「跡見学園女子大学教授会規程」

「跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程」

「跡見学園女子大学教授会各種委員会規程」

#### 全学教授会

学部教授会とは別に、学長、副学長並びにすべての学部の専任の教授、准教授、講師及び助教によって組織される全学教授会を置く。全学教授会は、大学評議会の報告を聴取するとともに次に掲げる事項について審議する（学則第六条の二）。

1. 学長の選考に関する事項
2. 副学長の選考に関する事項
3. 付属教育研究組織の長の選考に関する事項
4. 大学評議会が承認を求める事項
5. 大学評議会の諮問する事項

#### 各種委員会

その他、大学評議会の下に、予算委員会、学務委員会、教育・研究支援委員会、入試広報委員会、自己点検・評価委員会があり、いずれも全学的な方針の策定に向けた審議を行っている。最終的には、大学評議会において、審議あるいは報告がなされ、案件の確定が図られている。

他方で、学部教授会の下には、予算委員会、学務委員会、教育・研究支援委員会、入試委員会、資格審査委員会が、学部における方針の策定、具体的な実施内容の決定等に向けた審議を行っている。学部の委員会は、それぞれ対応する全学の委員会と連携を図りつつ、方針や実施内容等を定め、学部教授会において審議・決定されている。

#### 12. 自己点検・評価

本学の教育理念を教育研究において具体化し、適切に実現するために、学則第一条の二第5項に基づき、「跡見学園女子大学自己点検・評価規程」を定め、さらに同規程第二条第3項に基づいて「跡見学園女子大学自己点検・評価推進委員会規程」を定めている。

学長のガバナンス強化体制を整えるため、学則他、諸規程の改正整備を行った。併せて、「跡見学園女子大学自己点検・評価規程」を改正し委員会体制を整備した。これに伴い、推進委員会を廃止することとし、「跡見学園女子大学自己点検・評価推進委員会規程」を廃止した。

別紙資料13

「跡見学園女子大学自己点検・評価規程」

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

観光コミュニティ学部設置にあわせ、同学部内に教育・研究支援委員会を組織した。また、同学部教員が全学教育・研究支援委員会の構成員に加わり、協働して授業内容方法の改善を行う。

本学における授業内容方法の改善については、大学評議会の下にある全学教育・研究支援委員会が組織的な取組の中心を担う。

委員会では、基本的な理念の策定や全学レベルの企画を行うとともに、観光コミュニティ学部、文学部、マネジメント学部、全学共通科目運営センターとの連携を図る場としての機能を果たしている。他方で、各学部にもそれぞれに教育・研究支援委員会が、また全学共通科目運営センターには全学共通科目運営センター委員会があり、全学教育・研究支援委員会と協働しつつ、授業改善のための具体的な取組を組織的に行っている。

- ・ 学部教育研究支援委員会
- ・ 全学教育研究支援委員会

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・学部教育研究支援委員会  
跡見学園女子大学教授会各種委員会規程  
第八条 委員長は、次の各号の一に該当する場合、委員会を招集する。
  - 一 学期の始まる月（定例）
  - 二 委員長が必要と認めたとき
  - 三 委員の三分の一以上の要求があったとき
 第九条 委員会は、委員の三分の二以上出席がなければ、議事を開き議決することができない。
- ・全学教育研究支援委員会  
跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程  
第八条 委員長は、大学評議会議長からの諮問を受けて、委員会を招集する。
  - 2 前項にかかわらず、次の各号の一に該当する場合、委員長は委員会を招集する。
    - 一 学年の始まる月（定例）
    - 二 委員長が必要と認めたとき
    - 三 委員の三分の一以上の要求があったとき
 第九条 委員会は、委員の三分の二以上出席がなければ、議事を開き議決することができない。

以上のとおり規定し、原則月1～2回の開催。

- c 委員会の審議事項等  
別紙規程による。

## ② 実施状況

### a 実施内容

委員会で企画する以下の事項

- ・授業方法について研究会（ワークショップ）
- ・教員相互の授業参観
- ・新任教員のための研修会参加（私立大学連盟等）
- ・「FDジャーナル」「学術年報」の刊行

### b 実施方法

- ・全学的な取り組みして、FD懇談会、FD講演会の開催
- ・全学共通科目運営センターの取り組み FDワークショップ
- ・学部、大学院研究科単位の取り組み FD講演会、FDワークショップ
- ・学生による授業評価アンケート 原則全科目  
（ただし、文学部後期課程科目の演習と大学院科目、履修者10名以下の科目、集中講義を除く。）

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD懇談会は、年度初めに専任教員と兼任教員が一堂に会し、親睦を深めるとともに、本学の建学の精神、教育理念等を共通認識する機会として開催。
- ・FD講演会は、年に1度高等教育に見識のある講師を招いて開催
- ・FDワークショップは、基調講演を行い意見交換など実施
- ・上記の他、私立大学連盟等の主催する研究会などに教員を派遣。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・「FDジャーナル」に授業改善と教育力向上をめざす実践報告を多数の教員が行っている。
- ・「学術年報」を刊行し、教育研究業績を報告している。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

各学期最終週に授業評価アンケートを実施する。

- ・学生による授業評価アンケート 原則全科目  
（ただし、文学部後期課程科目の演習と大学院科目、履修者10名以下の科目、集中講義を除く。）

### b 教員や学生への公開状況、方法等

文京キャンパス事務室フロア、新座キャンパス学務部インフォメーションコーナーに報告書を配置し、自由に閲覧することができる。

また、各教員に対しては、別途、担当科目の集計結果及びコメントシートの配布を行っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

## （3）自己点検・評価等に関する事項

### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

観光コミュニティ学部は、観光とコミュニティに関する新しいデザインの学識や技能を備え、コミュニティの抱えるさまざまな課題を解決し、活性化に貢献できる人材の養成を目的とする。

開設初年度においては、上記の目的実現に向け努めているところである。

A C教員審査（平成26年12月提出、1月審査）の結果において、専任教員補充となった観光デザイン学科専門科目「観光社会学」の担当者については、教員組織の構成と学生への教育・研究上の専門性を考慮し、平成27年4月に就任する専任教員が当該授業科目を担当するのではなく、新たに専任教員を採用し担当することとした。

平成27年度は、兼任教員が秋学期に開講し、平成28年度より専任教員が秋学期に開講するよう準備を進めている。

本学は、平成27年3月に樋口一葉ゆかりの旧伊勢屋質店（国指定有形文化財）を取得した。

名称を「菊坂跡見塾」として全学部において授業他、地域コミュニティの活動拠点として活用する。観光コミュニティ学部の学生たちにとっても、授業で身に着けた知識を実践する場としての活用していく。（27）

## ② 自己点検・評価報告書

跡見学園女子大学では、平成19年度には、学長の指導のもと平成14年～18年度を対象の自己点検・評価を行い、平成20年度大学基準協会による大学評価を申請した。その結果、大学基準に適合しているものと評価され、平成21年4月1日より平成28年3月末日までの7年間の認定を受けた。

平成26年度は、次期認証評価に向け、自己点検・評価報告書を作成した。平成27年度中に（財）大学基準協会による認証評価を受けることとしている。

今回設置した学部・学科については、報告書には含まれておらず、以降の期間に審査を受ける予定。

### a 公表（予定）時期

・平成21年4月1日 公表

### b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開

## ③ 認証評価を受ける計画

平成27年度に評価機関（財団法人大学基準協会）の評価を受けるため、平成26年度に自己点検・評価報告書を提出した。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## （4）情報公表に関する事項

### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年5月18日予定)



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人跡見学園

## (2) 大学名

跡見学園女子大学

## (3) 大学の位置

文京キャンパス（本部） 3・4年次 〒112-8687 東京都文京区大塚一丁目5番2号  
 新座キャンパス 1・2年次 〒352-8501 埼玉県新座市中野一丁目9番6号  
 菊坂跡見塾 〒113-0033 東京都文京区本郷五丁目9番4号(27)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤマザキ カズヒデ) 山崎 一穎 (平成21年4月)		
学長	(ヤマダ テツオ) 山田 徹雄 (平成22年4月)		
学部長	(オガワ イサオ) 小川 功 (平成27年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科  学士(社会学)	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	0.25倍	- 倍	
志願者数	42 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
受験者数	39 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
合格者数	39 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
B 入学者数	20 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	0.25												

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。



(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[20] (-)	[-] (-) -	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	20 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	20 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者数のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

＜観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科＞

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
外 国 語 科 目	英語A I a	1前		2							兼4	本人都合による就任辞退（帰国）により、担当教員を変更（27） プシュナー（兼任）→トマクデル（兼任）
	英語A I b	1前		2							兼2	
	英語A II a	1後		2							兼3	
	英語A II b	1後		2							兼2	
	英語A III a	2前		2							兼3	
	英語A III b	2前		2							兼2	
	英語A IV a	2後		2							兼2	
	英語A IV b	2後		2							兼2	
	英語B I a	1前		2							兼1	
	英語B I b	1前		2							兼1	
	英語B II a	1後		2							兼1	
	英語B II b	1後		2							兼1	
	英語B III a	2前		2							兼1	
	英語B III b	2前		2							兼1	
	英語B IV a	2後		2							兼1	
	英語B IV b	2後		2							兼1	
	英語 I	1前		2							兼5	
	英語 II	1後		2							兼4	
	英語 III	2前		2							兼3	
	英語 IV	2後		2							兼5	
	フランス語 I	1前		2							兼2	
	フランス語 II	1後		2							兼2	
	フランス語 III	2前		2							兼3	
	フランス語 IV	2後		2							兼3	
	ドイツ語 I	1前		2							兼2	
	ドイツ語 II	1後		2							兼2	
	ドイツ語 III	2前		2							兼4	
	ドイツ語 IV	2後		2							兼4	
	中国語 I	1前		2							兼2	
	中国語 II	1後		2							兼2	
	中国語 III	2前		2							兼4	
	中国語 IV	2後		2							兼4	
	朝鮮・韓国語 I	1前		2							兼2	
	朝鮮・韓国語 II	1後		2							兼2	
	朝鮮・韓国語 III	2前		2							兼2	
	朝鮮・韓国語 IV	2後		2							兼1	
	英語マルチメディアレッスン	1・2前・後		1							兼1	
	英語再入門A	1後・2前後		1							兼2	
	英語再入門B	1後・2前後		1							兼2	
	英語リーディング	2前		1							兼1	
英語ライティング	2後		1							兼1		
フランス語リーディング・ライティング	2後		1							兼1		
ドイツ語リーディング・ライティング	2後		1							兼1		
中国語リーディング・ライティング	2後		1							兼1		
朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後		1							兼1		
テーマで学ぶ英語（文化） I	3・4前		1							兼1		

	テーマで学ぶ英語 (文化) II	3・4後	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (ビジネス) I	3・4前	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (ビジネス) II	3・4後	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (観光) I	3・4前	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (観光) II	3・4後	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (社会問題) I	3・4前	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (社会問題) II	3・4後	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (メディア) I	3・4前	1						兼1	
	テーマで学ぶ英語 (メディア) II	3・4後	1						兼1	
	フランス語上級 I	3・4前	1						兼1	
	フランス語上級 II	3・4後	1						兼1	
	ドイツ語上級 I	3・4前	1						兼1	
	ドイツ語上級 II	3・4後	1						兼1	
	中国語上級 I	3・4前	1						兼1	
	中国語上級 II	3・4後	1						兼1	
	朝鮮・韓国語上級 I	3・4前	1						兼1	本務校都合による就任辞退により、担当教員を変更 (27) 平成29年3月までに後任を決定予定。新井保裕 (兼任) →担当教員未定
	朝鮮・韓国語上級 II	3・4後	1						兼1	本務校都合による就任辞退により、担当教員を変更 (27) 平成29年3月までに後任を決定予定。新井保裕 (兼任) →担当教員未定
情報処理科目	情報リテラシー I	1前	1						兼4	
	情報リテラシー II	1後	1						兼4	
	画像処理基礎演習	1・2前	1						兼1	
	Web制作	1・2前・後	1						兼3	履修機会を増やすため、担当教員を追加 (27) 黒田涼 (兼任)
	マルチメディア基礎演習 (映像制作)	1・2前	1						兼1	
	マルチメディア基礎演習 (音楽制作)	1・2後	1						兼1	
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1・2前・後	1						兼3	春学期分担当教員の留学のため、担当教員を2名から3名に変更 (27) 倉橋節也 (兼任)・黒田涼 (兼任) →伊藤稜 (兼任)・倉橋節也 (兼任)・黒田涼 (兼任)
	コンピュータ・グラフィックス	3・4前	1						兼1	
	デジタル・アニメーション	3・4後	1						兼1	
	デジタル編集	3・4前	1						兼1	
アプリケーション・プログラミング	3・4後	1						兼1		
Microsoft Office Specialist 演習	3・4前・後	1						兼1		
導入科目	プロゼミ I	1前	1		5					
	プロゼミ II	1後	1		2	3				
全	文芸理論	1・2前・後	2						兼3	本人都合による就任辞退により、担当教員を変更 (27) 鈴木泰恵 (兼任) →稲垣智花 (兼任)
	歴史理論	1・2前・後	2						兼3	
	言語科学	1・2前・後	2						兼1	
	記号論	1・2後	2						兼1	
	日本現代史	1・2後	2						兼1	
	アジア現代史	1・2後 1・2前	2						兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更 (27)
	ヨーロッパ現代史	1・2前・後	2						兼2	石田信一兼任の役職就任に伴う減コマにより、担当教員を2名から1名に変更 (27) 石田信一 (兼任)・香坂直樹 (兼任) →香坂直樹 (兼任)
	日本文学	1・2前・後 1・2前・後	2						兼2	
	中国文学	1・2後	2						兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更 (27)
	英文学	1・2前	2						兼1	
	ドイツ文学	1・2前・後	2						兼1	
	フランス文学	1・2前・後	2						兼1	
	ロシア文学	1・2前・後	2						兼1	
	西洋古典文学	1・2前・後	2						兼1	
	百人一首	1・2前・後	2						兼2	
	異文化理解	1・2前・後 1・2前	2						兼2	履修機会を増やすため、担当教員を追加し、開講期を変更 (27) 小池知之 (兼任)

子 共 通 科 目 教 養 科 目	地理学	1・2前 1→2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更(27)
	社会学	1・2前・後	2					兼1	
	国際関係論	1・2前	2					兼1	
	ボランティア論	1・2前・後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講形態を集中講義に変更(27)
	法学	1・2後	2					兼1	
	日本国憲法	1・2前・後	2					兼1	
	政治学	1・2後	2					兼1	
	経済学	1・2前・後	2					兼1	
	家政学	1・2後	2					兼1	
	哲学	1・2前	2					兼1	
	倫理学	1・2後	2					兼1	
	論理学	1・2前・後 1→2前	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	認識論	1・2前・後	2					兼1	
	心理学	1・2前・後	2					兼2	
	教育学	1・2前・後	2					兼1	
	保育学	1・2前・後	2					兼1	
	統計学	1・2前・後 1→2後	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	科学史	1・2前・後 1→2後	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	情報科学	1・2前・後	2					兼1	
	数学	1・2前	2					兼1	
	物理学	1・2後	2					兼1	
	地球科学	1・2前 1→2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更(27)
	生物学	1・2前	2					兼1	
	化学	1・2後	2					兼1	
	自然保護論	1・2前	2					兼1	
	生理学	1・2後	2					兼1	
	健康科学	1・2後	2					兼1	
	日本宗教論	3・4前	2					兼1	
	聖書学	3・4前・後	2					兼1	
	ヨーロッパ中世文学	3・4前・後	2					兼1	
	ミステリー文学	3・4前・後	2					兼1	
	児童文学	3・4前・後	2					兼1	
	ギリシア語とギリシア文化	3・4前	2					兼1	
	ラテン語とローマ文化	3・4後	2					兼1	
	イタリア語とイタリア文化	3・4前	2					兼1	
	スペイン語とスペイン文化	3・4後	2					兼1	
	ロシア語とロシア文化	3・4前	2					兼1	
	ファッション論	3・4前・後	2					兼1	
	ジェンダー論	3・4前・後	2					兼1	
	刑事法	3・4前	2					兼1	
民事法	3・4前	2					兼1		
労働法	3・4前	2					兼1		
国際法	3・4後	2					兼1		
国際社会論	3・4前	2					兼1		
国際経済	3・4前・後	2					兼1		
深層心理学	3・4前・後	2					兼1		
精神病理学	3・4前・後	2					兼1		
天文学	3・4前	2					兼1		
建築環境論	3・4前・後	2					兼1		
水産学	3・4前・後	2					兼1		
河川海洋学	3・4前	2					兼1		
農林科学	3・4後	2					兼1		
公衆衛生論	3・4後	2					兼1		
ネットワーク論	3・4前	2					兼1		
共 通 専 門 科 目	環境心理学	1・2後	2					兼1	本人都合による就任辞退により、担当教員を変更(27) 平成27年9月までに後任を決定予定。古賀誉章(兼任)→担当未定
	コミュニティ心理学	1・2前	2					兼1	
	教育原理	1・2前・後	2					兼1	
	生涯学習概論	1・2前・後	2					兼1	
	教育社会学	1・2前	2					兼1	
	人間関係論	1・2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講形態を集中講義に変更(27)
	社会調査法	1・2後	2					兼1	
	フィールドワーク方法論	1・2前	2					兼1	
	現代ジャーナリズム論	1・2前・後	2					兼1	
	イベント論	1・2前	2					兼1	
家族心理学	3・4前	2					兼1		
マーケティング心理学	3・4前	2					兼1		
教育学概論	3・4前・後	2					兼1		

	近代家族論	3・4前・後		2					兼2	
	男性学	3・4後		2					兼1	
	マーケティングコミュニケーション	3・4後		2					兼1	
	メディア環境論	3・4後		2					兼1	
	プロダクトデザイン論	3・4後		2					兼1	
社会人形成科目	花嫁の教育とライフプラン・キャリアプラン	1前	2						兼2	オムニバス
	パーソナリティを考える	1・2前		2					兼1	
	「自分らしさ」を探る	1・2後		2					兼1	
	対人関係のスキル	1・2前		2					兼1	
	ストレス・マネジメント	1・2前		2					兼1	
	職業人のルールとモラル	1・2後		2					兼1	
	産業と職業	1・2前		2					兼1	
	マスコミとの付き合い方	1・2前		2					兼1	
	ソーシャルマナー	1後	1						兼8	
	ビジネス文章表現演習	1・2前・後		1					兼1	
	ディベート演習	1・2前		1					兼1	
	自己表現演習	1・2前・後		1					兼1	
	プレゼンテーション演習	1・2前・後		1					兼1	
	キャリア基礎演習（グループワーク）	2前・後		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・数的処理）Ⅰ	1・2前		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・数的処理）Ⅱ	1・2後		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・法律）Ⅰ	1・2前		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・法律）Ⅱ	1・2後		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・政治経済）Ⅰ	1・2前		1					兼1	
	キャリア基礎演習（公務員・政治経済）Ⅱ	1・2後		1					兼1	
	秘書技能演習	1・2前・後		1					兼1	
	簿記会計基礎演習Ⅰ	1・2前		2					兼1	
	簿記会計基礎演習Ⅱ	1・2後		2					兼1	
	TOEIC特別演習Ⅰ	1・2前・後		1					兼3	
	ボランティア実践A	1・2前・後		2					兼1	
	日本語演習	3前・後		1					兼4	
	キャリア演習（公務員・数的処理）Ⅰ	3・4前		1					兼1	
	キャリア演習（公務員・数的処理）Ⅱ	3・4後		1					兼1	
	キャリア演習（公務員・法律）Ⅰ	3・4前		1					兼1	
	キャリア演習（公務員・法律）Ⅱ	3・4後		1					兼1	
	キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅰ	3・4前		1					兼1	
	キャリア演習（公務員・政治経済）Ⅱ	3・4後		1					兼1	
	簿記会計演習Ⅰ	3・4前		2					兼1	
簿記会計演習Ⅱ	3・4後		2					兼1		
ITパスポート演習Ⅰ	3・4前		1					兼1		
ITパスポート演習Ⅱ	3・4後		1					兼1		
TOEIC特別演習Ⅱ	3・4前・後		1					兼1		
イベント検定演習	3・4前・後		1					兼1		
ビジネス実務法務検定演習	3・4前・後		1					兼1		
色彩検定演習	3・4前・後		1					兼2		
ボランティア実践B	3・4前・後		2					兼1		
体育実技科目	体育実技A	1・2前・後 1・2前		1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技B	1・2前・後 1・2前		1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技C	1・2前・後 1・2前		1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技D	1・2前・後 1・2前		1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技E（水泳）	1・2前		1					兼1	集中
	体育実技F（水泳）	1・2前		1					兼1	集中
	体育実技G	1・2前		1					兼1	
	体育実技H	1・2後		1					兼1	
総合科目	総合科目（地域文化）	3・4後		2		1			兼1	
	総合科目（地域社会）	3・4後		2					兼2	
	総合科目（日本とアジア）	3・4前		2					兼2	
	総合科目（国際政治）	3・4前		2					兼2	
	総合科目（国際経済）	3・4前		2					兼2	
	総合科目（現代社会）	3・4前		2					兼2	
	総合科目（観光）	3・4後		2		1	1		兼2	
	総合科目（芸術と社会）	3・4後		2					兼2	
	総合科目（人間と自然）	3・4後		2					兼2	
観光科目	むさしの学	1・2後		2		1			兼1	履修者が0名のため、未開講(27)
	人口学	1・2前		2					兼1	
	社会調査入門	1・2前		2					兼1	

コミュニティ学部共通専門科目	講義	社会をデザインする女性たち	1・2後	2															兼1	
		ぶんきょう学	3・4前	2															兼1	
		NPO・NGO論	3・4後	2															兼1	
		取材学	3・4前	2															兼1	
		イベント・コンベンション論	3・4後	2															兼1	
	特殊演習	観光国家資格取得特殊演習A	1・2前	1															兼1	
		ブライダル・コーディネーター特殊演習	3・4後	1															兼1	
	実習	観光コミュニティデザイン実践	3・4前	2		1														
コミュニティデザイン学科専門科目	基幹科目	社会学入門	1後	2		1														
		コミュニティデザイン入門	1前	2			1													
		フィールドスタディ入門	1前	2				1												
		地域社会学	1・2後	2			1													
		コミュニティ論	1・2後	2				1												
		環境と防災	1・2前	2		1														
		ビジネスデザイン	1・2後	2		1														
		女性のライフサイクル	1・2前	2				1												
		消費社会論	1・2後	2		1														
	展開科目	コミュニティデザイン	3・4前	2		1														
		コミュニティと行財政	3・4後	2																
		コミュニティ関連法規	3・4後	2		1														
		コミュニティと金融	3・4前	2		1														
		コミュニティと地場産業	3・4前	2																兼1
		コミュニティと住民参加	3・4後	2				1												
インフラストラクチャー		3・4前	2				1													
コミュニティとまちづくり		3・4後	2				1													
都市の社会学		3・4前	2				1													
近郊の社会学		3・4後	2				1													
男女共同参画社会	3・4前	2				1														
出会いの社会学	3・4後	2				1														
コミュニティビジネス	3・4前	2			1															
家庭と仕事	3・4後	2					1													
出産・育児のセーフティネット	3・4前	2			1															
子どもと教育	3・4後	2																兼1		
介護と福祉	3・4前	2																		
老いと女性	3・4後	2			1															
特殊講義	コミュニティ論特殊講義(24時間の文化)	3・4前	2																兼1	
	コミュニティ論特殊講義(ネット社会)	3・4後	2																兼1	
	コミュニティ論特殊講義(食文化)	3・4後	2			1														
	コミュニティ論特殊講義(買い物)	3・4後	2			1														
	コミュニティ論特殊講義(ブライダル)	3・4前	2																兼1	
	コミュニティ論特殊講義(女性文化)	3・4前	2				1													
コミュニティ論特殊講義(学校)	3・4後	2																兼1		
特殊演習	コミュニティデザイン特殊演習(コミュニケーション)	3・4前・後	1			1													兼1	
	コミュニティデザイン特殊演習(編集・制作)	3・4前・後	1																兼1	
	コミュニティデザイン特殊演習(プレゼンテーション)	3・4前・後	1				1													
	コミュニティデザイン特殊演習(文章理解・小論文)	3・4前・後	1			1														
演習	基礎ゼミナール(コミュニティ)	2前	2			3	4													
	コミュニティデザイン演習I A	3前	1			3	4													
	コミュニティデザイン演習I B	3後	1			3	4													
	コミュニティデザイン演習II A	4前	1			3	4													
	コミュニティデザイン演習II B	4後	1			3	4													
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通年	2			3	4													
資格科目	社会調査データ分析	1・2前	1																兼1	
	社会統計学	1・2後	2																兼1	
	多変量解析法	3・4前	1																兼1	
	質的調査法	3・4後	2																兼1	
	社会調査実習I	3・4前	1			1	1												兼1	
	社会調査実習II	3・4後	1			1	1													

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可

以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 15	科目 271	科目 0	科目 286	科目 15 [ 0 ]	科目 271 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 286 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)  
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

<観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 授業科目表

新座キャンパス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考				
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教		助手			
外国語科目	英語A I a	1前		2								兼 4	本人都合による就任辞退(帰国)により、担当教員を変更(27)プシュナー(兼任)→トマクデル(兼任)		
	英語A I b	1前		2								兼 2			
	英語A II a	1後		2										兼 3	
	英語A II b	1後		2										兼 2	
	英語A III a	2前		2										兼 3	
	英語A III b	2前		2										兼 2	
	英語A IV a	2後		2										兼 2	
	英語A IV b	2後		2										兼 2	
	英語B I a	1前		2										兼 1	
	英語B I b	1前		2										兼 1	
	英語B II a	1後		2										兼 1	
	英語B II b	1後		2										兼 1	
	英語B III a	2前		2										兼 1	
	英語B III b	2前		2										兼 1	
	英語B IV a	2後		2										兼 1	
	英語B IV b	2後		2										兼 1	
	英語 I	1前		2											兼 5
	英語 II	1後		2											兼 4
	英語 III	2前		2											兼 3
	英語 IV	2後		2											兼 5
	フランス語 I	1前		2											兼 2
	フランス語 II	1後		2											兼 2
	フランス語 III	2前		2											兼 3
	フランス語 IV	2後		2											兼 3
	ドイツ語 I	1前		2											兼 2
	ドイツ語 II	1後		2											兼 2
	ドイツ語 III	2前		2											兼 4
	ドイツ語 IV	2後		2											兼 4
中国語 I	1前		2										兼 2		
中国語 II	1後		2										兼 2		
中国語 III	2前		2										兼 4		
中国語 IV	2後		2										兼 4		
朝鮮・韓国語 I	1前		2										兼 2		
朝鮮・韓国語 II	1後		2										兼 2		
朝鮮・韓国語 III	2前		2										兼 2		



	朝鮮・韓国語Ⅳ	2後		2					兼1	本務校都合による就任辞退により、担当教員を変更(27) 平成28年3月までに後任を決定予定。新井保裕(兼任)→担当教員未定
	英語マルチメディアレッスン	1・2前・後		1					兼1	
	英語再入門A	1後・2前後		1					兼2	
	英語再入門B	1後・2前後		1					兼2	
	英語リーディング	2前		1					兼1	
	英語ライティング	2後		1					兼1	
	フランス語リーディング・ライティング	2後		1					兼1	
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後		1					兼1	
	中国語リーディング・ライティング	2後		1					兼1	
	朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後		1					兼1	
情報処理科目	情報リテラシーⅠ	1前	1						兼4	
	情報リテラシーⅡ	1後	1						兼4	
	画像処理基礎演習	1・2前		1					兼1	
	Web制作	1・2前・後		1					兼2	履修機会を増やすため、担当教員を追加(27) 黒田涼(兼任)
	マルチメディア基礎演習(映像制作)	1・2前		1					兼1	
	マルチメディア基礎演習(音楽制作)	1・2後		1					兼1	
Microsoft Office Specialist 基礎演習	1・2前・後			1				兼3		
								兼2	春学期分担当教員の留学のため、担当教員を2名から3名に変更(27) 倉橋節也(兼任)・黒田涼(兼任) 一伊藤稔(兼任)・倉橋節也(兼任)・黒田涼(兼任)	
導入科目	プロゼミⅠ	1前	1			5				
	プロゼミⅡ	1後	1			2	3			
全学共通科目	文芸理論	1・2前・後		2					兼3	本人都合による就任辞退により、担当教員を変更(27) 鈴木泰恵(兼任)→稲垣智花(兼任)
	歴史理論	1・2前・後		2					兼3	
	言語科学	1・2前・後		2					兼1	
	記号論	1・2後		2					兼1	
	日本現代史	1・2後		2					兼1	
	アジア現代史	1・2後 1・2前		2					兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更(27)
	ヨーロッパ現代史	1・2前・後		2					兼1	
	日本文学	1・2前・後 1・2前・後		2					兼2	石田信一兼任の役職就任に伴う減コマにより、担当教員を2名から1名に変更(27) 石田信一(兼任)・香坂直樹(兼任)→香坂直樹(兼任)
	中国文学	1・2後		2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	英文学	1・2前		2					兼1	
	ドイツ文学	1・2前・後		2					兼1	
	フランス文学	1・2前・後		2					兼1	
	ロシア文学	1・2前・後		2					兼1	
	西洋古典文学	1・2前・後		2					兼1	
	百人一首	1・2前・後 1・2前・後		2					兼2	
	異文化理解	1・2前 1・2後		2					兼4	履修機会を増やすため、担当教員を追加し、開講期を変更(27) 小池知之(兼任)
	地理学	1・2前 1・2後		2					兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更(27)
	社会学	1・2前・後		2					兼1	
	国際関係論	1・2前		2					兼1	
	ボランティア論	1・2前・後		2					兼1	時間割編成の都合により、開講形態を集中講義に変更(27)
	法学	1・2後		2					兼1	
	日本国憲法	1・2前・後		2					兼1	
	政治学	1・2後		2					兼1	
	経済学	1・2前・後		2					兼1	
	家政学	1・2後		2					兼1	
	哲学	1・2前		2					兼1	
	倫理学	1・2後 1・2前・後		2					兼1	
論理学	1・2前 1・2後		2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)	
認識論	1・2前・後		2					兼1		

	心理学	1・2前・後	2					兼2	
	教育学	1・2前・後	2					兼1	
	保育学	1・2前・後	2					兼1	
	統計学	1・2前・後 1→2後	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	科学史	1・2前・後 1→2後	2					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	情報科学	1・2前・後	2					兼1	
	数学	1・2前	2					兼1	
	物理学	1・2後	2					兼1	
	地球科学	1・2前 1→2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講期を変更(27)
	生物学	1・2前	2					兼1	
	化学	1・2後	2					兼1	
	自然保護論	1・2前	2					兼1	
	生理学	1・2後	2					兼1	
	健康科学	1・2後	2					兼1	
共通 専 門 科 目	環境心理学	1・2後	2					兼1	本人都合による就任辞退により、担当教員を変更(27) 平成27年9月までに後任を決定予定。古賀啓章(兼任)→担当未定
	コミュニティ心理学	1・2前	2					兼1	
	教育原理	1・2前・後	2					兼1	
	生涯学習概論	1・2前・後	2					兼1	
	教育社会学	1・2前	2					兼1	
	人間関係論	1・2後	2					兼1	時間割編成の都合により、開講形態を集中講義に変更(27)
	社会調査法	1・2後	2					兼1	
	フィールドワーク方法論	1・2前	2					兼1	
	現代ジャーナリズム論	1・2前・後	2					兼1	
	イベント論	1・2前	2					兼1	
社 会 人 形 成 科 目	花嫁の教育とライフプラン・キャリアプラン	1前	2					兼2	オムニバス
	パーソナリティを考える	1・2前	2					兼1	
	「自分らしさ」を探る	1・2後	2					兼1	
	対人関係のスキル	1・2前	2					兼1	
	ストレス・マネジメント	1・2前	2					兼1	
	職業人のルールとモラル	1・2後	2					兼1	
	産業と職業	1・2前	2					兼1	
	マスコミとの付き合い方	1・2前	2					兼1	
	ソーシャルマナー	1後	1					兼8	
	ビジネス文章表現演習	1・2前・後	1					兼1	
	ディベート演習	1・2前	1					兼1	
	自己表現演習	1・2前・後	1					兼1	
	プレゼンテーション演習	1・2前・後	1					兼1	
	キャリア基礎演習(グループワーク)	2前・後	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・数的処理)Ⅰ	1・2前	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・数的処理)Ⅱ	1・2後	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅰ	1・2前	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅱ	1・2後	1					兼1	
	キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅰ	1・2前	1					兼1	
キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅱ	1・2後	1					兼1		
秘書技能演習	1・2前・後	1					兼1		
簿記会計基礎演習Ⅰ	1・2前	2					兼1		
簿記会計基礎演習Ⅱ	1・2後	2					兼1		
TOEIC特別演習Ⅰ	1・2前・後	1					兼3	履修機会を増やすため、担当教員を追加(27) ワークマン(兼任)、スピバック(兼任)	
ボランティア実践A	1・2前・後	2					兼1		
体 育 実 技 科 目	体育実技A	1・2前・後 1→2前	1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技B	1・2前・後 1→2前	1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技C	1・2前・後 1→2前	1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技D	1・2前・後 1→2前	1					兼1	履修機会を増やすため、開講期を変更(27)
	体育実技E(水泳)	1・2前	1					兼1	集中
	体育実技F(水泳)	1・2前	1					兼1	集中
	体育実技G	1・2前	1					兼1	
	体育実技H	1・2後	1					兼1	
観 光 コ	むさしの学	1・2後	2					兼1	

コミュニティ学部共通専門科目	講義	人口学	1・2前		2							兼1	履修者数が0名のため、未開講 (27)
		社会調査入門	1・2前		2							兼1	
		社会をデザインする女性たち	1・2後		2							兼1	
特殊演習		観光国家資格取得特殊演習A	1・2前		1							兼1	
コミュニティデザイン学科専門科目	基幹科目	社会学入門	1後	2			1						
		コミュニティデザイン入門	1前	2				1					
		フィールドスタディ入門	1前	2					1				
		地域社会学	1・2後		2				1				
		コミュニティ論	1・2後		2				1				
		環境と防災	1・2前		2		1						
		ビジネスデザイン	1・2後		2		1						
		女性のライフサイクル	1・2前		2				1				
	消費社会論	1・2後		2			1						
	演習		基礎ゼミナール(コミュニティ)	2前	2			3	4				
資格科目		社会調査データ分析	1・2前		1							兼1	
		社会統計学	1・2後		2							兼1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

新座キャンパス

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	147	0	157	10	147	0	157	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

## <観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科>

### (1) 授業科目表

文京キャンパス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
外国語科目	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅰ	3・4前		1							兼1
	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ	3・4後		1							兼1
	テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅰ	3・4前		1							兼1
	テーマで学ぶ英語(ビジネス)Ⅱ	3・4後		1							兼1
	テーマで学ぶ英語(観光)Ⅰ	3・4前		1							兼1
	テーマで学ぶ英語(観光)Ⅱ	3・4後		1							兼1
	テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅰ	3・4前		1							兼1
	テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅱ	3・4後		1							兼1
	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅰ	3・4前		1							兼1
	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ	3・4後		1							兼1
	フランス語上級Ⅰ	3・4前		1							兼1
	フランス語上級Ⅱ	3・4後		1							兼1
	ドイツ語上級Ⅰ	3・4前		1							兼1
	ドイツ語上級Ⅱ	3・4後		1							兼1
	中国語上級Ⅰ	3・4前		1							兼1
	中国語上級Ⅱ	3・4後		1							兼1

	朝鮮・韓国語上級Ⅰ	3・4前	1						兼1	本務校都合による就任辞退により、 担当教員を変更(27) 平成29年3月までに後任を決定予 定。新井保裕(兼任)→担当教員未 定
	朝鮮・韓国語上級Ⅱ	3・4後	1						兼1	
情報 処理 科目	コンピュータ・グラフィックス	3・4前	1						兼1	
	デジタル・アニメーション	3・4後	1						兼1	
	デジタル編集	3・4前	1						兼1	
	アプリケーション・プログラミング	3・4後	1						兼1	
	Microsoft Office Specialist 演習	3・4前・後	1						兼1	
全学 共通 科目	日本宗教論	3・4前	2						兼1	
	聖書学	3・4前・後	2						兼1	
	ヨーロッパ中世文学	3・4前・後	2						兼1	
	ミステリー文学	3・4前・後	2						兼1	
	児童文学	3・4前・後	2						兼1	
	ギリシア語とギリシア文化	3・4前	2						兼1	
	ラテン語とローマ文化	3・4後	2						兼1	
	イタリア語とイタリア文化	3・4前	2						兼1	
	スペイン語とスペイン文化	3・4後	2						兼1	
	ロシア語とロシア文化	3・4前	2						兼1	
	ファッション論	3・4前・後	2						兼1	
	ジェンダー論	3・4前・後	2						兼1	
	刑事法	3・4前	2						兼1	
	民事法	3・4前	2						兼1	
	労働法	3・4前	2						兼1	
	国際法	3・4後	2						兼1	
	国際社会論	3・4前	2						兼1	
	国際経済	3・4前・後	2						兼1	
	深層心理学	3・4前・後	2						兼1	
	精神病理学	3・4前・後	2						兼1	
	天文学	3・4前	2						兼1	
	建築環境論	3・4前・後	2						兼1	
	水産学	3・4前・後	2						兼1	
河川海洋学	3・4前	2						兼1		
農林科学	3・4後	2						兼1		
公衆衛生論	3・4後	2						兼1		
ネットワーク論	3・4前	2						兼1		
共通 専門 科目	家族心理学	3・4前	2						兼1	
	マーケティング心理学	3・4前	2						兼1	
	教育学概論	3・4前・後	2						兼1	
	近代家族論	3・4前・後	2						兼2	
	男性学	3・4後	2						兼1	
	マーケティングコミュニケーション	3・4後	2						兼1	
	メディア環境論	3・4後	2						兼1	
プロダクトデザイン論	3・4後	2						兼1		
社会 人形 成科 目	日本語演習	3前・後	1						兼4	
	キャリア演習(公務員・数的処理)Ⅰ	3・4前	1						兼1	
	キャリア演習(公務員・数的処理)Ⅱ	3・4後	1						兼1	
	キャリア演習(公務員・法律)Ⅰ	3・4前	1						兼1	
	キャリア演習(公務員・法律)Ⅱ	3・4後	1						兼1	
	キャリア演習(公務員・政治経済)Ⅰ	3・4前	1						兼1	
	キャリア演習(公務員・政治経済)Ⅱ	3・4後	1						兼1	
	簿記会計演習Ⅰ	3・4前	2						兼1	
	簿記会計演習Ⅱ	3・4後	2						兼1	
	ITパスポート演習Ⅰ	3・4前	1						兼1	
	ITパスポート演習Ⅱ	3・4後	1						兼1	
	TOEIC特別演習Ⅱ	3・4前・後	1						兼1	
	イベント検定演習	3・4前・後	1						兼1	
	ビジネス実務法務検定演習	3・4前・後	1						兼1	
色彩検定演習	3・4前・後	1						兼2		
ボランティア実践B	3・4前・後	2		1						
総合 科目	総合科目(地域文化)	3・4後	2						兼2	
	総合科目(地域社会)	3・4後	2			2			兼2	
	総合科目(日本とアジア)	3・4前	2						兼2	
	総合科目(国際政治)	3・4前	2						兼2	
	総合科目(国際経済)	3・4前	2						兼2	
	総合科目(現代社会)	3・4前	2						兼2	
	総合科目(観光)	3・4後	2						兼2	
	総合科目(芸術と社会)	3・4後	2						兼2	
	総合科目(人間と自然)	3・4後	2						兼2	
	総合科目(生活と環境)	3・4後	2						兼2	
総合科目(キャリア)	3・4前	2						兼2		

観光 コミュニ ティ学 部共通 専門科 目	講義	ぶんきょう学	3・4前		2								兼1
		NPO・NGO論	3・4後		2		1						
		取材学	3・4前		2								兼1
		イベント・コンベンション論	3・4後		2								兼1
実習	特殊演習	ブライダル・コーディネート特殊演習	3・4後		1								兼1
	観光コミュニティデザイン実践	3・4前		2									兼1
展 開 科 目	展 開 科 目	コミュニティデザイン	3・4前		2		1						兼1
		コミュニティと行財政	3・4後		2								
		コミュニティ関連法規	3・4後		2		1						
		コミュニティと金融	3・4前		2		1						
		コミュニティと地場産業	3・4前		2								
		コミュニティと住民参加	3・4後		2				1				
		インフラストラクチャー	3・4前		2				1				
		コミュニティとまちづくり	3・4後		2				1				
		都市の社会学	3・4前		2				1				
		近郊の社会学	3・4後		2				1				
		男女共同参画社会	3・4前		2				1				
		出会いの社会学	3・4後		2				1				
		コミュニティビジネス	3・4前		2			1					
家庭と仕事	3・4後		2					1					
出産・育児のセーフティネット	3・4前		2			1							
子どもと教育	3・4後		2								兼1		
介護と福祉	3・4前		2										
老いと女性	3・4後		2			1							
特 殊 講 義	特 殊 講 義	コミュニティ論特殊講義(24時間の文化)	3・4前		2								兼1
		コミュニティ論特殊講義(ネット社会)	3・4後		2								兼1
		コミュニティ論特殊講義(食文化)	3・4後		2			1					
		コミュニティ論特殊講義(買い物)	3・4後		2			1					
		コミュニティ論特殊講義(ブライダル)	3・4前		2								兼1
		コミュニティ論特殊講義(女性文化)	3・4前		2				1				
		コミュニティ論特殊講義(学校)	3・4後		2								兼1
特 殊 演 習	特 殊 演 習	コミュニティデザイン特殊演習(コミュニケーション)	3・4前・後		1			1					兼1
		コミュニティデザイン特殊演習(編集・制作)	3・4前・後		1								兼1
		コミュニティデザイン特殊演習(プレゼンテーション)	3・4前・後		1				1				
		コミュニティデザイン特殊演習(文章理解・小論文)	3・4前・後		1			1					
演 習	演 習	コミュニティデザイン演習ⅠA	3前	1			3	4					
		コミュニティデザイン演習ⅠB	3後	1			3	4					
		コミュニティデザイン演習ⅡA	4前	1			3	4					
		コミュニティデザイン演習ⅡB	4後	1			3	4					
卒 業 論 文 ・ 卒 業 研 究	卒 業 論 文 ・ 卒 業 研 究	卒業論文・卒業研究	4通年	2			3	4					
		資格科目	多変量解析法	3・4前		1							兼1
資 格 科 目	資 格 科 目	質的調査法	3・4後		2								兼1
		社会調査実習Ⅰ	3・4前		1		1	1					
		社会調査実習Ⅱ	3・4後		1		1	1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合は、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「記当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

文京キャンパス

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 5	科目 124	科目 0	科目 129	科目 5	科目 124	科目 0	科目 129	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  菊坂跡見塾（旧伊勢屋 質店）取得のため (27)		
	校舎敷地	14,006.97㎡ 13,850.63㎡	0㎡	0㎡	14,006.97㎡ 13,850.63㎡			
	運動場用地	48,783.25㎡	0㎡	0㎡	48,783.25㎡			
	小 計	62,790.22㎡ 62,633.88㎡	0㎡	0㎡	62,790.22㎡ 62,633.88㎡			
	そ の 他	3,385.45㎡	0㎡	0㎡	3,385.45㎡			
	合 計	66,175.67㎡ 66,019.33㎡	0㎡	0㎡	66,175.67㎡ 66,019.33㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  菊坂跡見塾（旧伊勢屋 質店）取得のため (27)		
		51,595.89㎡ 51,445.51㎡ ( ㎡)	0㎡ ( ㎡)	0㎡ ( ㎡)	51,595.89㎡ 51,445.51㎡ ( ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体  菊坂跡見塾（旧伊勢屋 質店）取得のため (27)		
	88室	30室 27室	15室 14室	14室 (補助職員 7人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科			9 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	観光コミュニ ティ学部 コミュニティデ ザイン学科	1280〔180〕 ( 530〔70〕)	10〔 0〕 ( 10〔 0〕)	0〔0〕 ( 0〔0〕)	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	
	計	1280〔180〕 ( 530〔70〕)	10〔 0〕 ( 10〔 0〕)	0〔0〕 ( 0〔0〕)	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	6,747.46㎡		728 席		603,100			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	3,934.20㎡		テ ニ ス コ ー ト 3 面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当たりの研究 費等、共同研究費等及 び設備購入費（開設前 年度を除く）は大学全 体  当初予算枠に対し、申 請数が少なかったこと による研究費等の減額 (27)
		教員1人当たり研究費等	414千円 444千円	444千円	図書購入費	2,000千円	1,500千円	
	共同研究費等	2,000千円 16,750千円	16,750千円	設備購入費	16,532千円	0千円	0千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,202千円	1,022千円	1,042千円	1,062千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、寄付金収入、資産運用収入から調達した財源を もって学校経営に要する費用に充当する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。



#### 4 既設大学等の状況

大学 の 名 称		跡見学園女子大学大学院							備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員	編入学員	収 容 員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次人	人		倍				
人文科学研究科								(人文科学研究科) 埼玉県新座市中野一丁目9番6号		
日本文化専攻	2	8	-	16	修士(人文学)	0.18	平成17年度			
臨床心理学専攻	2	12	-	24	修士(臨床心理学)	1.20	平成17年度			
マネジメント研究科								(マネジメント研究科) 東京都文京区大塚一丁目5番2号		
マネジメント専攻	2	10	-	25	修士(マネジメント学)	0.18	平成18年度	マネジメント研究科入学定員変更あり。届出済。 26年15名 27年10名		
大学 の 名 称		跡見学園女子大学							備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員	編入学員	収 容 員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次人	人		倍				
文学部								学部設置に伴う入学定員変更あり。届出済。 文学部 人文学科 24年～26年180名 27年160名 現代文化表現学科 24年～26年90名 27年120名 コミュニケーション文化学科 24年～26年120名 27年110名		
人文学科	4	160	-	700	学士(人文学)	1.10	平成14年度			
現代文化表現学科	4	120	-	390	学士(現代文化表現学)	1.22	平成22年度			
コミュニケーション文化学科	4	110	-	470	学士(コミュニケーション文化学)	0.98	平成18年度			
臨床心理学科	4	120	-	480	学士(臨床心理学)	1.09	平成14年度	(1・2年次) 埼玉県新座市中野一丁目9番6号		
マネジメント学部								マネジメント学部 マネジメント学科 24年～26年210名 27年180名 生活環境マネジメント学科 24年～26年60名 27年80名		
マネジメント学科	4	180	-	810	学士(マネジメント学)	1.12	平成14年度	(3・4年次) 東京都文京区大塚一丁目5番2号		
生活環境マネジメント学科	4	80	-	260	学士(マネジメント学)	1.11	平成18年度			
観光マネジメント学科	4	-	-	-	学士(マネジメント学)	-	平成22年度	平成27年学生募集停止 (観光マネジメント学科)		
観光コミュニティ学部										
観光デザイン学科	4	120	-	120	学士(観光学)	1.23	平成27年度			
コミュニティデザイン学科	4	80	-	80	学士(社会学)	0.25	平成27年度			

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	鍵屋 一 (58)	平成27年4月	プロゼミII ボランティア実践B 環境と防災 コミュニティデザイン コミュニティ関連法規 コミュニティデザイン特殊演習(文章理解・小論文)						
専	教授	佐野 美智子 (57)	平成27年4月	プロゼミI 消費社会論 基礎ゼミナール(コミュニティ) コミュニティ論特殊講義(買い物) コミュニティデザイン演習I A コミュニティデザイン演習I B コミュニティデザイン演習II A コミュニティデザイン演習II B 卒業論文・卒業研究 社会調査実習I 社会調査実習II						
専	教授	轟(吹野) 理恵子 (52)	平成27年4月	プロゼミI 社会調査法 社会学入門 基礎ゼミナール(コミュニティ) 出産・育児のセーフティネット 老いと女性 コミュニティデザイン演習I A コミュニティデザイン演習I B コミュニティデザイン演習II A コミュニティデザイン演習II B 卒業論文・卒業研究						
専	教授	矢野 峰生 (56)	平成27年4月	プロゼミI ビジネスデザイン 基礎ゼミナール(コミュニティ) コミュニティと金融 コミュニティビジネス コミュニティ論特殊講義(食文化) コミュニティデザイン演習I A コミュニティデザイン演習I B コミュニティデザイン演習II A コミュニティデザイン演習II B 卒業論文・卒業研究						
専	准教授	石崎(石崎) 裕子 (41)	平成27年4月	プロゼミII 総合科目(地域社会) 女性のライフサイクル 男女共同参画社会 出会いの社会学 家庭と仕事 コミュニティ論特殊講義(女性文化) コミュニティデザイン特殊演習(プレゼンテーション)						

専	准教授	篠崎 健司 (52)	平成27年4月	プロゼミII 総合科目 (地域社会) コミュニティデザイン入門 基礎ゼミナール(コミュニティ) コミュニティデザイン特殊演習 (コミュニケーショ ン) コミュニティデザイン演習I A コミュニティデザイン演習I B コミュニティデザイン演習II A コミュニティデザイン演習II B 卒業論文・卒業研究						
専	准教授	坪原 紳二 (50)	平成27年4月	プロゼミI コミュニティ論 基礎ゼミナール(コミュニティ) コミュニティと住民参加 インフラストラクチャー コミュニティとまちづくり コミュニティデザイン演習I A コミュニティデザイン演習I B コミュニティデザイン演習II A コミュニティデザイン演習II B 卒業論文・卒業研究						
専	准教授	土居 洋平 (41)	平成27年4月	地域社会学 基礎ゼミナール(コミュニティ) 都市の社会学 近郊の社会学 コミュニティデザイン演習I A コミュニティデザイン演習I B コミュニティデザイン演習II A コミュニティデザイン演習II B 卒業論文・卒業研究 社会調査実習 I 社会調査実習 II						
専	准教授	南里 隆宏 (44)	平成27年4月	プロゼミII ボランティア実践A NPO・NGO論 フィールドスタディ入門 基礎ゼミナール(コミュニティ) コミュニティデザイン演習I A コミュニティデザイン演習I B コミュニティデザイン演習II A コミュニティデザイン演習II B 卒業論文・卒業研究						
兼任	准教授	鷹 咲子 (52)	平成29年4月	コミュニティと行財政						
兼任	講師	今井 真貴子 (58)	平成29年4月	イベント・コンベンション論						
兼任	講師	大藤 ひとみ (51)	平成29年4月	フライダル・コーデイ ネット特殊演習 コミュニティ論特殊講義 (フライダル)						
兼任	講師	榎淵 めぐみ (42)	平成29年4月	コミュニティ論特殊講義 (ネット社会)						
兼任	講師	北井 渉 (49)	平成29年4月	コミュニティ論特殊講義 (24時間の文化)						
兼任	講師	佐藤 龍三郎 (63)	平成27年4月	人口学						
兼任	講師	志田 哲之 (43)	平成27年4月	社会学 社会調査入門 質的調査法						
兼任	講師	柴田 彩千子 (42)	平成29年4月	子どもと教育 コミュニティ論特殊講義 (学校)						

兼任	講師	塚越 公明 (66)	平成27年4月	観光国家資格取得特殊演習A					
兼任	講師	成澤 廣修 (51)	平成29年4月	ぶんきょう学					
兼任	講師	濱地 徹 (34)	平成29年4月	取材学 コミュニティデザイン特 殊演習(編集・制作)					
兼任	講師	林 葉子 (59)	平成29年4月	介護と福祉					
兼任	講師	藤本 隆史 (47)	平成27年4月	社会統計学 多変量解析法					
兼任	講師	堀内 康史 (43)	平成27年4月	社会調査データ分析					
兼任	講師	政所 利子 (65)	平成27年4月	社会をデザインする女性 たち コミュニティと地場産業					

< 共通 >

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	石田 信一 (50)	平成27年4月	ヨーロッパ現代史	兼任	講師	香坂 直樹 (41)	平成27年4月	ヨーロッパ現代史	平成26年4月 石田信一教授役職に伴う減 コマにより、担当者の変更 (27)
兼任	教授	石塚 正敏 (62)	平成29年4月	生理学 公衆衛生論						
兼任	教授	石渡 尚子 (49)	平成27年4月	化学						
兼任	教授	岩田 秀行 (66)	平成27年4月	百人一首						
兼任	教授	老川 慶喜 (65)	平成27年4月	むさしの学						
兼任	教授	奥田 洋子 (66)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(文 化)Ⅱ						
兼任	教授	笠原 清志 (68)	平成29年4月	総合科目(キャリア)						
兼任	教授	神山 伸弘 (57)	平成29年4月	総合科目(国際政治)						
兼任	教授	小仲 信孝 (64)	平成29年4月	日本語演習						
兼任	教授	佐藤 敦 (57)	平成27年4月	花嫁の教育とライフプラ ン・キャリアプラン※ 職業人のルールとモラル キャリア基礎演習(グ ループワーク)						
兼任	教授	佐藤 富雄 (58)	平成27年4月	生涯学習概論 教育社会学						
兼任	教授	塩月(佐藤) 亮子 (51)	平成29年4月	総合科目(地域文化)						
兼任	教授	篠塚 二三男 (68)	平成29年4月	総合科目(芸術と社会)						
兼任	教授	杉本 昌裕 (60)	平成27年4月	教育原理						
兼任	教授	副島 善道 (60)	平成29年4月	メディア環境論						
兼任	教授	曾田 修司 (59)	平成29年4月	総合科目(現代社会)						
兼任	教授	高木 庸 (65)	平成29年4月	プロダクトデザイン論						
兼任	教授	崔 勝渙 (52)	平成29年4月	総合科目(キャリア)						

兼任	教授	道本 千衣子 (68)	平成27年4月	家政学 生理学 健康科学							
兼任	教授	富川 淳子 (63)	平成29年4月	総合科目 (現代社会)							
兼任	教授	中野 敬子 (66)	平成27年4月	ストレス・マネジメント							
兼任	教授	福田 優二 (66)	平成27年4月	マスコミとの付き合い方							
兼任	教授	藤崎 康彦 (68)	平成29年4月	男性学							
兼任	教授	藤澤 伸介 (67)	平成27年4月	心理学							
兼任	教授	松坂 健 (68)	平成29年4月	総合科目 (観光)							
兼任	教授	宮崎 正浩 (62)	平成29年4月	総合科目 (人間と自然)							
兼任	教授	安島 博幸 (66)	平成29年4月	観光コミュニティデザイン実践							
兼任	教授	山澤 成康 (54)	平成29年4月	総合科目 (国際経済)							
兼任	教授	吉澤 京子 (59)	平成29年4月	総合科目 (芸術と社会)							
兼任	准教授	阿部 洋子 (63)	平成29年4月	家族心理学							
兼任	准教授	伊藤 穰 (45)	平成27年4月	情報リテラシー I 情報リテラシー II マルチメディア基礎演習 (音楽制作)	兼任	准教授	伊藤 穰 (45)	平成27年4月	情報リテラシー I 情報リテラシー II マルチメディア基礎演習 (音楽制作) Microsoft Office Specialist 基礎 演習	平成26年12月 倉橋節也講師留学のため、 担当者を2名から3名に変更 (27)	
兼任	准教授	内村 理奈 (48)	平成29年4月	総合科目 (生活と環境)	兼任	講師	内村 理奈 (48)	平成29年4月	総合科目 (生活と環境)	平成27年4月 本学退職に伴い身分変更 (27)	
兼任	准教授	香山 はるの (49)	平成27年4月	英語 I テーマで学ぶ英語 (文 化) I							
兼任	准教授	鶴田 雅昭 (62)	平成29年4月	総合科目 (観光)							
兼任	准教授	中村 聡 (49)	平成28年4月	英語 A III a 英語再入門 A							
兼任	准教授	福田 博同 (67)	平成27年4月	マルチメディア基礎演習 (音楽制作)							
兼任	准教授	マック, カレン (52)	平成27年4月	英語マルチメディアレッ スン 英語リーディング							
兼任	准教授	宮崎 圭子 (59)	平成27年4月	対人関係のスキル							
兼任	准教授	森 まり子 (47)	平成29年4月	総合科目 (国際政治)							
兼任	准教授	山崎 妙 (43)	平成27年4月	英語再入門 B 英語ライティング 異文化理解 TOEIC特別演習 II							
兼任	准教授	吉田 信夫 (53)	平成27年4月	英語 A I a テーマで学ぶ英語 (メ ディア) I							
兼任	講師	高橋 聖子 (41)	平成27年4月	法学							
兼任	助教	寺本 敬子 (37)	平成29年4月	フランス語上級 I フランス語上級 II							
兼任	講師	青山 豊 (41)	平成27年4月	日本国憲法							
兼任	講師	赤松 瑞枝 (35)	平成29年4月	家政学							

兼任	講師	阿部 陽子 (45)	平成27年4月	英語A I a 英語A II a 英語A III b 英語A IV a						
兼任	講師	荒井 志野 (45)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	新井 保裕 (31)	平成27年4月	朝鮮・韓国語 I 朝鮮・韓国語 II 朝鮮・韓国語 III 朝鮮・韓国語 IV 朝鮮・韓国語上級 I 朝鮮・韓国語上級 II	兼任 講師	魏 聖鎧 (47)	平成27年4月	朝鮮・韓国語 I 朝鮮・韓国語 II 朝鮮・韓国語 III 朝鮮・韓国語 IV 朝鮮・韓国語上級 I 朝鮮・韓国語上級 II	平成26年12月 新井保裕講師本務校都合により 就任辞退のため 担当者の変更 (27)	
兼任	講師	飯高 晶子 (45)	平成27年4月	心理学						
兼任	講師	池上 純一 (66)	平成28年4月	ドイツ語 III ドイツ語 IV						
兼任	講師	池田 光義 (63)	平成27年4月	認識論						
兼任	講師	石井 正己 (57)	平成27年4月	百人一首						
兼任	講師	石黒 ひさ子 (48)	平成28年4月	中国語 IV 中国語上級 I 中国語上級 II						
兼任	講師	一ノ瀬 俊和 (64)	平成29年4月	イタリア語とイタリア文化						
兼任	講師	伊東 絹子 (60)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	伊藤 健生 (45)	平成27年4月	キャリア基礎演習(公務員・ 数的処理) I キャリア基礎演習(公務員・ 数的処理) II キャリア演習(公務員・ 数的処理) I キャリア演習(公務員・ 数的処理) II						
兼任	講師	伊藤 直子 (61)	平成27年4月	ドイツ語リーディング・ ライティング ドイツ文学 ドイツ語上級 I ドイツ語上級 II						
兼任	講師	伊藤 尚伸 (57)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(メ ディア) II						
兼任	講師	伊東 裕貴 (50)	平成29年4月	マーケティング心理学						
兼任	講師	岩熊 麻由美 (53)	平成27年4月	パーソナリティを考える 「自分らしさ」を探る						
兼任	講師	岩永 祥恵 (53)	平成27年4月	英文学						
兼任	講師	上野 祐紀子 (42)	平成27年4月	体育実技 A						
兼任	講師	梅沢 範子 (55)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	梅宮 創造 (67)	平成29年4月	ミステリー文学						
兼任	講師	江口 和美 (37)	平成27年4月	体育実技 C 体育実技 G						
兼任	講師	大久保 博樹 (54)	平成29年4月	デジタル編集						
兼任	講師	大西 正人 (57)	平成27年4月	哲学 倫理学 論理学						
兼任	講師	大橋 幸泰 (52)	平成29年4月	日本宗教論						
兼任	講師	岡崎 友典	平成27年4月	教育社会学						





兼任	講師	小池 知之 (51)	平成27年4月	英語 I 英語IV	兼任	講師	小池 知之 (51)	平成27年4月	英語 I 英語IV 異文化理解	履修機会を増やすため、担当科目を追加 (27)
兼任	講師	香坂 直樹 (41)	平成27年4月	歴史理論 ヨーロッパ現代史						
兼任	講師	江田 優子 (64)	平成27年4月	英語 A I b 英語 A II b 英語 A IV b						
兼任	講師	神武 布左子 (52)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	古賀 誉章 (46)	平成27年4月	環境心理学	兼任		後任未定		環境心理学	平成27年4月 古賀誉章講師就任辞退のため、平成27年9月までに後任を決定予定 (27)
兼任	講師	小久保 秀之 (56)	平成27年4月	情報リテラシー I 情報リテラシー II						
兼任	講師	古城 慶子 (66)	平成29年4月	精神病理学						
兼任	講師	古田島 綾子 (43)	平成28年4月	英語III						
兼任	講師	小巻 泰之 (52)	平成27年4月	統計学						
兼任	講師	是澤 克哉 (38)	平成27年4月	ディベート演習						
兼任	講師	近喰 晴子 (67)	平成27年4月	保育学						
兼任	講師	近藤 佐保子 (54)	平成29年4月	刑事法						
兼任	講師	坂本 秀夫 (61)	平成28年4月	フランス語III フランス語IV フランス語リーディング・ライティング						
兼任	講師	坂本 有希 (47)	平成27年4月	自然保護論 総合科目 (人間と自然)						
兼任	講師	佐々木 亮 (30)	平成29年4月	国際法						
兼任	講師	篠原 洋治 (56)	平成28年4月	フランス語III フランス語IV						
兼任	講師	柴田 徹 (52)	平成27年4月	情報リテラシー I 情報リテラシー II						
兼任	講師	島田 顕 (52)	平成29年4月	国際社会論						
兼任	講師	嶋田 英誠 (69)	平成27年4月	花嫁の教育とライフプラン・キャリアプラン※						
兼任	講師	志村 聡 (52)	平成27年4月	地理学						
兼任	講師	ジョン・オリファント (66)	平成27年4月	英語 A I b 英語 A II b						
兼任	講師	菅沼 文子 (48)	平成27年4月	英語 I 英語 II 英語 III						
兼任	講師	菅原 ゆり子 (53)	平成29年4月	健康科学						
兼任	講師	杉森 賢司 (59)	平成27年4月	生物学						
兼任	講師	鈴木 明子 (48)	平成29年4月	近代家族論						
兼任	講師	鈴木 邦夫 (66)	平成27年4月	経済学						
兼任	講師	鈴木 泰恵 (56)	平成27年4月	文芸理論	兼任	講師	稲垣 智花 (54)	平成27年4月	文芸理論	平成26年12月 鈴木泰恵講師就任辞退のため 担当者の変更 (27)

兼任	講師	住谷 孝之 (42)	平成27年4月	中国文学					
兼任	講師	高尾 歩 (58)	平成27年4月	フランス語 I フランス語 II					
兼任	講師	高崎 彰 (67)	平成27年4月	教育学 教育学概論					
兼任	講師	高橋 克也 (52)	平成29年4月	農林科学					
兼任	講師	高橋 善隆 (50)	平成27年4月	国際関係論 政治学					
兼任	講師	武田 和久 (39)	平成29年4月	スペイン語とスペイン文化					
兼任	講師	田中 究 (42)	平成29年4月	深層心理学					
兼任	講師	田辺 公一郎 (56)	平成27年4月	画像処理基礎演習 コンピュータ・グラフィックス					
兼任	講師	築 雅之 (51)	平成27年4月	Web制作 マルチメディア基礎演習 (映像制作) デジタル・アニメーション					
兼任	講師	張 国璐 (52)	平成27年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 IV					
兼任	講師	塚島 真実 (35)	平成27年4月	フランス文学					
兼任	講師	辻 のぞみ (59)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語 (観光) I テーマで学ぶ英語 (観光) II					
兼任	講師	トーマス・グラント (65)	平成28年4月	英語 A III b 英語 A IV b					
兼任	講師	中川 理恵子 (54)	平成29年4月	児童文学					
兼任	講師	中島 輝賢 (48)	平成27年4月	日本文学 日本語演習					
兼任	講師	中原 暁彦 (58)	平成28年4月	フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV					
兼任	講師	中平 千彦 (49)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語 (ビジネス) I テーマで学ぶ英語 (ビジネス) II					
兼任	講師	西尾 治子 (67)	平成27年4月	フランス語 I フランス語 II					
兼任	講師	西牧 操代 (51)	平成27年4月	ソーシャルマナー					
兼任	講師	野口 博一 (66)	平成27年4月	英語 II 英語 IV					
兼任	講師	野崎 将俊 (46)	平成28年4月	英語 IV					
兼任	講師	野村 光義 (45)	平成27年4月	西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化					
兼任	講師	萩原 智子 (34)	平成27年4月	体育実技 E (水泳) 体育実技 F (水泳)					
兼任	講師	橋本 憲一郎 (49)	平成29年4月	建築環境論					
兼任	講師	橋本 秀美 (61)	平成27年4月	人間関係論					
兼任	講師	橋本 実千代 (49)	平成29年4月	色彩検定演習					
兼任	講師	長谷川 悦朗 (48)	平成27年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV					
兼任	講師	浜田 勝義	平成27年4月	簿記会計基礎演習 I					

		(62)		簿記会計基礎演習Ⅱ 簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ						
兼任	講師	早崎 えりな (58)	平成28年4月	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ						
兼任	講師	原 稚佳子 (41)	平成29年4月	色彩検定演習						
兼任	講師	原 正人 (42)	平成27年4月	アジア現代史						
兼任	講師	ビーゲル・ケネス (60)	平成28年4月	英語AⅢ a 英語AⅣ a						
兼任	講師	藤崎 和子 (56)	平成29年4月	ITパスポート演習Ⅰ ITパスポート演習Ⅱ						
兼任	講師	二又 淳 (47)	平成29年4月	日本語演習						
兼任	講師	淵元 哲 (48)	平成29年4月	キャリア演習(公務員・ 政治経済)Ⅰ キャリア演習(公務員・ 政治経済)Ⅱ						
兼任	講師	船本 美香 (37)	平成27年4月	自己表現演習						
兼任	講師	ブライアン・ブシュナー (32)	平成27年4月	英語BⅠ b 英語BⅡ b 英語BⅢ b 英語BⅣ b	兼任 講師	ラフツェル・トマクテル (27)	平成27年4月	英語BⅠ b 英語BⅡ b	平成27年3月 ブシュナー講師就任辞退の ため担当者の変更(27)	
					兼任	後任未定		英語BⅢ b 英語BⅣ b	平成27年3月 ブシュナー講師就任辞退の ため平成28年3月までに後任 を決定予定(27)	
兼任	講師	ヘニング・ルディ (55)	平成27年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ						
兼任	講師	本間 俊一 (65)	平成28年4月	英語Ⅳ						
兼任	講師	松崎 かおり (52)	平成29年4月	近代家族論						
兼任	講師	松田 洋 (49)	平成27年4月	数学						
兼任	講師	三浦 和彦 (59)	平成27年4月	物理学 地球科学						
兼任	講師	箕口 雅博 (64)	平成27年4月	コミュニティ心理学						
兼任	講師	水野 圭子 (48)	平成29年4月	労働法 ビジネス実務法務検定演習						
兼任	講師	南 明恵美 (58)	平成27年4月	体育実技B 体育実技D 体育実技H						
兼任	講師	三村 友希 (40)	平成27年4月	日本文学 日本語演習						
兼任	講師	三宅 登之 (51)	平成28年4月	中国語Ⅲ						
兼任	講師	宮崎 修二 (52)	平成29年4月	聖書学						
兼任	講師	宮島 琴美 (40)	平成28年4月	中国語Ⅳ						
兼任	講師	宮地 克昌 (57)	平成27年4月	イベント論						
兼任	講師	室田 康子 (60)	平成29年4月	現代ジャーナリズム論						
兼任	講師	榎井 まり (46)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(社会 問題)Ⅱ						
兼任	講師	百瀬 亮司 (41)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(社会 問題)Ⅰ						

兼任	講師	師尾 友紀子 (49)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	山里 盛文 (37)	平成29年4月	民法						
兼任	講師	山田 満 (68)	平成29年4月	マーケティングコミュニケーション	兼任	教授	山田満 (68)	平成29年4月	マーケティングコミュニケーション	平成27年4月 マネジメント学部専任教員 採用に伴い身分変更(27)
兼任	講師	山本 武秀 (40)	平成27年4月	キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅱ						
兼任	講師	山本 泰夫 (68)	平成27年4月	現代ジャーナリズム論						
兼任	講師	山本 雄一郎 (59)	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	山谷 茂 (67)	平成27年4月	情報科学 ネットワーク論						
兼任	講師	湯原 かの子 (66)	平成27年4月	文芸理論						
兼任	講師	横井 由利 (64)	平成29年4月	ファッション論 総合科目(生活と環境)						
兼任	講師	横川 澄枝 (65)	平成28年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ						
兼任	講師	横山 美嘉子 (51)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	吉田 次郎 (64)	平成29年4月	水産学 河川海洋学						
兼任	講師	吉野 隆 (48)	平成27年4月	Web制作 アプリケーション・プログラミング						
兼任	講師	吉原 誠 (55)	平成27年4月	キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅱ キャリア演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア演習(公務員・法律)Ⅱ						
兼任	講師	李 振溪 (51)	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語リーディング・ライティング						
兼任	講師	林 淑美 (65)	平成27年4月	文芸理論						
兼任	講師	レイツ・パトリック (45)	平成27年4月	TOEIC特別演習Ⅰ						
兼任	講師	若狭 基道 (44)	平成27年4月	言語科学 記号論						
兼任	講師	渡瀬 恵津子 (55)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	渡辺 玲子 (63)	平成28年4月	英語Ⅲ 英語再入門B						
					兼任	講師	ロバート・スピバック (50)	平成27年4月	TOEIC特別演習Ⅰ	履修機会を増やすため、担当者の追加(27)
					兼任	講師	マーガレット・ワークマン (62)	平成27年4月	TOEIC特別演習Ⅰ	履修機会を増やすため、担当者の追加(27)

<観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 担当教員表

新座キャンパス

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月
専	教授	鍵屋 一 (58)	平成27年4月	プロゼミII 環境と防災					
専	教授	佐野 美智子 (57)	平成27年4月	プロゼミI 消費社会論 基礎ゼミナール(コミュニティ)					
専	教授	轟(吹野) 理恵子 (52)	平成27年4月	プロゼミI 社会調査法 社会学入門 基礎ゼミナール(コミュニティ)					
専	教授	矢野 峰生 (56)	平成27年4月	プロゼミI ビジネスデザイン 基礎ゼミナール(コミュニティ)					
専	准教授	石崎(石崎) 裕子 (41)	平成27年4月	プロゼミII 女性のライフサイクル					
専	准教授	篠崎 健司 (52)	平成27年4月	プロゼミII コミュニティデザイン入門 基礎ゼミナール(コミュニティ)					
専	准教授	坪原 紳二 (50)	平成27年4月	プロゼミI コミュニティ論 基礎ゼミナール(コミュニティ)					
専	准教授	土居 洋平 (41)	平成27年4月	地域社会学 基礎ゼミナール(コミュニティ)					
専	准教授	南里 隆宏 (44)	平成27年4月	プロゼミII ボランティア実践A フィールドスタディ入門 基礎ゼミナール(コミュニティ)					
兼任	講師	佐藤 龍三郎 (63)	平成27年4月	人口学					
兼任	講師	志田 哲之 (43)	平成27年4月	社会学 社会調査入門					
兼任	講師	塚越 公明 (66)	平成27年4月	観光国家資格取得特殊講習A					
兼任	講師	藤本 隆史 (47)	平成27年4月	社会統計学					
兼任	講師	堀内 康史 (43)	平成27年4月	社会調査データ分析					
兼任	講師	政所 利子 (65)	平成27年4月	社会をデザインする女性たち					

<共通>

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	石田 信一 (50)	平成27年4月	ヨーロッパ現代史	兼任	講師	香坂 直樹 (41)	平成27年4月	ヨーロッパ現代史	平成26年4月 石田信一教授役職に伴う減 コマにより、担当者の変更 (27)
兼任	教授	石塚 正敏 (62)	平成29年4月	生理学						



兼任	講師	飯高 晶子 (45)	平成27年4月	心理学					
兼任	講師	池上 純一 (66)	平成28年4月	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ					
兼任	講師	池田 光義 (63)	平成27年4月	認識論					
兼任	講師	石井 正己 (57)	平成27年4月	百人一首					
兼任	講師	石黒 ひさ子 (48)	平成28年4月	中国語Ⅳ					
兼任	講師	伊東 絹子 (60)	平成27年4月	ソーシャルマナー					
兼任	講師	伊藤 健生 (45)	平成27年4月	キャリア基礎演習(公務員・数的処理)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・数的処理)Ⅱ					
兼任	講師	伊藤 直子 (61)	平成27年4月	ドイツ語リーディング・ライティング ドイツ文学					
兼任	講師	岩熊 麻由美 (53)	平成27年4月	パーソナリティを考える 「自分らしさ」を探る					
兼任	講師	岩永 祥恵 (53)	平成27年4月	英文学					
兼任	講師	上野 祐紀子 (42)	平成27年4月	体育実技 A					
兼任	講師	梅沢 範子 (55)	平成27年4月	ソーシャルマナー					
兼任	講師	江口 和美 (37)	平成27年4月	体育実技 C 体育実技 G					
兼任	講師	大西 正人 (57)	平成27年4月	哲学 倫理学 論理学					
兼任	講師	岡崎 友典 (69)	平成27年4月	教育社会学					
兼任	講師	岡野 宣勝ベリー (49)	平成27年4月	フィールドワーク方法論					
兼任	講師	岡山 麻子 (40)	平成27年4月	歴史理論 日本現代史					
兼任	講師	小口 峰樹 (35)	平成27年4月	科学史					
兼任	講師	小平 昌子 (51)	平成27年4月	英語 A I a 英語 A II a					
兼任	講師	越智 方美 (54)	平成27年4月	ボランティア論					
兼任	講師	笠島 美江子 (65)	平成27年4月	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習					
兼任	講師	柏原 麻美 (53)	平成27年4月	秘書技能演習					
兼任	講師	和富 弥生 (59)	平成28年4月	中国語Ⅲ					
兼任	講師	兼利 琢也 (57)	平成27年4月	英語Ⅰ 英語再入門 A					
兼任	講師	北久保 茂 (52)	平成27年4月	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ					
兼任	講師	木下 ひろみ (56)	平成27年4月	英語Ⅱ 英語Ⅳ					
兼任	講師	金 順任 (46)	平成27年4月	朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ 朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語リーディング・ライティング					
兼任	講師	木村 敦夫 (59)	平成27年4月	ロシア文学					
兼任	講師	木村 文勝 (67)	平成27年4月	産業と職業					
兼任	講師	倉橋 節也	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 基礎演習					

		(56)											
兼任	講師	栗山 保之 (46)	平成27年4月	歴史理論									
兼任	講師	黒田 涼 (39)	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 基礎演習	兼任	講師	黒田 涼 (39)	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 基礎演習 web制作			履修機会を増やすため、担当科目を追加 (27)	
兼任	講師	ケヴィン・スコット (50)	平成27年4月	英語A I a 英語A II a 英語A III a									
兼任	講師	ゲリー・ライサネン (49)	平成27年4月	英語B I a 英語B II a 英語B III a 英語B IV a									
兼任	講師	小池 知之 (51)	平成27年4月	英語 I 英語IV	兼任	講師	小池 知之 (51)	平成27年4月	英語 I 英語IV 異文化理解			履修機会を増やすため、担当科目を追加 (27)	
兼任	講師	香坂 直樹 (41)	平成27年4月	歴史理論 ヨーロッパ現代史									
兼任	講師	江田 優子 (64)	平成27年4月	英語A I b 英語A II b 英語A IV b									
兼任	講師	神武 布左子 (52)	平成27年4月	ソーシャルマナー									
兼任	講師	古賀 誉章 (46)	平成27年4月	環境心理学	兼任		後任未定		環境心理学			平成27年4月 古賀誉章講師就任辞退のため、平成27年9月までに後任を決定予定 (27)	
兼任	講師	小久保 秀之 (56)	平成27年4月	情報リテラシー I 情報リテラシー II									
兼任	講師	古田島 綾子 (43)	平成28年4月	英語III									
兼任	講師	小巻 泰之 (52)	平成27年4月	統計学									
兼任	講師	是澤 克哉 (38)	平成27年4月	ディベート演習									
兼任	講師	近喰 晴子 (67)	平成27年4月	保育学									
兼任	講師	坂本 秀夫 (61)	平成28年4月	フランス語III フランス語IV フランス語リーディング・ライティング									
兼任	講師	坂本 有希 (47)	平成27年4月	自然保護論									
兼任	講師	篠原 洋治 (56)	平成28年4月	フランス語III フランス語IV									
兼任	講師	柴田 徹 (52)	平成27年4月	情報リテラシー I 情報リテラシー II									
兼任	講師	嶋田 英誠 (69)	平成27年4月	花嫁の教育とライフプラン・キャリアプラン※									
兼任	講師	志村 聡 (52)	平成27年4月	地理学									
兼任	講師	ジョン・オリファント (66)	平成27年4月	英語A I b 英語A II b									
兼任	講師	菅沼 文子 (48)	平成27年4月	英語 I 英語 II 英語 III									
兼任	講師	菅原 ゆり子 (53)	平成29年4月	健康科学									
兼任	講師	杉森 賢司 (59)	平成27年4月	生物学									
兼任	講師	鈴木 邦夫 (66)	平成27年4月	経済学									
兼任	講師	鈴木 泰恵	平成27年4月	文芸理論	兼任	講師	稲垣 智花	平成27年4月	文芸理論			平成26年12月 鈴木泰恵講師就任辞退のため	



		(56)				(54)			卸介受志講師就任辞退のため 担当者の変更 (27)	
兼任	講師	住谷 孝之 (42)	平成27年4月	中国文学						
兼任	講師	高尾 歩 (58)	平成27年4月	フランス語 I フランス語 II						
兼任	講師	高崎 彰 (67)	平成27年4月	教育学						
兼任	講師	高橋 善隆 (50)	平成27年4月	国際関係論 政治学						
兼任	講師	田辺 公一朗 (56)	平成27年4月	画像処理基礎演習						
兼任	講師	築 雅之 (51)	平成27年4月	Web制作 マルチメディア基礎演習 (映像制作)						
兼任	講師	張 国璐 (52)	平成27年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 IV						
兼任	講師	塚島 真実 (35)	平成27年4月	フランス文学						
兼任	講師	トーマス・グラント (65)	平成28年4月	英語 A III b 英語 A IV b						
兼任	講師	中島 輝賢 (48)	平成27年4月	日本文学						
兼任	講師	中原 暁彦 (58)	平成28年4月	フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV						
兼任	講師	西尾 治子 (67)	平成27年4月	フランス語 I フランス語 II						
兼任	講師	西牧 操代 (51)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	野口 博一 (66)	平成27年4月	英語 II 英語 IV						
兼任	講師	野崎 将俊 (46)	平成28年4月	英語 IV						
兼任	講師	野村 光義 (45)	平成27年4月	西洋古典文学						
兼任	講師	萩原 智子 (34)	平成27年4月	体育実技 E (水泳) 体育実技 F (水泳)						
兼任	講師	橋本 秀美 (61)	平成27年4月	人間関係論						
兼任	講師	長谷川 悦朗 (48)	平成27年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV						
兼任	講師	浜田 勝義 (62)	平成27年4月	簿記会計基礎演習 I 簿記会計基礎演習 II						
兼任	講師	早崎 えりな (58)	平成28年4月	ドイツ語 III ドイツ語 IV						
兼任	講師	原 正人 (42)	平成27年4月	アジア現代史						
兼任	講師	ビーゲル・ケネス (60)	平成28年4月	英語 A III a 英語 A IV a						
兼任	講師	船本 美香 (37)	平成27年4月	自己表現演習						
兼任	講師	フライアン・ブシュナー (32)	平成27年4月	英語 B I b 英語 B II b 英語 B III b 英語 B IV b	兼任	講師	ラフツェル・トマクデル (27)	平成27年4月	英語 B I b 英語 B II b	平成27年3月 ブシュナー講師就任辞退の ため担当者の変更 (27)
					兼任		後任未定		英語 B III b 英語 B IV b	平成27年3月 ブシュナー講師就任辞退の ため平成28年3月までに後任 を決定予定 (27)

兼任	講師	ヘニング・ルディ (55)	平成27年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ						
兼任	講師	本間 俊一 (65)	平成28年4月	英語Ⅳ						
兼任	講師	松田 洋 (49)	平成27年4月	数学						
兼任	講師	三浦 和彦 (59)	平成27年4月	物理学 地球科学						
兼任	講師	箕口 雅博 (64)	平成27年4月	コミュニティ心理学						
兼任	講師	南 明恵美 (58)	平成27年4月	体育実技B 体育実技D 体育実技H						
兼任	講師	三村 友希 (40)	平成27年4月	日本文学						
兼任	講師	三宅 登之 (51)	平成28年4月	中国語Ⅲ						
兼任	講師	宮島 琴美 (40)	平成28年4月	中国語Ⅳ						
兼任	講師	宮地 克昌 (57)	平成27年4月	イベント論						
兼任	講師	室田 康子 (60)	平成29年4月	現代ジャーナリズム論						
兼任	講師	師尾 友紀子 (49)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	山本 武秀 (40)	平成27年4月	キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅱ						
兼任	講師	山本 泰夫 (68)	平成27年4月	現代ジャーナリズム論						
兼任	講師	山本 雄一郎 (59)	平成27年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	山谷 茂 (67)	平成27年4月	情報科学						
兼任	講師	湯原 かの子 (66)	平成27年4月	文芸理論						
兼任	講師	横川 澄枝 (65)	平成28年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ						
兼任	講師	横山 美嘉子 (51)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	吉野 隆 (48)	平成27年4月	Web制作						
兼任	講師	吉原 誠 (55)	平成27年4月	キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅱ						
兼任	講師	李 振溪 (51)	平成27年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語リーディング・ライティング						
兼任	講師	林 淑美 (65)	平成27年4月	文芸理論						
兼任	講師	レイツ・パトリック (45)	平成27年4月	TOEIC特別演習Ⅰ						
兼任	講師	若狭 基道 (44)	平成27年4月	言語科学 記号論						
兼任	講師	渡瀬 恵津子 (55)	平成27年4月	ソーシャルマナー						
兼任	講師	渡辺 玲子 (63)	平成28年4月	英語Ⅲ 英語再入門B						

					兼任 講師	ロバート・スピバック (50)	平成27年4月	TOEIC特別演習 I	履修機会を増やすため、担当者の追加(27)
					兼任 講師	マーガレット・ワークマン (62)	平成27年4月	TOEIC特別演習 I	履修機会を増やすため、担当者の追加(27)

<観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科>

(1) 担当教員表

文京キャンパス

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	鍵屋 一 (58)	平成27年4月	ボランティア実践B コミュニティデザイン コミュニティ関連法規 コミュニティデザイン特 殊演習(文章理解・小論文)						
専	教授	佐野 美智子 (57)	平成27年4月	コミュニティ論特殊講義 (買い物) コミュニティデザイン演 習 I A コミュニティデザイン演 習 I B コミュニティデザイン演 習 II A コミュニティデザイン演 習 II B 卒業論文・卒業研究 社会調査実習 I 社会調査実習 II						
専	教授	轟(吹野) 理恵子 (52)	平成27年4月	出産・育児のセーフティ ネット 老いと女性 コミュニティデザイン演 習 I A コミュニティデザイン演 習 I B コミュニティデザイン演 習 II A コミュニティデザイン演 習 II B 卒業論文・卒業研究						
専	教授	矢野 峰生 (56)	平成27年4月	コミュニティと金融 コミュニティビジネス コミュニティ論特殊講義 (食文化) コミュニティデザイン演 習 I A コミュニティデザイン演 習 I B コミュニティデザイン演 習 II A コミュニティデザイン演 習 II B 卒業論文・卒業研究						
専	准教授	石崎(石崎) 裕子 (41)	平成27年4月	総合科目(地域社会) 男女共同参画社会 出合いの社会学 家庭と仕事 コミュニティ論特殊講義 (女性文化) コミュニティデザイン特 殊演習(プレゼンテー ション)						
専	准教授	篠崎 健司 (52)	平成27年4月	総合科目(地域社会) コミュニティデザイン特 殊演習(コミュニケー ション) コミュニティデザイン演 習 I A コミュニティデザイン演 習 I B コミュニティデザイン演 習 II A コミュニティデザイン演 習 II B 卒業論文・卒業研究						

専	准教授	坪原 紳二 (50)	平成27年4月	コミュニティと住民参加 インフラストラクチャー コミュニティとまちづくり コミュニティデザイン演習 I A コミュニティデザイン演習 I B コミュニティデザイン演習 II A コミュニティデザイン演習 II B 卒業論文・卒業研究						
専	准教授	土居 洋平 (41)	平成27年4月	都市の社会学 近郊の社会学 コミュニティデザイン演習 I A コミュニティデザイン演習 I B コミュニティデザイン演習 II A コミュニティデザイン演習 II B 卒業論文・卒業研究 社会調査実習 I 社会調査実習 II						
専	准教授	南里 隆宏 (44)	平成27年4月	NPO・NGO論 コミュニティデザイン演習 I A コミュニティデザイン演習 I B コミュニティデザイン演習 II A コミュニティデザイン演習 II B 卒業論文・卒業研究						
兼任	准教授	鷹 咲子 (52)	平成29年4月	コミュニティと行財政						
兼任	講師	今井 真貴子 (58)	平成29年4月	イベント・コンベンション論						
兼任	講師	大藤 ひとみ (51)	平成29年4月	フライダル・コーディネート特殊演習 コミュニティ論特殊講義(フライダル)						
兼任	講師	榎淵 めぐみ (42)	平成29年4月	コミュニティ論特殊講義(ネット社会)						
兼任	講師	北井 涉 (49)	平成29年4月	コミュニティ論特殊講義(24時間の文化)						
兼任	講師	志田 哲之 (43)	平成27年4月	質的調査法						
兼任	講師	柴田 彩千子 (42)	平成29年4月	子どもと教育 コミュニティ論特殊講義(学校)						
兼任	講師	成澤 廣修 (51)	平成29年4月	ぶんぎょう学						
兼任	講師	濱地 徹 (34)	平成29年4月	取材学 コミュニティデザイン特殊演習(編集・制作)						
兼任	講師	林 葉子 (59)	平成29年4月	介護と福祉						
兼任	講師	藤本 隆史 (47)	平成27年4月	多変量解析法						
兼任	講師	政所 利子 (65)	平成27年4月	コミュニティと地場産業						

< 共通 >

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	石塚 正敏 (62)	平成29年4月	公衆衛生論						
兼任	教授	奥田 洋子 (66)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(文化) II						

兼任	教授	笠原 清志 (68)	平成29年4月	総合科目 (キャリア)						
兼任	教授	神山 伸弘 (57)	平成29年4月	総合科目 (国際政治)						
兼任	教授	小仲 信孝 (64)	平成29年4月	日本語演習						
兼任	教授	塩月(佐藤) 亮子 (51)	平成29年4月	総合科目 (地域文化)						
兼任	教授	篠塚 二三男 (68)	平成29年4月	総合科目 (芸術と社会)						
兼任	教授	副島 善道 (60)	平成29年4月	メディア環境論						
兼任	教授	曾田 修司 (59)	平成29年4月	総合科目 (現代社会)						
兼任	教授	高木 庸 (65)	平成29年4月	プロダクトデザイン論						
兼任	教授	崔 勝渙 (52)	平成29年4月	総合科目 (キャリア)						
兼任	教授	富川 淳子 (63)	平成29年4月	総合科目 (現代社会)						
兼任	教授	藤崎 康彦 (68)	平成29年4月	男性学						
兼任	教授	松坂 健 (68)	平成29年4月	総合科目 (観光)						
兼任	教授	宮崎 正浩 (62)	平成29年4月	総合科目 (人間と自然)						
兼任	教授	安島 博幸 (66)	平成29年4月	観光コミュニティデザイン実践						
兼任	教授	山澤 成康 (54)	平成29年4月	総合科目 (国際経済)						
兼任	教授	吉澤 京子 (59)	平成29年4月	総合科目 (芸術と社会)						
兼任	准教授	阿部 洋子 (63)	平成29年4月	家族心理学						
兼任	准教授	内村 理奈 (48)	平成29年4月	総合科目 (生活と環境)	兼任	講師	内村 理奈 (48)	平成29年4月	総合科目 (生活と環境)	平成27年4月 本学退職に伴い身分変更 (27)
兼任	准教授	香山 はるの (49)	平成27年4月	テーマで学ぶ英語 (文化) I						
兼任	准教授	鶴田 雅昭 (62)	平成29年4月	総合科目 (観光)						
兼任	准教授	森 まり子 (47)	平成29年4月	総合科目 (国際政治)						
兼任	准教授	山崎 妙 (43)	平成27年4月	TOEIC特別演習 II						
兼任	准教授	吉田 信夫 (53)	平成27年4月	テーマで学ぶ英語 (メディア) I						
兼任	助教	寺本 敬子 (37)	平成29年4月	フランス語上級 I フランス語上級 II						
兼任	講師	新井 保裕 (31)	平成27年4月	朝鮮・韓国語上級 I 朝鮮・韓国語上級 II	兼任		後任未定		朝鮮・韓国語上級 I 朝鮮・韓国語上級 II	平成26年12月 新井保裕講師本務校都合に よる就任辞退のため平成29 年3月までに後任を決定予定
兼任	講師	石黒 ひさ子 (48)	平成28年4月	中国語上級 I 中国語上級 II						
兼任	講師	一ノ瀬 俊和 (64)	平成29年4月	イタリア語とイタリア文化						
兼任	講師	伊藤 健生 (45)	平成27年4月	キャリア演習 (公務員・ 数的処理) I キャリア演習 (公務員・ 数的処理) II						
兼任	講師	伊藤 直子 (61)	平成27年4月	ドイツ語上級 I ドイツ語上級 II						
兼任	講師	伊藤 尚伸 (57)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語 (メ ディア) II						
兼任	講師	伊東 裕貴	平成29年4月	マーケティング心理学						

		(50)								
兼任	講師	梅宮 創造 (67)	平成29年4月	ミステリー文学						
兼任	講師	大久保 博樹 (54)	平成29年4月	デジタル編集						
兼任	講師	大橋 幸泰 (52)	平成29年4月	日本宗教論						
兼任	講師	岡野 宣勝ペリー (49)	平成27年4月	総合科目 (地域文化)						
兼任	講師	岡山 麻子 (40)	平成27年4月	総合科目 (日本とアジア)						
兼任	講師	小田部 英勝 (66)	平成29年4月	イベント検定演習						
兼任	講師	加藤 百合 (52)	平成29年4月	ロシア語とロシア文化						
兼任	講師	可部 繁三郎 (56)	平成29年4月	国際経済 総合科目 (国際経済)						
兼任	講師	川嶋 均 (55)	平成29年4月	ヨーロッパ中世文学						
兼任	講師	喜山 朝彦 (62)	平成29年4月	ジェンダー論						
兼任	講師	國司 眞 (62)	平成29年4月	天文学						
兼任	講師	熊本 史雄 (46)	平成29年4月	総合科目 (日本とアジア)						
兼任	講師	倉橋 節也 (56)	平成27年4月	Microsoft Office Specialist 演習						
兼任	講師	古城 慶子 (66)	平成29年4月	精神病理学						
兼任	講師	近藤 佐保子 (54)	平成29年4月	刑事法						
兼任	講師	坂本 有希 (47)	平成27年4月	総合科目 (人間と自然)						
兼任	講師	佐々木 亮 (30)	平成29年4月	国際法						
兼任	講師	島田 顕 (52)	平成29年4月	国際社会論						
兼任	講師	鈴木 明子 (48)	平成29年4月	近代家族論						
兼任	講師	高崎 彰 (67)	平成27年4月	教育学概論						
兼任	講師	高橋 克也 (52)	平成29年4月	農林科学						
兼任	講師	武田 和久 (39)	平成29年4月	スペイン語とスペイン文化						
兼任	講師	田中 究 (42)	平成29年4月	深層心理学						
兼任	講師	田辺 公一郎 (56)	平成27年4月	コンピュータ・グラフィックス						
兼任	講師	築 雅之 (51)	平成27年4月	デジタル・アニメーション						
兼任	講師	辻 のぞみ (59)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語 (観光) I テーマで学ぶ英語 (観光) II						
兼任	講師	中川 理恵子 (54)	平成29年4月	児童文学						
兼任	講師	中島 輝賢 (48)	平成27年4月	日本語演習						
兼任	講師	中平 千彦 (49)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語 (ビジネス) I テーマで学ぶ英語 (ビジネス) II						

兼任	講師	野村 光義 (45)	平成27年4月	ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化										
兼任	講師	橋本 憲一郎 (49)	平成29年4月	建築環境論										
兼任	講師	橋本 実千代 (49)	平成29年4月	色彩検定演習										
兼任	講師	浜田 勝義 (62)	平成27年4月	簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ										
兼任	講師	原 稚佳子 (41)	平成29年4月	色彩検定演習										
兼任	講師	藤崎 和子 (56)	平成29年4月	ITパスポート演習Ⅰ ITパスポート演習Ⅱ										
兼任	講師	二又 淳 (47)	平成29年4月	日本語演習										
兼任	講師	淵元 哲 (48)	平成29年4月	キャリア演習(公務員・ 政治経済)Ⅰ キャリア演習(公務員・ 政治経済)Ⅱ										
兼任	講師	松崎 かおり (52)	平成29年4月	近代家族論										
兼任	講師	水野 圭子 (48)	平成29年4月	労働法 ビジネス実務法種検定演習										
兼任	講師	三村 友希 (40)	平成27年4月	日本語演習										
兼任	講師	宮崎 修二 (52)	平成29年4月	聖書学										
兼任	講師	初井 まり (46)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(社会 問題)Ⅱ										
兼任	講師	百瀬 亮司 (41)	平成29年4月	テーマで学ぶ英語(社会 問題)Ⅰ										
兼任	講師	山里 盛文 (37)	平成29年4月	民事法										
兼任	講師	山田 満 (68)	平成29年4月	マーケティングコミュニ ケーション	兼任	教授	山田 満 (68)	平成29年4月	マーケティングコミュニ ケーション					平成27年4月 マネジメント学部専任教員 採用に伴い身分変更(27)
兼任	講師	山谷 茂 (67)	平成27年4月	ネットワーク論										
兼任	講師	横井 由利 (64)	平成29年4月	ファッション論 総合科目(生活と環境)										
兼任	講師	吉田 次郎 (64)	平成29年4月	水産学 河川海洋学										
兼任	講師	吉野 隆 (48)	平成27年4月	アプリケーション・プロ グラミング										
兼任	講師	吉原 誠 (55)	平成27年4月	キャリア演習(公務員・ 法律)Ⅰ キャリア演習(公務員・ 法律)Ⅱ										

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4	5	0	0	9	4	5	0	0	9	70	0	-	-
(4)	(5)	(0)	(0)	(9)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、

「変更状況」には、平成27年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・「年齢構成（前年度の状況）」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「－」を記入してください。



(3) 専任教員辞任等の理由

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年10月)	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>「設置の趣旨を記載した書類」に関する事項</p> <p>2. 学部、学科の特色 新学部の教育理念の実践領域を充実化するために観光コミュニティ学部には社会調査士課程を置く。</p> <p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色 (3) 各科目区分の科目構成とその理由 「展開科目」は全部で18科目の授業から構成する。授業科目の内容は、2つのカテゴリによって設定している。すなわち、①コミュニティの仕組み(10科目)、②コミュニティと生活(8科目)、である。2つあわせて18科目となる。各カテゴリの教育目的は以下の通りであり、それを実現する授業科目を置く。</p> <p>7. 施設、設備等の整備計画 (1) 校地、運動場の整備計画 (2) 校舎等施設の整備計画 申請・認可時は未定であったため、記載していない事項。</p> <p>8. 入学者選抜の概要 (2) 一般入学試験 募集定員35名 (3) 推薦入学試験 募集定員25名 (4) AO入学試験 募集定員20名</p> <p>9. 企業実習や海外語学研修など学外実習の具体的計画</p>	<p>一般財団法人社会調査協会より、2015年度開講科目について設置認可された。</p> <p>学生、受験生に対して、授業科目の内容を分かりやすく、魅力ある内容であることを伝えるのに、カテゴリ名称を以下のとおり変更した。なお、申請における教育課程等の概要及び授業科目の概要を変更するものではない。 「コミュニティの仕組み」→「グローバルコミュニティ」 「コミュニティと生活」→「ライフデザイン」</p> <p>平成27年5月、校地校舎の変更届を提出。 平成27年3月、文京区本郷五丁目9番4号に直接教育に供する校地・校舎を取得した。 旧伊勢屋質店という歴史的建造物(国登録有形文化財)を文京区と連携して保存・活用していくことになり、本学園では歴史的資料として文学部が研究用に、観光コミュニティ学部の地域振興の実践のコアとなる場として使用活用するために土地建物を取得した。 別紙資料1~5 ・演習室3室 ・実習室1室</p> <p>図書館 別紙資料6、7 アクティブラーニングエリア(LALA2)と隣接した108室の仕切りを取り除き、LALA2を拡張した。 LALA2 32㎡ → 64㎡</p> <p>一般入試の割合を多くするため、平成28年度入試より各入試の募集定員を以下のとおり変更する。 (2) 一般入学試験 募集定員40名(5名増員) (3) 推薦入学試験 募集定員20名(5名減員) (4) AO入学試験 募集定員20名(変更なし)</p>

(2) 海外語学研修  
研修先の確保の状況  
イギリスのスターリング大学  
カナダのロイヤルローズ大学  
中国の北京語言大学  
台湾の国立政治大学

#### 1.1. 管理運営

大学における意思決定は、全学的基本方針を決定する大学評議会、および学部に関わる事項の決定機関である学部教授会において行われる。  
観光コミュニティ学部も教授会を組織し、学部・学科の運営にあたる。  
大学評議会、学部教授会ともに毎月2回の開催を標準としている。

#### 大学評議会

大学評議会は、学長、副学長、学部長、全学共通科目運営センター長、図書館長および学部から選出される評議員、学長が指名する評議員によって組織される。大学評議会の議長は学長が務め、大学の管理運営について学長のリーダーシップが発揮される。

審議事項は以下の通りである（学則第五条の三）。

1. 本学の教育研究上の目的を達成するための基本的な計画及び適正な実施に関する事項
2. 学則その他重要な規則の制定又は改廃に関する事項
3. 本学の研究活動適正化の推進に関する事項
4. 本学の予算の見積りの方針に関する事項
5. 学部、学科及び研究科、専攻その他の重要な組織の設置又は廃止並びに学生の定員に関する事項
6. 教員人事の方針に関する事項
7. 本学の教育課程の編成に関する方針に係る事項
8. 学生の厚生及び補導に関する事項
9. 学生の入学、卒業又は修了その他その在籍に関する方針及び学位の授与に関する方針に係る事項
10. 本学の教育内容及び教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に関する事項
11. 本学の教育研究活動等の状況について行う自己点検・評価に関する事項
12. その他本学の運営に関する重要事項

#### 学部教授会

学部教授会は、学部所属する専任の教授、准教授、講師、助教によって組織される。

審議事項は以下の通りである（学則第六条）。

1. 学部の教育研究上の目的を達成するための方針に関する事項
2. 学部に固有な規則の制定又は改廃に関する事項
3. 学部の予算の執行に関する事項
4. 学部の教員組織の構成及び連絡調整に関する事項
5. 学部の教員人事の選考に関する事項
6. 学部の教育課程の編成に関する事項
7. 学生の入学、卒業その他その在籍に関する事項及び学位の授与に関する事項
8. 学部の教育内容及び教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に関する事項
9. その他学部の教育又は研究に関する重要事項

学生の語学学修の機会拡大のため、研修先を増やした。

フランス語研修

フランスの西部カトリック大学

英語研修とコミュニティ研修

アメリカのローワーコロンビアカレッジ

（ワシントン州ロングビュー市姉妹都市委員会、ローワーコロンビアカレッジ、本学の三者協定に基づく研修）

平成26年6月27日に「学校教育法」の改正、同年8月29日に「学校教育法施行規則」の改正が公布され、いずれも平成27年4月1日から施行されることとなった。この改正は、学長のリーダーシップの下で戦略的に大学を運営できるガバナンス体制を構築することが重要であるとし、大学の組織及び運営体制を整備するため、副学長の職務内容を改めるとともに、教授会の役割を明確化するなどの趣旨により行われたものである。

これにより、本学においても、学長のガバナンス体制の強化、教授会、大学評議会の役割の明確化等のため、学則の改正を行った。

併せて、「跡見学園女子大学大学評議会規程」、「跡見学園女子大学教授会規程」、「跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程」及び「跡見学園女子大学教授会各種委員会規程」を改正した。

（別添8～12、下記資料参照）

「跡見学園女子大学学則」

「跡見学園女子大学大学評議会規程」

「跡見学園女子大学教授会規程」

「跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程」

「跡見学園女子大学教授会各種委員会規程」

#### 全学教授会

学部教授会とは別に、学長、副学長並びにすべての学部の専任の教授、准教授、講師及び助教によって組織される全学教授会を置く。全学教授会は、大学評議会の報告を聴取するとともに次に掲げる事項について審議する（学則第六条の二）。

1. 学長の選考に関する事項
2. 副学長の選考に関する事項
3. 付属教育研究組織の長の選考に関する事項
4. 大学評議会が承認を求める事項
5. 大学評議会の諮問する事項

#### 各種委員会

その他、大学評議会の下に、予算委員会、学務委員会、教育・研究支援委員会、入試広報委員会、自己点検・評価委員会があり、いずれも全学的な方針の策定に向けた審議を行っている。最終的には、大学評議会において、審議あるいは報告がなされ、案件の確定が図られている。

他方で、学部教授会の下には、予算委員会、学務委員会、教育・研究支援委員会、入試委員会、資格審査委員会が、学部における方針の策定、具体的な実施内容の決定等に向けた審議を行っている。学部の委員会は、それぞれ対応する全学の委員会と連携を図りつつ、方針や実施内容等を定め、学部教授会において審議・決定されている。

#### 12. 自己点検・評価

本学の教育理念を教育研究において具体化し、適切に実現するために、学則第一条の二第5項に基づき、「跡見学園女子大学自己点検・評価規程」を定め、さらに同規程第二条第3項に基づいて「跡見学園女子大学自己点検・評価推進委員会規程」を定めている。

学長のカバナス強化体制を整えるため、学則他、諸規程の改正整備を行った。併せて、「跡見学園女子大学自己点検・評価規程」を改正し委員会体制を整備した。これに伴い、推進委員会を廃止することとし、「跡見学園女子大学自己点検・評価推進委員会規程」を廃止した。

別紙資料13

「跡見学園女子大学自己点検・評価規程」

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

観光コミュニティ学部設置にあわせ、同学部内に教育・研究支援委員会を組織した。また、同学部教員が全学教育・研究支援委員会の構成員に加わり、協働して授業内容方法の改善を行う。

本学における授業内容方法の改善については、大学評議会の下にある全学教育・研究支援委員会が組織的な取組の中心を担う。

委員会では、基本的な理念の策定や全学レベルの企画を行うとともに、観光コミュニティ学部、文学部、マネジメント学部、全学共通科目運営センターとの連携を図る場としての機能を果たしている。他方で、各学部にもそれぞれに教育・研究支援委員会が、また全学共通科目運営センターには全学共通科目運営センター委員会があり、全学教育・研究支援委員会と協働しつつ、授業改善のための具体的な取組を組織的に行っている。

- ・ 学部教育研究支援委員会
- ・ 全学教育研究支援委員会

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・学部教育研究支援委員会  
跡見学園女子大学教授会各種委員会規程  
第八条 委員長は、次の各号の一に該当する場合、委員会を招集する。
  - 一 学期の始まる月（定例）
  - 二 委員長が必要と認めたとき
  - 三 委員の三分の一以上の要求があったとき
 第九条 委員会は、委員の三分の二以上出席がなければ、議事を開き議決することができない。
- ・全学教育研究支援委員会  
跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程  
第八条 委員長は、大学評議会議長からの諮問を受けて、委員会を招集する。
  - 2 前項にかかわらず、次の各号の一に該当する場合、委員長は委員会を招集する。
    - 一 学年の始まる月（定例）
    - 二 委員長が必要と認めたとき
    - 三 委員の三分の一以上の要求があったとき
 第九条 委員会は、委員の三分の二以上出席がなければ、議事を開き議決することができない。

以上のとおり規定し、原則月1～2回の開催。

- c 委員会の審議事項等  
別紙規程による。

## ② 実施状況

### a 実施内容

委員会で企画する以下の事項

- ・授業方法について研究会（ワークショップ）
- ・教員相互の授業参観
- ・新任教員のための研修会参加（私立大学連盟等）
- ・「FDジャーナル」「学術年報」の刊行

### b 実施方法

- ・全学的な取り組みして、FD懇談会、FD講演会の開催
- ・全学共通科目運営センターの取り組み FDワークショップ
- ・学部、大学院研究科単位の取り組み FD講演会、FDワークショップ
- ・学生による授業評価アンケート 原則全科目  
（ただし、文学部後期課程科目の演習と大学院科目、履修者10名以下の科目、集中講義を除く。）

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD懇談会は、年度初めに専任教員と兼任教員が一堂に会し、親睦を深めるとともに、本学の建学の精神、教育理念等を共通認識する機会として開催。
- ・FD講演会は、年に1度高等教育に見識のある講師を招いて開催
- ・FDワークショップは、基調講演を行い意見交換など実施
- ・上記の他、私立大学連盟等の主催する研究会などに教員を派遣。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・「FDジャーナル」に授業改善と教育力向上をめざす実践報告を多数の教員が行っている。
- ・「学術年報」を刊行し、教育研究業績を報告している。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

各学期最終週に授業評価アンケートを実施する。

- ・学生による授業評価アンケート 原則全科目  
（ただし、文学部後期課程科目の演習と大学院科目、履修者10名以下の科目、集中講義を除く。）

### b 教員や学生への公開状況、方法等

文京キャンパス事務室フロア、新座キャンパス学務部インフォメーションコーナーに報告書を配置し、自由に閲覧することができる。

また、各教員に対しては、別途、担当科目の集計結果及びコメントシートの配布を行っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

## （3）自己点検・評価等に関する事項

### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

観光コミュニティ学部は、観光とコミュニティに関する新しいデザインの学識や技能を備え、コミュニティの抱えるさまざまな課題を解決し、活性化に貢献できる人材の養成を目的とする。

開設初年度においては、上記の目的実現に向け努めているところである。

コミュニティデザイン学科においては、入学志願者が少なく、よって入学者確保も厳しい結果となった。社会学系統の私大志願者は前年度を100とした場合、104.4（女子103.5）と微増だった（豊島継男事務所調べ）。しかしながら同系統女子大志願は係数91と減少大であった（同調べ）。事前に行った学生確保の見通しからでは、読み取ることのできない結果であったと考えられる。

平成28年度入試に向けた広報活動では、社会学系統志願者獲得に向けて専任教員の研究内容や授業内容を伝えていく。

本学は、平成27年3月に樋口一葉ゆかりの旧伊勢屋質店（国指定有形文化財）を取得した。

名称を「菊坂跡見塾」として全学部において授業他、地域コミュニティの活動拠点として活用する。観光コミュニティ学部の学生たちにとっても、授業で身に着けた知識を実践する場としての活用していく。（27）

## ② 自己点検・評価報告書

跡見学園女子大学では、平成19年度には、学長の指導のもと平成14年～18年度を対象の自己点検・評価を行い、平成20年度大学基準協会による大学評価を申請した。その結果、大学基準に適合しているものと評価され、平成21年4月1日より平成28年3月末日までの7年間の認定を受けた。

平成26年度は、次期認証評価に向け、自己点検・評価報告書を作成した。平成27年度中に（財）大学基準協会による認証評価を受けることとしている。

今回設置した学部・学科については、報告書には含まれておらず、以降の期間に審査を受ける予定。

### a 公表（予定）時期

- ・平成21年4月1日 公表

### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開

## ③ 認証評価を受ける計画

平成27年度に評価機関（財団法人大学基準協会）の評価を受けるため、平成26年度に自己点検・評価報告書を提出した。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## （4）情報公表に関する事項

### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年5月18日予定)







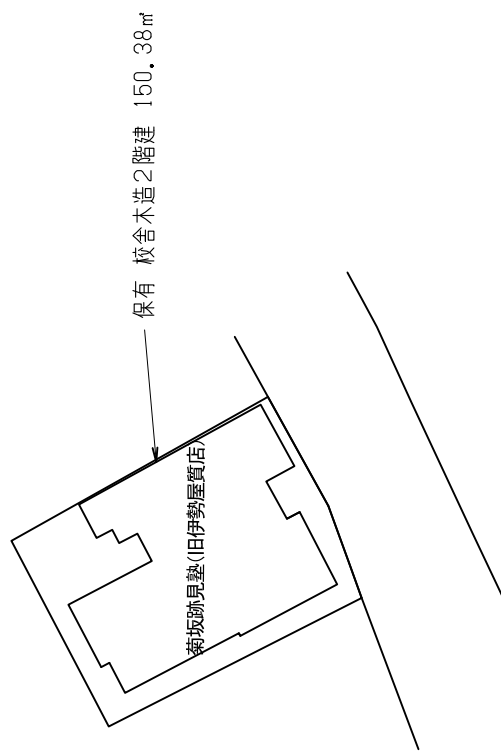




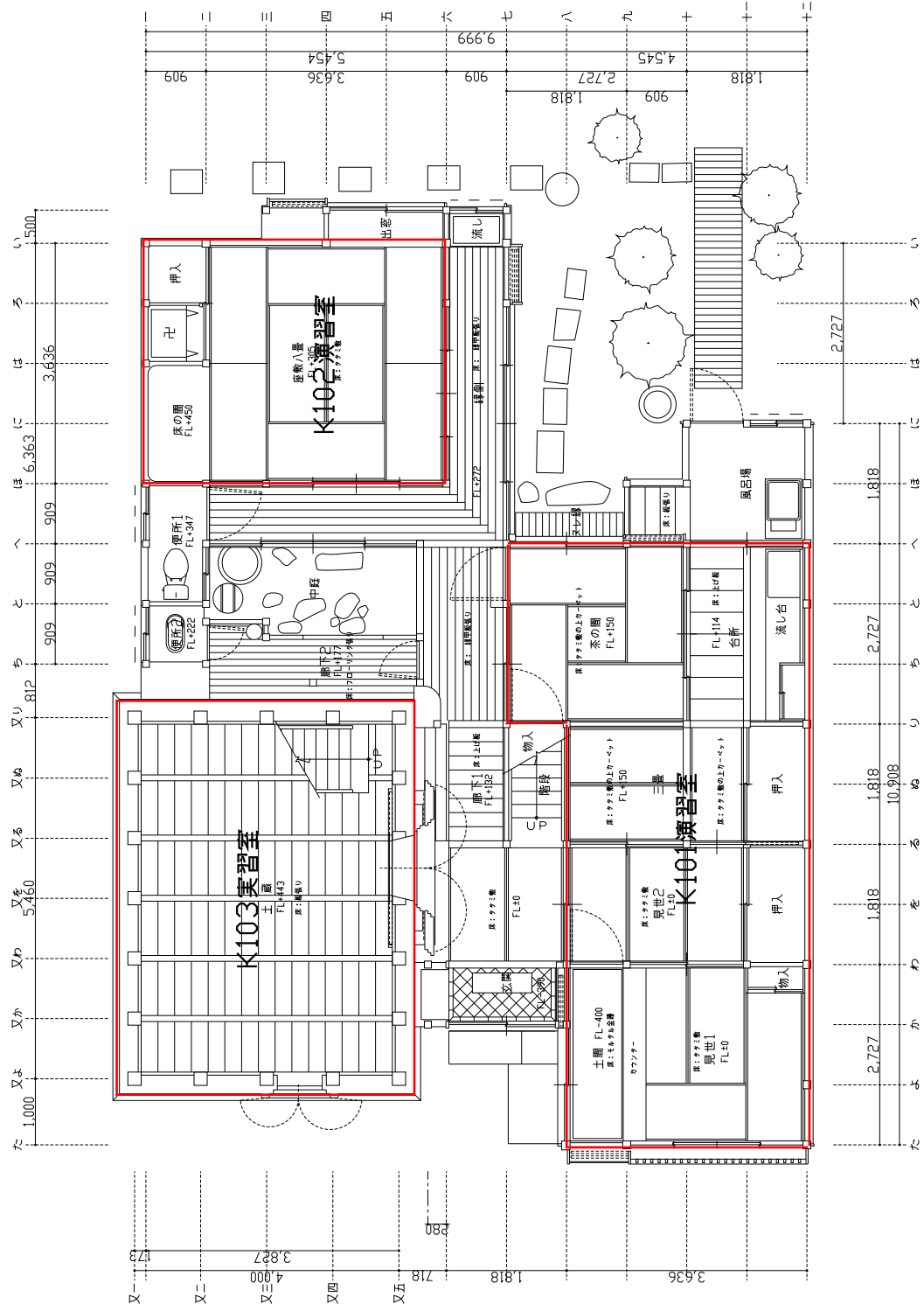
跡見学園女子大学校地

156.34㎡(全部所有)

所在地 東京都文京区本郷五丁目9番4号







訂正事項	年月日 担当	原査	年月日 担当	工事名称	図面名称	図面番号	図面番号	御承認印
	年月日 担当		年月日 担当	跡見学園女子大学 菊坂跡見塾(旧伊勢屋酒店)	1階平面図	S=1/100	整理番号	

















図書館全体

階数	室名	面積 (㎡)	階数	室名	面積 (㎡)	
1 F	103 ブックポスト	3	2 F	書庫	482.16	
	104 展示室	64		閲覧席	337.04	
	105 LALA3	128		特別資料室書庫	96	
	106 LALA2	64		201 特別資料室	32	
	107 LALA1	44.8		203 グループ学習室1	39.05	
	<del>108 室</del>	<del>32</del>		204 グループ学習室2	37.95	
	109 学生ラウンジ	41.4		205 グループ学習室3	33	
	110 会議室	44		206 視聴覚ホール	252.58	
	111 情報処理室	54.45		209 機械室	30.25	
	112 事務室	205.36		211 接写室	8.75	
	113 ロビー	95.03		212 印刷室	7.5	
	114 館長室	32.88		エレベーター1	7.83	
	115 応接室	16.33		エレベーター2	5.28	
	116 選書室	22.09		女子トイレ	22.47	
	117 荷受室	22.09		男子トイレ	8.84	
	121 ELV機械室	9.2		身障者用トイレ	6.76	
	122 ELV機械室	6.27		廊下その他	312.23	
	125 倉庫	6.6				
	127 掃除用具入	5.51		合計	1719.69	
	傘立	6.6				
	入口ロッカールーム	9.4				
	目録コーナー	89.6		階数	室名	面積 (㎡)
	レファレンス	256		3 F	書庫	482.16
	新聞雑誌コーナー	172.8			閲覧席	337.04
	閲覧席	192			教員・院生閲覧室	64
	掲示コーナー	13			集密書庫	64
	複写室	9.6			多目的室	37.6
事務室用ラウンジ	22.09	会議室	133.04			
未整理書庫	22.09	準備室	7.02			
ロッカー室 (男子)	6.3	エレベーター1	7.83			
ロッカー室 (女子)	8.1	エレベーター2	5.28			
事務女子トイレ	8.41	女子トイレ	22.47			
事務男子トイレ	7.49	男子トイレ	15.06			
エレベーター1	7.83	廊下その他	251.63			
エレベーター2	5.28					
女子トイレ	14.82	合計	1427.13			
男子トイレ	12.91					
廊下その他	272.57					
合計	2001.9					



第一章 総 則

第一節 目 的

第一条 本学は、跡見学園女子大学と称し、学校教育法の定めるところに従い、学園創立者跡見花蹊の教育精神を継承して有能なる社会人、家庭人たる女性の育成を目的とする。

2 前項に規定する目的に加え、本学に置く学部の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的を第三章、第四章及び第五章の学部規則に定める。

第一条の二 本学は、教育研究水準の向上に資するため、本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備（以下「教育研究等」という。）の状況について自ら点検及び評価（以下「自己点検・評価」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項に規定する自己点検・評価を行うに当たっては、前項の趣旨に即し適切な項目を設定するとともに、適切な体制を整えて行うものとする。

3 第1項に規定する公表は、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって行うものとする。

4 本学は、第1項の措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、別に定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。

5 自己点検・評価及び認証評価に関し必要な事項は、別に定める。

第一条の三 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第二節 組 織

第二条 本学に、文学部、マネジメント学部及び観光コミュニティ学部を置く。

2 本学に、大学院を置く。大学院に関する学則は、別に定める。

第三条 削除

第四条 本学に次の附属教育研究組織を置く。

- 一 全学共通科目運営センター
- 二 図書館
- 三 花蹊記念資料館
- 四 情報メディアセンター
- 五 心理教育相談所

2 前項各号の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第三節 教職員組織

第五条 本学の教職員組織は、次のとおりとする。

- 一 学長（学長は教授を兼ねる。）
- 二 副学長（副学長は二名とし、教授を兼ねる。副学長のうち一名は跡見学園寄附行為第八条第1項第二号に定める理事（以下「理事たる副学長」という。）となる。）
- 三 教授、准教授、講師、助教、助手
- 四 司書、学芸員、事務職員

2 学部に学部長を置き、学部の教授をもって充てる。

第五条の二 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

- 2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
- 3 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。
- 4 学長、副学長及び学部長の採用のための選考に関し必要な事項は、別に定める。

### 第三節の二 大学評議会

第五条の三 本学に、大学評議会を置く。

- 2 大学評議会の評議員は、次に掲げる者をもって充てる。
  - 一 学長
  - 二 理事たる副学長
  - 三 学部長
  - 四 研究科長
  - 五 附属教育研究組織の長のうち本学が定める者
  - 六 学部から選出される教授
  - 七 大学評議会の議に基づいて学長が指名する専任教員
- 3 大学評議会は、学長が教育研究に関する方針その他重要な事項について決定を行うに当たり、審議し、意見を述べる。
- 4 前項に規定する審議事項は、別に定める。
- 5 大学評議会に議長を置き、学長をもって充てる。
- 6 大学評議会の組織に関し必要な事項は、別に定める。

### 第四節 教授会

第六条 学部に、教授会を置く。

- 2 教授会は、学部に所属する専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。
- 3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
  - 一 学生の入学、卒業及び課程の修了
  - 二 学位の授与
  - 三 前二号に掲げるものの他、教育研究に関する重要な事項で、学長が教授会の意見を聴くことが必要であると定めるもの
- 4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長などの求めに応じ、意見を述べることができる。
- 5 前項に規定する審議事項は、別に定める。
- 6 教授会に議長を置き、学部長をもって充てる。
- 7 教授会の組織に関し必要な事項は、別に定める。

### 第四節の二 削除

第六条の二 削除

### 第四節の三 称号

第六条の三 本学に名誉教授の称号を置く。

- 2 名誉教授の称号の授与については、別に定める。



## 第五節 学年、学期及び休業日

第七条 学年は、四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終る。

2 学年を次の二期に分ける。

一 春学期 四月一日から九月三十日まで

二 秋学期 十月一日から翌年三月三十一日まで

3 休業日は、次のとおりとする。

一 日曜日

二 国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号）に規定する休日

三 学園創立記念日 一月八日

四 年度毎に定める春季・夏季及び冬季休業日

ただし、この規定にかかわらず、学長が必要と認めた場合は、臨時に休業日を定め、又は変更することができる。

## 第二章 学部通則

### 第一節 修業年限及び在学年限

第八条 本学の修業年限は、四年とし、前期課程二年（一・二年次）と後期課程二年（三・四年次）に分ける。ただし、それぞれの課程において四年を超えて在学することはできない。

2 前期課程から後期課程に進級する際には、第十八条第2項の要件を満たさなければならない。

3 前項の要件に満たない場合は、原級留置とする。

4 進級に関して必要な事項は、別に定める。

5 第十条の二第1項及び第2項により入学を許可された者は、同条第3項により定められた在学すべき年数の二倍に相当する年数を超えて在学することができない。

### 第二節 入学及び編入学

第九条 入学の時期は、学年の始めとする。

第十条 本学に入学することができる者は、次の各号のいずれか一に該当する女子でなければならない。

一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

二 通常の課程による十二年の学校教育を修了した者

三 外国において、学校教育における十二年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五 専修学校の高等課程（修業年限が三年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

六 文部科学大臣の指定した者

七 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

第十条の二 次の各号の一に該当する者で、本学への編入学を願い出た者については、選考のうえ学長がこれを許可することができる。

一 大学を卒業した者

- 二 短期大学、高等専門学校を卒業した者
  - 三 専修学校の専門課程（修業年限が二年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第十条に規定する者に限る。）
  - 四 国立養護教諭養成所を卒業した者
  - 五 学校教育法施行規則（昭和二十二年文部省令第十一号）附則第七条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成所学校の課程を修了又は卒業した者
  - 六 外国において、学校教育における十四年以上の課程を修了した者
  - 七 外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者（第十条に規定するものに限る。）
- 2 本学への編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考のうえ学長がこれを許可することができる。
  - 3 前二項の規定により入学を許可された者の在学すべき年数については、教授会の議を経て学部長が決する。
  - 4 第1項及び第2項により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位の取り扱いについては、別に定める。
- 第十一条 本学に入学を志願する者（以下「入学志願者」という。）は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。
- 第十二条 入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。
- 第十三条 前条の選考の結果に基づき合格の判定を受けた者は、所定の期日までに在学誓書、その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学金、授業料等を納入しなければならない。
- 2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。
- 第十四条 削除

### 第三節 教育課程及び履修方法

- 第十五条 授業科目を前期課程科目と後期課程科目に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。
- 2 全学共通科目は、外国語科目、情報処理科目、導入科目、教養科目、共通専門科目、社会人形成科目、総合科目及び体育実技科目に分ける。
  - 3 第1項のほか、教職に関する科目、図書館に関する科目、司書教諭に関する科目及び博物館に関する科目を文学部に、社会調査士に関する科目を観光コミュニティ学部に開設する。
  - 4 第1項のほか、外国人留学生に関する科目を開設する。
- 第十六条 授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目とに分ける。
- 第十七条 全学共通科目の種類及び単位数は、別表第一のとおりとする。
- 2 外国人留学生に関する科目の種類及び単位数は、別表第二のとおりとする。
- 第十八条 各学部における卒業に要する単位数（以下「卒業単位数」という。）は、全学共通科目、学部専門科目合わせて百二十四単位とする。
- 2 各学部において前期課程から後期課程に進級する際に必要な修得単位数は（以下「進級要件」という。）、六十二単位（全学共通科目四十二単位及び学部専門科目二十単位）とする。
  - 3 各学部における全学共通科目の修得単位数は五十八単位（前期課程四十二単位及び後期課程十六単位）とし、前期課程については、外国語科目十六単位、情報処理科目二単位、導入科目二単位、教養科目十単位及び社会人形成科目三単位を、後期課程については、教養科目四単位及び社会人形成科目一単位を含まなければならない。
  - 4 各学部における学部専門科目の修得単位数は六十六単位（前期課程二十単位及び後期課程四十六単位）とする。
- 第十八条の二 削除

第十九条 各授業科目の単位数は、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法により、次の基準により計算するものとする。

一 講義については、十五時間の授業をもって一単位とする。

二 演習（外国語科目及び講読を含む。）については、三十時間の授業をもって一単位とする。

三 実験、実習及び実技については、三十時間から四十五時間までの授業をもって一単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文及び卒業研究の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適当と認め、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

第二十条 授業科目は、十五週又は三十週の授業が終結したとき、その成績を評価するために試験又は小論文を課す。評価は百点を満点とし、六十点をもって合格とし、単位を与える。

ただし、授業時数の三分の二以上出席しなければならない。

第二十一条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が別に定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、六十単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合及び外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第二十二条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて六十単位を超えないものとする。

第二十三条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。

3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第二十一条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて六十単位を超えないものとする。

#### 第四節 休学、転学、転部、留学、退学、除籍及び再入学

第二十四条 疾病その他特別な事由により三ヶ月以上修学することができない者は、保証人連署の上、所定の期日までに学長に願い出て、一学期を単位として、休学することができる。

2 健康診断の結果に基づき疾病の療養にかかる期間が三ヶ月以上に及ぶと校医が判断した者については、学長は、休学を命ずることができる。

3 休学期間は、一年を超えることができない。なお、休学期間は、通算して四年を超えることができない。

4 休学事由が止んだときは、休学解除願を提出し、学長の許可を得なければならない。

5 休学期間は、第八条の在学期間には算入しない。

第二十五条 転学を希望する者は、転学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

第二十六条 転部を希望する者は、転部願を提出し、学長の許可を得なければならない。

第二十七条 外国の大学に留学しようとする者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第八条の在学期間に含めることができる。

3 留学に関する規程は、別に定める。

第二十八条 退学しようとする者は、所定の退学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

第二十九条 次の各号の一に該当する者は、大学評議会の議を経て、学長が除籍する。

一 授業料の納入を怠り、督促しても納入しない者

二 第八条に定める在学年限を超えた者

第三十条 再入学を希望する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当学年次に入学を許可することがある。

2 再入学に関する規程は、別に定める。

#### 第五節 卒業及び学位記

第三十一条 本学を卒業するためには、四年以上在学し、第十八条に定める卒業単位数を修得しなければならない。

2 前項に関わらず、第十条の二第1項及び第2項により入学を許可された者は、同条第3項により定められた在学すべき年数以上在学し、第十八条に定める卒業単位数を修得しなければならない。

第三十二条 前条に定める要件を満たした者には、卒業を認定し、学士の学位を授与する。

2 学位に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第六節 賞罰

第三十三条 学業優秀、学生生活の模範となると認められた者は、これを表彰することがある。

第三十四条 性行不良、学業怠慢、その他学生の本分に反すると認められた者は、退学、停学又は訓告に処する。ただし、退学は次の各号のいずれか一又はそれ以上にわたる者についてのみ行う。

一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

二 学業を怠り成業の見込みがないと認められる者

三 正当な理由がなく出席の常でない者

四 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反したと認められる者

2 前項の、学生に対する退学、停学及び訓告の処分について、学長はその手続きを別に定める。

3 本条に定める停学期間は、第八条の在学期間に算入する。ただし、三ヶ月以上の停学期間は、修業年限に含めない。

#### 第七節 厚生施設

第三十五条 学生の心身の健康維持と向上のための保健センターを置く。

2 保健センターには、保健師又は看護師を置き、校医及びカウンセラーを委嘱する。

3 保健センターに関し必要な事項は、別に定める。

#### 第八節 科目等履修生、特別聴講学生、研究生、委託学生及び外国人留学生

第三十六条 本学の学生以外の者で、第十条に定める資格を有する者が、一又は複数の授業科目の履修を希望する場合は、正規の学生の学修に支障のない場合に限り、科目等履修生とし

てこれを許可することがある。

2 科目等履修生として履修した授業科目については、第二十条の定めるところにより所定の単位を与えることができる。

3 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

第三十七条 他の大学又は短期大学の学生で、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、本学の授業科目を履修し単位を修得しようとする者は、特別聴講学生として履修を許可することがある。

2 前項の規定は、大学以外の教育施設等に在学する者で、当該施設等との協議に基づき、本学の授業科目を履修し単位を修得しようとする場合にも準用する。

3 第1項の規定は、本学との間に相互交流に関する協定を締結した外国の大学の学生で、本学の授業科目を履修し単位を修得しようとする場合にも準用する。

4 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

第三十八条 本学に研究生制度を設ける。

2 研究生に関する規程は、別に定める。

第三十九条 他の機関又は団体等から学生の委託を受けることがある。

2 委託学生に関する規程は、別に定める。

第四十条 外国人で第十条に定める資格を有する者を、外国人留学生として受け入れることがある。

2 外国人留学生に関する規程は、別に定める。

#### 第九節 入学検定料、入学金、授業料及びその他の費用

第四十一条 本学の入学検定料、入学金及び授業料の金額は、次のとおりとする。

入学検定料 35,000円

入学金 200,000円

授業料（年額） 742,000円

なお、授業料に関しては、二年次からは学年ごとに二万円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を超えた場合は適用しない。

2 跡見学園女子大学短期大学部からの編入学者は、入学金の半額を免除する。

3 再入学者は入学金を免除する。

4 施設設備費、実習費その他教育上必要な費用は、別に徴収する。

第四十二条 授業料の納入期は次のとおりとする。

春学期 371,000円 納期 四月中

秋学期 371,000円 納期 十月中

第四十三条 休学期間中の授業料は徴収する。ただし、休学事由及び期間により、その一部を免除することがある。

2 学期を通して休学する場合は、施設設備費を免除する。

第四十四条 学期の途中で退学する者の授業料は、当該期分の額を徴収する。

2 学期の途中で退学する者の施設設備費の徴収は前項の規定を準用する。

3 停学期間中の授業料は徴収する。

第四十五条 学年の途中で卒業する者の授業料は、卒業する見込みの期末までの額を徴収する。

2 学年の途中で卒業する者の施設設備費の徴収は前項の規定を準用する。

第四十五条の二 転部及び転科の選考料は次のとおりとする。

選考料 5,000円

第四十六条 再入学の選考料は次のとおりとする。

選考料 5,000円

第四十七条 科目等履修生の登録料及び履修料は次のとおりとする。

科目等履修登録料（一学期あたり） 7,500円

科目等履修料（一単位あたり） 10,000円

2 本学卒業生は、科目等履修料の半額を免除する。

第四十八条 研究生の選考料及び登録料は次のとおりとする。

選考料 5,000円

研究生登録料（年額） 15,000円

## 第十節 公開講座

第四十九条 本学に公開講座を設けることができる。

## 第三章 文学部規則

第五十条 文学部は、人間に関する豊かな学識や技能を備え、自主的に社会の形成に携わることのできる人材の養成を目的とする。

第五十条の二 文学部に、人文学科、現代文化表現学科、コミュニケーション文化学科及び臨床心理学科を置く。

第五十条の三 文学部に置く学科の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的を次のように定める。

一 人文学科は、豊かな感性と論理的な思考力を備え、人間を総合的に深く洞察し、状況を的確に判断し、自らの思考や思想を明確に表現できる人材の養成を目的とする。

二 現代文化表現学科は、文化表現に関する幅広い教養と実践的な知識を備え、現代社会における文化創造の発展に寄与することのできる人材の養成を目的とする。

三 コミュニケーション文化学科は、日本語をはじめとするコミュニケーション手段を高度に運用する能力を備え、多様な文化を理解し効果的にコミュニケーションを実践できる人材の養成を目的とする。

四 臨床心理学科は、臨床にかかわる心理学の広く深い学識を備え、人間の心の健やかな成長を助け、心理的な問題に適切に対応し、必要な援助ができる人材の養成を目的とする。

第五十一条 文学部各学科の入学定員及び収容定員は次表のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
文学部	人文学科	160名	640名
	現代文化表現学科	120名	480名
	コミュニケーション文化学科	110名	440名
	臨床心理学科	120名	480名
合計		510名	2040名

第五十二条 文学部専門科目の種類及び単位数は、文学部共通専門科目については別表第三、人文学科については別表第四、現代文化表現学科については別表第五、コミュニケーション文化学科については別表第六、臨床心理学科については別表第七のとおりとする。

第五十三条 文学部に、教職に関する科目、図書館に関する科目、司書教諭に関する科目及び博物館に関する科目を開設する。

2 教職に関する科目の種類及び単位数は、別表第八のとおりとする。

3 図書館に関する科目の種類及び単位数は、別表第九のとおりとする。

4 司書教諭に関する科目の種類及び単位数は、別表第十のとおりとする。

5 博物館に関する科目の種類及び単位数は、別表第十一のとおりとする。

第五十四条 第十八条第4項に規定する文学部各学科における学部専門科目の修得は、文学部共通専門科目、人文学科専門科目、現代文化表現学科専門科目、コミュニケーション文化学

科専門科目及び臨床心理学科専門科目から行うものとし、その修得単位数のうちには、学生が所属する学科の専門科目を、前期課程については十二単位、後期課程については三十二単位含まなければならない。

- 2 前項に定める学科の専門科目として含むべきものの修得方法は、人文学科については別表第四備考一及び二、現代文化表現学科については別表第五備考一及び二、コミュニケーション文化学科については別表第六備考一及び二、臨床心理学科については別表第七備考一及び二に定めるところによる。
- 3 第1項に定める文学部各学科における学部専門科目の修得には、他学部専門科目を、前期課程については四単位、後期課程については八単位まで含めることができる。
- 4 前期課程の授業科目の単位を後期課程の単位とすることはできない。ただし、人文学科においては別表第四備考三に定めるところによる。

第五十五条 文学部において取得できる教育職員免許状の種類は、次表のとおりとする。

学科名	教科名	免許状の種類
人文学科	国語	中学校教諭1種免許状
		高等学校教諭1種免許状
	書道	高等学校教諭1種免許状
	美術	中学校教諭1種免許状
		高等学校教諭1種免許状

第五十六条 転科を希望する者は、転科願を提出し、学部長の許可を得なければならない。

#### 第四章 マネジメント学部規則

第五十七条 マネジメント学部は、現代社会における新しいマネジメントの学識や技能を備え、組織・事業運営の基幹分野で意思決定できる人材の養成を目的とする。

第五十七条の二 マネジメント学部にはマネジメント学科及び生活環境マネジメント学科を置く。

第五十七条の三 マネジメント学部には置く学科の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的を次のように定める。

- 一 マネジメント学科は、企業、公共、文化の幅広い領域でマネジメントを担う専門的な知識と技能を備えた人材の養成を目的とする。
- 二 生活環境マネジメント学科は、生活環境を健全に維持管理し、地域や国際社会における環境維持活動を担う専門的な知識と技能を備えた人材の養成を目的とする。

第五十八条 マネジメント学部各学科の入学定員及び収容定員は、次表のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
マネジメント学部	マネジメント学科	180名	720名
	生活環境マネジメント学科	80名	320名
合計		260名	1040名

第五十九条 マネジメント学部専門科目の種類及び単位数は、マネジメント学部共通専門科目については別表第十二、マネジメント学科については別表第十三、生活環境マネジメント学科については別表第十四のとおりとする。

第六十条 第十八条第4項に規定するマネジメント学部各学科における学部専門科目の修得は、マネジメント学部共通専門科目、マネジメント学科専門科目及び生活環境マネジメント学科専門科目から行うものとし、その修得単位数のうちには、学生が所属する学科の専門科目を、前期課程については十二単位、後期課程については三十二単位含まなければならない。

- 2 前項に定める学科の専門科目として含むべきものの修得方法は、マネジメント学科については別表第十三備考一及び二、生活環境マネジメント学科については別表第十四備考一及び二に定めるところによる。
- 3 第1項に定めるマネジメント学部各学科における学部専門科目の修得には、他学部専門科目を、前期課程については四単位、後期課程については八単位まで含めることができる。
- 4 前期課程の授業科目の単位を後期課程の単位とすることはできない。ただし、後期課程の学生として修得した前期課程の基幹科目の単位を六単位まで後期課程に必要な単位として含めることができる。

第六十一条 転科を希望する者は、転科願を提出し、学部長の許可を得なければならない。

## 第五章 観光コミュニティ学部規則

第六十二条 観光コミュニティ学部は、観光とコミュニティに関する新しいデザインの学識や技能を備え、コミュニティの抱えるさまざまな課題を解決し、活性化に貢献できる人材の養成を目的とする。

第六十三条 観光コミュニティ学部は観光デザイン学科及びコミュニティデザイン学科を置く。

第六十四条 観光コミュニティ学部は置く学科の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的を次のように定める。

- 一 観光デザイン学科は、観光に関する専門的な知識と実践的な技能を備え、コミュニティの歴史、文化、景観等に依拠した自律的観光を具体的に構想する観光デザイン能力を有する人材の養成を目的とする。
- 二 コミュニティデザイン学科は、コミュニティに関する専門的な知識と実践的な技能を備え、新しいコミュニティのあり方を提案するコミュニティデザイン能力を有する人材の養成を目的とする。

第六十五条 観光コミュニティ学部各学科の入学定員及び収容定員は、次表のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
観光コミュニティ学部	観光デザイン学科	120名	480名
	コミュニティデザイン学科	80名	320名
合計		200名	800名

第六十六条 観光コミュニティ学部専門科目の種類及び単位数は、観光コミュニティ学部共通専門科目については別表第十五、観光デザイン学科については別表第十六、コミュニティデザイン学科については別表第十七のとおりとする。

第六十七条 観光コミュニティ学部は、社会調査士に関する科目を開設する。社会調査士に関する科目の種類及び単位数は、別表第十八のとおりとする。

第六十八条 第十八条第4項に規定する観光コミュニティ学部各学科における学部専門科目の修得は、観光コミュニティ学部共通専門科目、観光デザイン学科専門科目及びコミュニティデザイン学科専門科目から行うものとし、その修得単位数のうちには、学生が所属する学科の専門科目を、前期課程については十二単位、後期課程については三十二単位含まなければならない。

- 2 前項に定める学科の専門科目として含むべきものの修得方法は、観光デザイン学科については別表第十六備考一及び二、コミュニティデザイン学科については別表第十七備考一及び二に定めるところによる。
- 3 第1項に定める観光コミュニティ学部各学科における学部専門科目の修得には、他学部専門科目を、前期課程については四単位、後期課程については八単位まで含めることができる。
- 4 前期課程の授業科目の単位を後期課程の単位とすることはできない。ただし、後期課程の学生として修得した前期課程の基幹科目の単位を六単位まで後期課程に必要な単位として含めること



ができる。

第六十九条 転科を希望する者は、転科願を提出し、学部長の許可を得なければならない。

## 第六章 雑則

第七十条 学長は、学則の改正について大学評議会の議を経て、理事長に提案する。

### 附 則

- 1 この学則は、昭和40年4月1日から実施する。
- 2 この学則は、昭和41年4月1日改正実施する。ただし、第二十二条の規定は、昭和40年度入学者については従前の規定を適用する。
- 3 この学則は、昭和42年4月1日改正実施する。ただし、第二十二条の規定は、昭和42年度入学者以外の者には、それぞれ入学年度の規定を適用する。
- 4 この学則は、昭和43年4月1日改正実施する。
- 5 この学則は、昭和45年4月1日改正実施する。
- 6 この学則は、昭和46年4月1日改正実施する。ただし、第二十二条の規定は、昭和46年度入学者以外の者には、それぞれ入学年度の規定を適用する。
- 7 この学則は、昭和48年4月1日改正実施する。ただし、第二十二条の規定は、昭和48年度入学者以外の者には、それぞれ入学年度の規定を適用する。
- 8 この学則は、昭和49年4月1日改正実施する。
- 9 この学則は、昭和50年4月1日改正実施する。
- 10 この学則は、昭和51年4月1日より施行し、昭和51年度入学者から適用する。
- 11 この学則は、昭和52年4月1日改正実施する。ただし、昭和52年度入学者以外の者には従前の学則を適用する。
- 12 この学則は、昭和53年4月1日改正実施する。ただし、50・51・52年度文化学科入学生の必修科目の履修に関しては各入学年度の授業科目を適用する。また、50・51年度入学生に対する各学科選択科目の履修方法に関しては、当学則の各学科共通選択科目（別表Ⅱ～5）の領域より履修することができ、各授業科目の単位数は3単位とする。
- 13 この学則は、昭和54年4月1日改正実施する。ただし、第三十三条の規定は昭和54年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の規定を適用する。
- 14 この学則は、昭和55年4月1日改正実施する。ただし、第二十条の規定は昭和55年4月1日現在の在学者より適用し、第三十三条の規定は昭和55年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の規定を適用する。
- 15 この学則は、昭和56年4月1日改正実施する。ただし、第三十三条の規定は、昭和56年度入学者以外の者にはそれぞれの入学年度の規定を適用する。
- 16 この学則は、昭和57年4月1日改正実施する。ただし、昭和57年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- 17 この学則は、昭和58年4月1日改正実施する。ただし、昭和58年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- 18 この学則は、昭和59年4月1日改正実施する。ただし、第三十三条の規定は昭和59年度入学者以外の者にはそれぞれの入学年度の規定を適用する。
- 19 この学則は、昭和60年4月1日改正実施する。ただし、第三十三条の規定は、昭和60年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。
- 20 この学則は、昭和61年4月1日改正実施する。ただし、昭和61年度入学者以外の者には、旧学則を適用する。
- 21 この学則は、昭和62年4月1日改正実施する。ただし、昭和62年度入学者以外の者には、

それぞれの入学年度の学則を適用する。

22 この学則は、昭和63年4月1日改正実施する。ただし、昭和63年度入学者以外の者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

23 この学則は、平成元年4月1日改正実施する。ただし、昭和63年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

24 この学則は、平成2年4月1日改正実施する。ただし、平成元年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

25 この学則は、平成3年4月1日改正実施する。

ただし、

一 第三条の規定にかかわらず入学定員は、平成3年度から平成11年度に至るまで、次の表によるものとする。

	入学定員
国文学科	180名
美学美術史学科	165名
英文学科	180名
文化学科	165名

二 第十八条の二の規定は、平成2年度入学者より適用する。

三 第三十三条の規定は、平成2年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の規定を適用する。

26 この学則は、平成4年4月1日改正実施する。ただし、

一 第二十六条の規定は、平成3年9月1日より適用する。

二 第三十三条の規定は、平成4年度入学者以外の入学者には、それぞれの入学年度の規定を適用する。

27 本学則は、平成5年4月1日改正実施する。ただし、平成4年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

28 本学則は、平成6年4月1日改正実施する。ただし、平成5年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

29 本学則は、平成7年4月1日改正実施する。ただし、

(一) 平成6年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

(二) 第十八条第3項の規定は、平成7年度編入学より適用する。

30 本学則は、平成8年4月1日改正実施する。ただし、平成7年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

31 本学則は、平成9年4月1日改正実施する。

ただし、

(一) 平成8年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

(二) ただし、博物館法施行規則の改正に伴い、第十七条第6項の「別表VI」博物館に関する科目を平成9年度在学生及び科目等履修生より適用する。

32 本学則は、平成10年4月1日改正実施する。

ただし、

(一) 平成9年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

(二) なお前項にかかわらず、図書館法施行規則の改正に伴い、第十七条第4項の「別表IV」図書館に関する科目、及び、学校図書館司書教諭講習規程の改正に伴い、第十七条第5項の「別表V」司書教諭に関する科目は、平成10年度在学生及び科目等履修生に適用する。

33 本学則は、平成11年4月1日改正実施する。

ただし、

一 平成10年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

二 前項にかかわらず、学校図書館司書教諭講習規程の改正に伴い、第十七条第5項の「別表Ⅴ」司書教諭に関する科目は平成11年度在学生及び科目等履修生から適用する。

三 前々項にかかわらず、第四十一条第1項のただし書き以下、第四十三条第2項、第四十四条、第四十五条の規定は、平成11年度在学生から適用する。

34 本学則は、平成12年4月1日改正実施する。

ただし、

一 第三条の規定にかかわらず入学定員は、平成12年度から平成16年度に至るまで、次の表によるものとする。

		入学定員	
平成12年度	国文学科		172名
	美学美術史学科		158名
	英文学科		172名
	文化学科		159名

		入学定員	
平成13年度	国文学科		164名
	美学美術史学科		152名
	英文学科		164名
	文化学科		152名

		入学定員	
平成14年度	国文学科		156名
	美学美術史学科		145名
	英文学科		156名
	文化学科		146名

		入学定員	
平成15年度	国文学科		148名
	美学美術史学科		139名
	英文学科		148名
	文化学科		139名

		入学定員	
平成16年度	国文学科		140名
	美学美術史学科		132名
	英文学科		140名
	文化学科		133名

二 平成11年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

35 本学則は、平成13年4月1日改正実施する。ただし、

一 平成12年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

二 前項にかかわらず、教育職員免許法施行規則の改正に伴い、第十七条第2項の「別表Ⅱ」学部専門科目及び「別表Ⅵ」博物館に関する科目は、平成13年度在学生及び科目等履修生から適用する。

三 前々項にかかわらず、第二十一条、第二十二条及び第二十三条の規定は、平成13年度在学生から適用する。

36 本学則は、平成14年4月1日改正実施する。ただし、

(一) 平成13年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。ただし、第四

条乃至第七条、第二十九条及び第五十条の規定は平成14年度在學生から適用する。

(二) 第四十九条の三の規定にかかわらず、文学部人文学科の入学定員は、平成14年度から平成15年度に至るまで、次の表によるものとする。

平成14年度

	入学定員
人文学科	458名

平成15年度

	入学定員
人文学科	429名

37 本学則は、平成15年4月1日改正実施する。ただし、

(一) 平成14年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

(二) 前項にかかわらず、第二十四条の規定は、平成15年度在學生から適用する。

38 本学則は、平成16年4月1日改正実施する。ただし、平成15年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

(一) 前項にかかわらず、第二十一条乃至第二十三条及び第四十九条の五第3項の「別表V」図書館に関する科目並びに第5項の「別表VII」博物館に関する科目は、平成16年度在學生及び科目等履修生から適用する。

39 本学則は、平成17年4月1日改正実施する。ただし、平成16年度以前の入学者にはそれぞれの入学年度の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成18年4月1日改正実施する。ただし、平成17年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

2 前項にかかわらず、第三十四条第2項及び第四十五条の二の規定は、平成18年度在學生から適用する。

附 則

本学則は、平成19年4月1日改正実施する。

附 則

本学則は、平成20年4月1日改正実施する。

附 則

本学則は、平成20年4月1日改正実施する。ただし、平成19年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

2 前項にかかわらず、第一条第2項、第五十条乃至第五十条の三及び第五十七条乃至第五十七条の三の規定は、平成18年度入學生から適用する。

附 則

本学則は、平成21年4月1日改正実施する。

附 則

本学則は、平成22年4月1日改正実施する。ただし、平成21年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成24年4月1日改正実施する。ただし、平成23年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

2 前項にかかわらず、別表第三、別表第九及び別表第十一は、平成24年度在學生に適用する。

附 則

本学則は、平成27年4月1日改正実施する。ただし、平成26年度以前の入学者には、それぞれの入学年度の学則を適用する。

2 前項にかかわらず、第五条乃至第六条の二及び第三十四条の規定は、平成 27 年度在學生に適用する。



## 跡見学園女子大学大学評議会規程

平成14年4月1日施行  
改正 平成15年4月1日一部改正  
平成19年4月1日一部改正  
平成27年4月1日一部改正

第一条 この規程は、跡見学園女子大学学則第五条の三に基づき、大学評議会の組織に関し必要な事項を定める。

第二条 大学評議会の評議員は、次に掲げる者をもって充てる。

- 一 学長
  - 二 跡見学園寄附行為第八条第1項第二号に定める理事たる副学長（以下「理事たる副学長」という。）
  - 三 学部長
  - 四 附属教育研究組織の長のうち、全学共通科目運営センター長及び図書館長
  - 五 学部から選出される教授については、文学部にあつては2名、マネジメント学部にあつては1名及び観光コミュニティ学部にあつては1名の者
  - 六 大学評議会の議に基づいて学長が指名する専任教員については、2名までの者
- 2 評議員の任期は、前項第一号乃至第四号についてはその職にある期間とし、同第五号については2年とし、同第六号については2年以内で学長の定める期間とし、再任を妨げない。ただし、前項第五号の評議員が事務部局の長に就いたときは、辞任しなければならない。
- 3 前々項第五号の評議員に欠員が生じた場合の補欠の評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

第三条 前条第1項第四号にいう評議員たる附属教育研究組織の長の選考は、三つの学部それぞれの教授会における推薦を参酌し、学長が行う。

- 2 前条第1項第五号にいう学部から選出される教授としての評議員の選考は、教授会における選挙により行う。
- 3 前項の選挙に必要な事項は、別に定める。

第四条 大学評議会は、必要に応じ次に掲げる者を出席させ発言させることができる。ただし、このうち評議員でない者は、議決権をもたない。

- 一 附属教育研究組織の長
- 二 全学委員会の長
- 三 事務部局の長

第五条 大学評議会は、必要に応じ参考人を招致することができる。

第六条 大学評議会は、必要に応じ教職員の傍聴を許可することができる。

第七条 大学評議会は、学則第五条の三第4項に定める次の事項について学長が決定を行うに当たり、審議し、意見を述べる。

- 一 本学の教育研究上の目的を達成するための基本的な計画及び適正な実施に関する事項

- 二 学則その他重要な規則の制定又は改廃に関する事項
- 三 本学の研究活動適正化の推進に関する事項
- 四 本学の予算の見積りの方針に関する事項
- 五 学部、学科及び研究科、専攻その他の重要な組織の設置又は廃止並びに学生の定員に関する事項
- 六 本学の教員の教育研究業績の審査に関する事項
- 七 本学の教育課程の編成の方針に関する事項
- 八 学生の厚生及び補導に関する事項
- 九 学生の入学、卒業、課程の修了及び学位の授与の方針に関する事項
- 十 学生の転部・転科の方針に関する事項
- 十一 学則第三十四条に係る学生の退学、停学及び訓告に関する事項
- 十二 本学の教育内容及び教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に関する事項
- 十三 本学の教育研究活動等の状況について行う自己点検・評価に関する事項

第八条 大学評議会に議長を置き、学長をもって充てる。

- 2 大学評議会に副議長を置き、理事たる副学長をもって充てる。

第九条 議長は、大学評議会を主宰する。

- 2 副議長は、議長を助ける。
- 3 議長に事故があるとき又は議長が欠けたときは、副議長が、議長の職務を行う。
- 4 議長及び副議長に共に事故があるときは、評議員が仮議長を互選しこれに議長の職務を行わせる。

第十条 削除

第十一条 議長は、次の各号の一に該当する場合、大学評議会を招集する。

- 一 月1回（定例）
- 二 議長が必要と認めたとき
- 三 評議員の三分の一以上の要求があったとき

第十二条 大学評議会は、評議員の三分の二以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

第十三条 大学評議会の議事は、評議員の出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

- 2 前項にかかわらず、次に掲げる事項については、評議員の出席者の三分の二以上をもって決する。
  - 一 学則の改正
  - 二 学長選考委員会規程の改正
  - 三 学長選考委員会運営規程の改正
  - 四 その他特別の必要があると認められる事項

第十四条 大学評議会の下に、必要に応じ全学委員会を置く。

- 2 全学委員会の組織に関し必要な事項は、別に定める。



第十五条 大学評議会に関する事務は、議長の監督の下に、事務局長が統括する。

第十六条 大学評議会の議事録は、議長の監督の下に、事務局長が作成し、大学評議会において確認する。

2 議長は、教職員に対し、議事及び決議をすみやかに周知し、議事録を閲覧に供しなければならない。

第十七条 この規程に定める他に必要な事項は、大学評議会の定めるところによる。

第十八条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日より施行する。

附 則

1 この規程は、平成15年4月1日より施行する。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日より施行する。



改正 平成14年4月1日一部改正  
平成19年4月1日一部改正  
平成27年4月1日一部改正

## 第一章 総則

第一条 この規程は、跡見学園女子大学学則（以下「学則」と言う。）第六条に基づき、教授会の組織に関し必要な事項を定める。

## 第二章 教授会

第二条 教授会は、学部にも所属する専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。

第二条の二 教授会は、必要に応じ次に掲げる者を出席させ発言させることができる。ただし、このうち学部にも所属しない者は、議決権をもたない。

- 一 学長
- 二 副学長
- 三 附属教育研究組織の長
- 四 評議員
- 五 全学委員会の長
- 六 事務部局の長
- 七 その他教授会の定める者

第二条の三 教授会は、必要に応じ参考人を招致することができる。

第二条の四 教授会は、学則第六条第3項及び第5項に定める次の事項を審議する。

- 一 学生の入学及び卒業
- 二 学位の授与
- 三 学部の教育課程の編成
- 四 学部の教員の教育研究業績の審査
- 五 学部の教育研究上の目的を達成するための方針に関する事項
- 六 学生の転部・転科に関する事項
- 七 学部にも固有な規則の制定又は改廃に関する事項
- 八 学部の予算の執行に関する事項
- 九 学部の教育内容及び教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に関する事項

第三条 教授会に議長を置き、学部長をもって充てる。

2 教授会に副議長を置き、学則第五条の三第2項第六号の評議員をもって充てる。なお文学部においては2名の学部選出評議員のうち先任の者を充てる。

第三条の二 議長は、教授会を主宰する。

- 2 副議長は、議長を助ける。
- 3 議長に事故があるとき又は議長が欠けたときは、副議長が、議長の職務を行う。
- 4 議長及び副議長に共に事故があるときは、仮議長を互選し議長の職務を行わせる。なお文学部においては2名の学部選出評議員のうち先任の者でない者を充てる。

第三条の三 前条第4項により教授会が議事を開き議決した場合、仮議長は、学長にそのことを報告し承認を求めなければならない。

第四条 議長は、次の各号の一に該当する場合、教授会を招集する。

- 一 月1回（定例）
- 二 議長が必要と認めたとき
- 三 構成員の三分の一以上の要求があったとき

第五条 削除

第六条 教授会は、構成員の三分の二以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

- 2 前項において、留学者及び休職者は構成員の数から省く。

第七条 削除

第八条 教授会の議事は、構成員の出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

- 2 削除

### 第三章 学科主任、学科会議、各種委員会及び教授会運営委員会

第八条の二 学科に学科主任を置き、学科に所属する専任の教授のうちから学部長がこれを任命する。

- 2 学科主任の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、引き続き4年を超えることができない。
- 3 学科主任は、学科の教育課程及び教員組織を統轄する。

第九条 教授会のもとに、学科に所属する専任の教授、准教授、講師及び助教をもって学科会議を組織する。

- 2 学科会議は、必要に応じ前項に定める構成員以外の者を出席させ、発言させることができる。ただし、このうち学科に所属しない者は、議決権をもたない。
- 3 学科会議は、第二条の四に定める事項のうち、学科の教育課程と教員組織の運営に必要な事項を審議する。
- 4 学科会議に議長を置き、学科主任をもって充てる。
- 5 学科会議に副議長を置き、学科主任がこれを指名する。
- 6 学科会議の運営にあたっては、第三条の二乃至第八条を準用する。ただし第三条の三の「学長」を「学部長」と読み替える。このほか、各学科を通じて必要な事項は、教授会の定めるところによる。

第九条の二 教授会のもとに、教員の採用及び昇任を選考するために必要な資格を審査する資格審査委員会を置く。

- 2 資格審査委員会に委員長を置き、教授会で互選する。
- 3 資格審査委員会の組織に関し必要な事項は、別に教授会が定める。

第九条の三 前条に定めるほかに教授会のもとに、校務分掌に応じて必要な各種の委員会（以下「各種委員会」という。）を置く。

- 2 前項に定める委員会の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第九条の四 学部長のもとに、教授会運営委員会を置き、学部長、学部選出の大学評議員、学長が指名する大学評議員のうち学部に所属する者及び学科主任をもってこれを組織し、必要に応じて各種委員会委員長をこれに加えることができる。

- 2 教授会運営委員会は、教授会の議事を整理し、学科会議及び各種委員会の連絡・調整を行うとともに、教授会の定めた事項の実施を推進する。

#### 第四章 教授会事務

第十条 教授会に関する事務は、議長の監督の下に、事務局長が統括する。

第十一条 教授会の議事録は、議長の監督の下に、事務局長が作成し、教授会において確認する。

#### 第五章 雑則

第十二条 この規程に定める他に学部を通じて必要な事項は、大学評議会の定めるところによる。

- 2 この規程を運用するに当たり、教授会は、大学評議会の定めるところにしたがって、必要な事項を定めることができる。

第十三条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

#### 附 則

- 1 この規程は、平成14年4月1日より改正実施する。

#### 附 則

この規程は、平成19年4月1日改正実施する。

#### 附 則

この規程は、平成27年4月1日改正実施する。



## 第一章 総則

第一条 この規程は、跡見学園女子大学大学評議会規程（以下「評議会規程」という。）第十四条に基づき、全学委員会（以下「委員会」という。）の目的及び組織に関し必要な事項を定める。

第二条 大学評議会に、次に掲げる常設の委員会を置く。

- 一 予算委員会
- 二 学務委員会
- 三 教育・研究支援委員会
- 四 入試広報委員会
- 五 自己点検・評価委員会

第三条 大学評議会は、必要に応じ、期間と所管事項を定めて、臨時の委員会を置くことができる。

## 第二章 委員会通則

第四条 委員会は、大学評議会の諮問する事項の審議及びその答申を行う。

第五条 委員会は、次に掲げる委員によって組織する。

- 一 大学評議会の指名する委員長
- 二 学部選出委員  
文学部 1名  
マネジメント学部 1名  
観光コミュニティ学部 1名

ただし、大学評議会の評議員（以下「評議員」という。）は、委員となることができない。

- 2 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 3 委員に欠員が生じた場合の補欠の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 第三条に定める臨時の委員会にあつては、前3項によらず、大学評議会の定めるところに従って組織する。

第六条 委員会は、必要に応じ次に掲げる者を出席させ発言させることができる。ただし、このうち委員でない者は、議決権をもたない。

- 一 評議員
- 二 評議員ではない副学長
- 三 附属教育研究組織の長
- 四 他の委員会の長
- 五 事務部局の長

第七条 委員長は、委員会を主宰する。

- 2 委員会に副委員長を置き、委員のうちから委員長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を助ける。

4 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長が、委員長の職務を行う。

第八条 委員長は、大学評議会議長からの諮問を受けて、委員会を招集する。

2 前項にかかわらず、次の各号の一に該当する場合、委員長は委員会を招集する。

一 学年の始まる月（定例）

二 委員長が必要と認めたとき

三 委員の三分の一以上の要求があったとき

第九条 委員会は、委員の三分の二以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

第十条 委員会の議事は、委員の出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、委員長の決するところによる。

第十一条 委員会に関する事務は、委員長の監督の下に、事務局長が統括する。

第十二条 委員会の議事録は、委員長の監督の下に、事務局長が作成し、委員会において確認する。

### 第三章 委員会所管事項

第十三条 第二条に定める常設の委員会にあっては、次に掲げる事項を所管する。

一 予算委員会は、評議会規程第七条第1項第四号の事項

二 学務委員会は、評議会規程第七条第1項第七号乃至第十一号の事項 ただし、学生の入学及び国際交流に関する事項は除く。

三 教育・研究支援委員会は、評議会規程第七条第1項第一号のうち教育研究活動の研究助成に関する全学的調整を要する事項及び評議会規程第七条第1項第十二号のうち全学的に調整を要する事項、ならびに評議会規程第七条第1項第七号乃至第九号のうち国際交流に関する事項

四 入試広報委員会は、評議会規程第七条第1項第九号のうち学生の入学に関する事項及び本学の広報に関する事項

五 自己点検・評価委員会は、評議会規程第七条第1項第十三号に関する事項

2 大学評議会は、評議会規程第七条第1項第一号及び第二号の事項を前項に定める例に準じていずれかの常設の委員会に所管させることができる。

第十四条 第三条に定める臨時の委員会にあっては、大学評議会の定める事項を所管する。

### 第四章 雑則

第十五条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成14年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日より改正実施する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日より改正実施する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日より改正実施する。



## 第一章 総則

第一条 この規程は、跡見学園女子大学教授会規程（以下「教授会規程」という。）第九条の2及び第九条の3に基づき、教授会のもとに置く各種委員会の目的及び組織に関し必要な事項を定める。

第二条 教授会に、次に掲げる常設の委員会を置く。

- 一 教育・研究支援委員会
- 二 予算委員会
- 三 学務委員会
- 四 入試委員会
- 五 資格審査委員会

第三条 教授会は、必要に応じ、期間と所管事項を定めて、臨時の委員会を置くことができる。

## 第二章 委員会通則

第四条 委員会は、教授会の諮問する事項の審議及びその答申を行う。

第五条 委員会は、次に掲げる委員によって組織する。

- 一 教授会の指名する委員長
- 二 学科選出委員 各学科若干名 ただし、前号の委員長は除く。
- 2 委員長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 3 委員長以外の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合の補欠の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 第三条に定める臨時の委員会にあつては、前四項によらず、教授会の定めるところに従って組織する。

第六条 委員会は、必要に応じ次に掲げる者を出席させ発言させることができる。ただし、このうち委員でない者は、議決権をもたない。

- 一 当該委員会の属する学部の長
- 二 学部選出の大学評議員
- 三 附属教育研究組織の長
- 四 他の委員会の長
- 五 事務部局の長

第七条 委員長は、委員会を主宰する。

- 2 委員会に副委員長を置き、委員のうちから委員長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を助ける。
- 4 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長が、委員長の職務を行う。

第八条 委員長は、次の各号の一に該当する場合、委員会を招集する。

- 一 学期の始まる月（定例）
- 二 委員長が必要と認めたとき

三 委員の三分の一以上の要求があったとき

第九条 委員会は、委員の三分の二以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

第十条 委員会の議事は、委員の出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、委員長の決するところによる。

第十一条 委員会に関する事務は、委員長の監督の下に、事務局長が統括する。

第十二条 委員会の議事録は、委員長の監督の下に、事務局長が作成し、委員会において確認する。

### 第三章 委員会所管事項

第十三条 第二条に定める常設の委員会にあつては、次に掲げる事項を所管する。

一 教育・研究支援委員会は、教授会規程第二条の4第1項第五号のうち教員の教育研究活動に対する助成に関する事項および教授会規程第二条の4第1項第九号に関する事項

二 予算委員会は、教授会規程第二条の4第1項第八号に関する事項

三 学務委員会は、教授会規程第二条の4第1項第一号乃至第三号及び第六号に関する事項  
ただし、学生の入学及び国際交流に関する事項は除く。

四 入試委員会は、教授会規程第二条の4第1項第一号のうち学生の入学に関する事項

五 資格審査委員会は、教授会規程第二条の4第1項第四号に関する事項

2 教授会は、教授会規程第二条の4第1項第五号及び第七号の事項を前項に定める例に準じていずれかの常設の委員会に所管させることができる。

第十四条 第三条に定める臨時の委員会にあつては、教授会の定める事項を所管する。

### 第四章 雑則

第十五条 この規程を運用するために必要な事項は、別に定める。

第十六条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

### 附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

2. 跡見学園女子大学文学部教授会各種委員会規程（平成14年4月1日施行）及び跡見学園女子大学マネジメント学部教授会各種委員会規程（平成14年4月1日施行）を廃止する。

## 跡見学園女子大学自己点検・評価規程

平成9年6月11日施行  
改正 平成17年4月1日改正実施  
平成27年4月1日一部改正

第1条 跡見学園女子大学は、跡見学園女子大学学則第1条の2第5項及び跡見学園女子大学大学院学則第3条第5項に基づき、年毎に評価項目を定め大学全体の自己点検・評価を行う。

第2条 自己点検・評価は、跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程に定める自己点検・評価委員会が主管する。

第3条 自己点検・評価の基準は、次に掲げるものとする。

- (1) 学校教育法並びに大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）及び大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）に、それぞれ適合していること
- (2) 跡見学園女子大学学則第1条の2第4項及び跡見学園女子大学大学院学則第3条第4項に規定する認証評価を行う機関として文部科学省から認証を受けている公益財団法人大学基準協会が定める大学基準に適合していること
- (3) 本学における特色ある教育研究の進展に資する観点から評価に価いすること

2 自己点検・評価は、前項（2）に定める公益財団法人大学基準協会が定める大学基準に掲げる項目について行う。

3 自己点検・評価は、本学独自の点検・評価の基準及び項目を設けてこれを行うことができる。

第4条 学長は、自己点検・評価の結果をふまえ、それを大学の将来計画に反映させ、教育環境及び教育研究活動の改善を図り、教育理念の実現に努めるものとする。

第5条 跡見学園女子大学学則第1条の2第4項及び跡見学園女子大学大学院学則第3条第4項の認証評価を受ける期間は、7年以内ごととする。

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

本改正規程は平成9年6月11日より施行する。

附 則

この規程は、跡見学園女子大学自己点検・自己評価規程の名称を改め、平成17年4月1日より改正実施する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日より改正実施する。あわせて、跡見学園女子大学自己点検・評価推進委員会規程は廃止する。